LEXUS
EXPERIENCE AMAZING

LM

LM500h



安らぎと創造性を提供する Luxury Mover、LM。

「素に戻れる移動空間」をコンセプトとし、
周囲の喧騒から解放され心身共にくつろげる移動空間を追求。
開放感や見晴らしに配慮しながら、パーソナル感を尊重したリラックスできる空間をめざしました。
後席の方にも安心感として伝わる、ドライバーの意図に忠実な走り。
すべての乗員が快適に過ごせるような乗り心地と静粛性。
そして、優雅な走りを想起させるエクステリアデザインと上質で開放的なキャビンスペース。
LEXUSのDNAを進化させ、たどりついた「ラグジュアリームーバー」。
ビジネスからプライベートまでさまざまな用途に応え、皆さまに豊かな時間をお届けします。

CONTENTS PAGE

FEATURES 01
DRIVING 02-16
DESIGN 17-33
COMFORT (4 Seats) 34-47
COMFORT (6 Seats) 48-55
COMFORT 56-73
TECHNOLOGY 74-105
INFORMATION 106-113

LMセリングポイント

POINT 1　Lexus Driving Signatureの進化

LEXUSのDNAをさらに進化させた
乗り心地と感性に寄り添った静粛性



詳細は →P02～参照

POINT 2　「Dignified Elegance」をキーワードにつくり込んだデザイン

機能的本質や動的性能に根差した
プロポーションと独自性の追求



詳細は →P17～参照

POINT 3　「素に戻れる移動空間」をコンセプトに設計された心身共にくつろげる空間

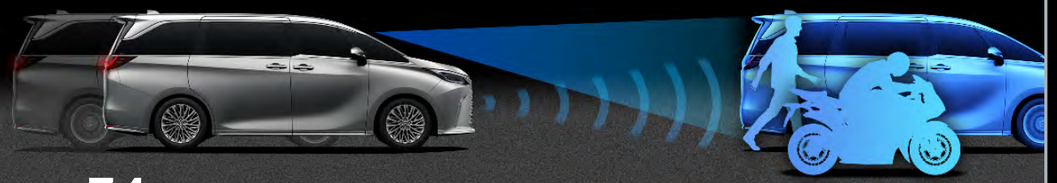
心と身体が整う、細部までこだわった
さりげないおもてなしと多彩な装備



詳細は →P34～参照

POINT 4　人間中心の考え方に基づいた先進安全技術

Lexus Safety System +をはじめ、
多彩な先進安全技術を装備



詳細は →P74～参照

LEXUSのDNAをさらに進化させた乗り心地と感性に寄り添った静粛性



ラグジュアリームーバーとして快適な移動空間を実現するためにクルマの素性を鍛え上げ、LMにもレクサスの走りの味「Lexus Driving Signature」を継承しました。
ボディをしっかりとつくり込み、体幹を鍛えることで、足回りからのショックをしっかり吸収。また、タイヤのトレッドパターンなどを変更することで、優れた静粛性と、
ハンドリングや乗り心地の両立をめざしました。さらに、DIRECT4のテクノロジーは、すぐれた操縦安定性を生み出すだけでなく、リヤの駆動力、制動力配分を適切に行うことで、
車両姿勢や挙動を高次元でコントロールし、後席にお乗りの方にも姿勢の変化が起こりにくいようにし、すぐれた乗り心地を実現しています。

快適な乗り心地をめざし、徹底して取り組んだ体幹強化

すべての乗員が快適に過ごせるような乗り心地をめざし、GA-Kプラットフォームを採用。高剛性化や軽量化・慣性質量の低減など次世代LEXUSが一貫して取り組んでいる「素性の刷新」をLMでも実践しました。

①高剛性ボディ

開口面積が広く剛性確保が難しいスライドドアを備えたボディの骨格を強化するために、リヤ床下ブレースを採用。また縦方向の骨格となるロッカーにストレート構造を採用し、剛性を確保しました。スライドドア開口部は、クォーターピラー上下の構造を最適化しルーフリインフォースメント/クォーターピラーガセット/ロッカー断面内を通るリインフォースメントを設置。さらにフロントにはラジエーターサポートサイドブレース、リヤサイドメンバーにリヤクォーターブレース（LM500h EXECUTIVE［4人乗り］）を追加し、より雑味の取れたすっきりと奥深い味わいのある走りを実現しました。

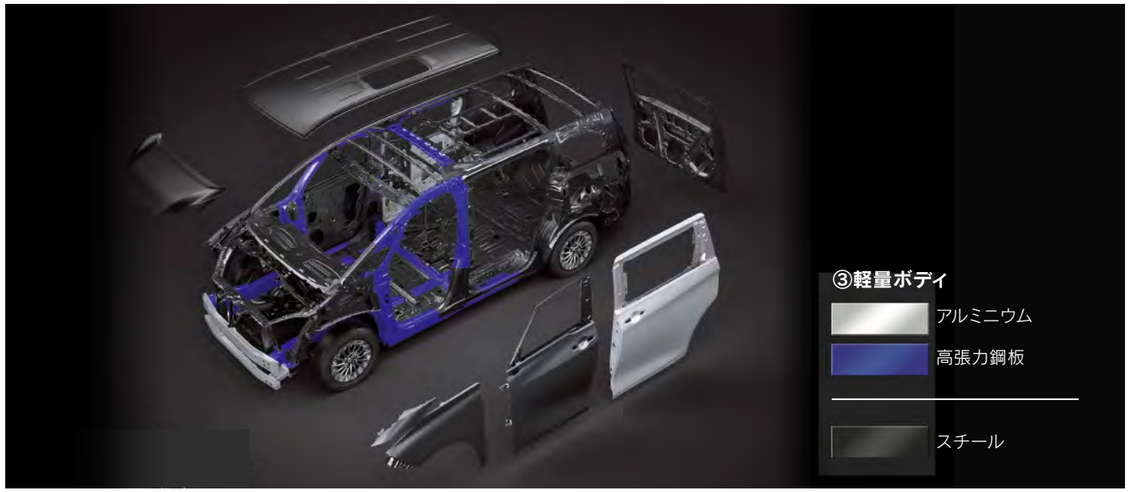
②骨格の接合

骨格の接合においては、レーザースクリューウェルディング（LSW）、短ピッチ打点技術、構造用接着剤を適材適所に使用。高剛性接着剤を使用することで接合剛性を高めつつ、フロアの着座位置に近い部分は高減衰接着剤に置き換えることで高周波域での振動レベルを低減しました。

③軽量ボディ

車両剛性を確保しながら軽量化も追求しました。主要骨格部材にはハイテン材やホットスタンプ材、スライドドアにアルミ材を採用。外板も含めた軽量化により、ボディ重量を増やすことなく、ボディねじり剛性を大きく向上させました。操縦安定性と乗り心地の向上やNV性能（ノイズ/バイブレーション）の低減に大きく寄与しています。





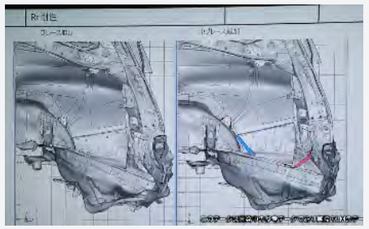
※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #01
あえて追加したブレースの意図

「走りの質感を現状よりもう1段階上げたい」。開発も後期に差しかかったころ、開発陣はそんな強い思いを抱くようになっていた。ちょうどそのころ、LEXUSの「味磨き活動」＊を通して、ラジエーターサポートサイドブレース、リヤクォーターブレースを追加することで、後席の動的質感を向上させ、より雑味の取れたすっきりと奥深い乗り味になるということが分かった。ただ、それは最終製品の金型がすでに完成している段階で、その時点で新たなブレースを追加することは非常に困難な状況だった。

「納得いく走りの実現を最後まで諦めず追求するために、トライする価値がある」。そう判断した開発陣は、他部品との調整や製造可能な方法を模索した。各部署からの協力もあり、ぎりぎりのタイミングで追加導入を実現。後席足元の振動低減、路面入力時の減衰感の最適化のみならず、ステアリングのすっきり感など、乗り心地と操縦性を大きく向上させることができた。

＊レクサス全車を横串で俯瞰し、同じテイストになるようさまざまな改良を検討する活動。

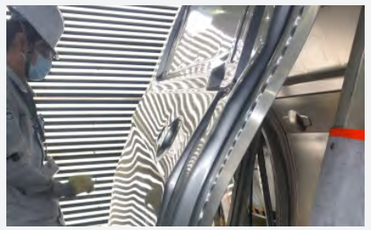
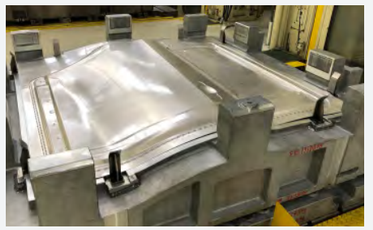

開発ストーリー #02
スライドドアのアルミ化

鉄を使って製造することが一般的とされているスライドドア。LMでは、静粛性の向上、剛性確保、機能性の充実などに不可欠な軽量化を実行するため、アルミ材の採用に踏み切った。

すぐれた乗降性を実現するためには、スライドドアを開けた時の開口部を最大限確保することが重要だが、同時に剛性強化も必須となる。加えて、エクステリアデザインの観点から、エレガントなサイドビューを形成するべく、伸びやかなキャラクターラインをスライドドア面に入れることも考えた。

アルミは軽量化に有効な一方で、鉄よりもプレス成形の難易度が高い。それでも、折り紙のようなシャープなキャラクターラインをめざし、コンピュータを使って光の反射のひずみを調整しながら最適解を探った。金型の匠と呼ばれる職人が1/100mm単位での金型調整を繰り返し、通常であれば2〜3回のやりとりで見えてくる最適解を、LMでは50回以上もかけて見つけ出した。

最終的に、アルミでありながら抑揚のあるダイナミックな造形とエッジの効いたシャープでほどよい緊張感のあるキャラクターラインの成形に成功。上品で躍動感のあるサイドビューと軽量化によるスライドドアのスムーズな動きを両立させることができた。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

LEXUS初となる周波数感応バルブ付AVSの採用により、速度を問わず上質な乗り心地を提供

サスペンション（フロント・リヤ）

サスペンションはフロントにマクファーソンストラット式サスペンションを、リヤにトレーリングアーム式ダブルウイッシュボーンサスペンションを採用。ジオメトリーの最適化や稼動部の低摩擦化を実施しました。またアルミ鍛造キャリアの採用や、フロントサスペンションロアアームにハイテン材を使用することで、リニアな操舵応答性とバネ下質量の低減に寄与しています。


フロントサスペンション


リヤサスペンション

周波数感応バルブ付AVS

路面や走行状態に応じて、より瞬時に減衰力の切り替えが可能な、リニアソレノイド式アクチュエーターと周波数感応バルブを併用した「周波数感応バルブ付AVS」をLEXUS初採用しました。低周波から高周波までの幅広い領域で振動を軽減し、速度を問わずつねに上質な乗り心地を提供します。


フロントサスペンション
周波数感応バルブ付AVS


リヤサスペンション
周波数感応バルブ付AVS

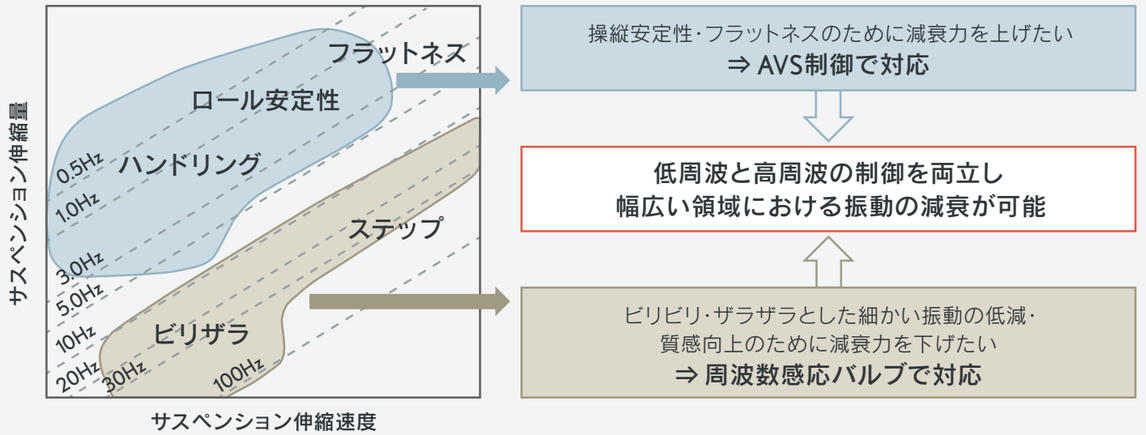
※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #03
周波数感応バルブ付AVSの採用

セダンなどに比べて重心が高いLMは、通常であれば旋回時のロール方向の動きや路面入力に起因する横揺れが大きくなってしまう。これらを抑えるにはアブソーバーの減衰力を上げる方法が一般的だが、路面からの小さな入力を拾うようになってしまい、乗り心地の悪化が避けられない。そこで、すでに定評を得ているAVSに周波数感応バルブを付加し、リニアソレノイド式アクチュエーターとの併用という手段を採用した。

周波数感応バルブ付AVSは、これまでのAVSよりもバルブ数が増えることにより、低周波から高周波までの幅広い領域における振動の減衰が可能となる。一方で、Lexus Driving Signatureをより進化させた操縦性を損なうことがあってはならない。TAKUMI*をはじめとする開発陣の緻密で妥協を許さないチューニングの煮詰めにより、最終的には地を這うようなフラットな乗り心地と雑味のない乗り味に辿り着くことができた。

＊レクサス車の統一された走りの味と品質をすべてのモデルに対して作り込む開発ドライバー。



後席の快適性を高めるRear Comfortモードをレクサス初採用

ドライブモードセレクト

Sportモード、Ecoモードなど、ドライバーの好みや状況に応じて、さまざまな走行モードを選択可能。さらなる走りの楽しみを提供します。14インチタッチディスプレイ内のソフトスイッチで切り替えることで、複数のシステムを統合的に制御。すべてのモードにおいて制動時の頭部の揺れを低減させることで、後席乗員の快適性も高めています。さらに、後席の快適性を高めるRear Comfortモードをレクサス初採用しています。



Rear Comfortモード

AVSの減衰力特性は後席の乗り心地を優先しつつ、アクセルやブレーキを統合制御することで加減速時の車両姿勢変化がより少なくなるセッティングとしています。

Normalモード

走りと燃費のバランスに優れ、さまざまなシーンでのドライブに適しています。

Ecoモード

Normalモードにくらべて、アクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになるとともに、エアコン（暖房/冷房）の作動を抑え、燃費を向上させる走行に適した制御に切り替わります。

Sportモード

エンジン、トランスミッション、モーター、ステアリングやサスペンションなどを総合的に制御することで、操縦性および安定性の確保に貢献し、スポーティな走行に適した制御に切り替わります。

Customモード

パワートレーン制御（エンジン/トランスミッション/モーター）、シャシー制御（ステアリング/サスペンション/ブレーキ）、エアコンの各制御機能のモード組み合わせを自由に選択できるCustomモードを設定しました。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

LMがめざした静粛性は、「森でくつろぐような心地よさ」「自然な静けさ」

“Natural Quiet”をコンセプトに、音圧レベルだけでなく音色・バランスを重視し「森でくつろぐような心地よさ」「自然な静けさ」をめざしました。ノイズの周波数帯域と発生部位などを解析し、発生するノイズ（源音）を小さくする/車内への侵入を防ぐ（遮音）/車内のノイズを下げる（吸音）の3ステップで静粛性に取り組みました。吸音材/遮音材/制振材の分量や厚みをチューニングしそれぞれの部位に最適配置することで、車室内騒音を大幅に低減しながら心地よい静粛感を実現しています。



ノイズ（源音）を小さくする

源音の低減では、ロードノイズと風切り音に着目。ロードノイズはタイヤ＆ホイールの転がり音低減に加え、発音部位として面積の大きいルーフに高減衰マスチックを採用し振動を低減することで静粛性を確保しています。風切り音はボンネットやピラー周りの段差を小さくするなど細部まで対策を施しました。音や振動の発生源のひとつであるエンジン、振動の伝達増幅の原因となるマウント系は徹底したチューニングを実施。ANC（Active Noise Control）によるエンジンにより発生するこもり音のクリーニングも実施しています。

車内への侵入を防ぐ（遮音）

遮音性を高める取り組みとして、発煙装置を使用したスモークテストとCADツールを組み合わせ騒音の侵入経路を明らかにすることで、ボディシール構造の最適化を実施。フロントウィンドゥ、フロントクォーター、フロント・リヤのサイドガラスには高周波の風切り音の低減を狙いアコースティックガラスを採用しました。

車内のノイズを下げる（吸音）

吸音においては、外部からの音を完全にシャットアウトした無音の空間ではなく、音の適度な反射により空間の広がりを感じさせる工夫を施しました。床下にはフロアカーペットとは別体のフロアサイレンサーを設定しています。

パーティション*による後席静粛性の向上

リヤ席空間は、前方に配置されたパーティションのトリム全体に吸音材を設定し、透過音低減効果を向上。ガラス部分にはアコースティックガラスを使用し、フロントから発生するエンジン音や前席からの音を遮り、後席の静粛性とプライバシー確保にも寄与します。

＊LM500h EXECUTIVE（4人乗り）に標準装備。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

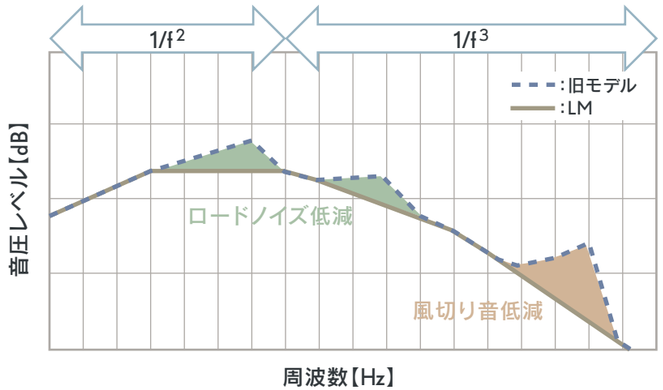
開発ストーリー #04
さらなる高みをめざした静粛性

車内における静粛性は、無音であれば乗員が快適だと感じるものではない。例えば森の中では自然現象が発するさまざまなざわめきが広がっているにもかかわらず、人はそれを自然な静けさとして心地よく感じている。こうした現象は「1/fゆらぎ」と呼ばれる周波数バランスによるものとされている。初代LSの車内音にもこの1/fゆらぎの考え方が採用されており、LMでも追求することになった。

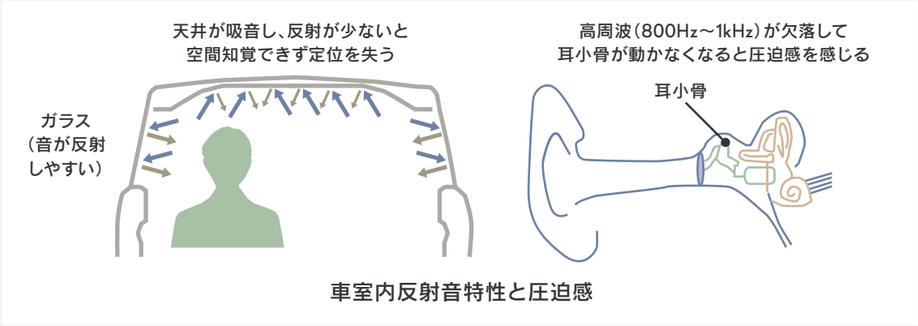
外部からの音を完全にシャットアウトしてしまうと、緊張感や閉塞感を強く感じるようになり、リラックスしにくい空間となる。そこで源音低減・遮音・吸音の3ステップにより、耳触りのいい音のみを残すような静粛感と空間づくりに取り組んだ。

人は音の反射でその空間の広がりを認知している。そのため、天井材の材料積層構造の見直し*や吸音材の量と位置の調整を実施。あえて適度な反射音を残すことで心地よさや静粛感、空間の広がりなどを自然に感じられるようになり、会話もスムーズに楽しめるリラックスできる車内環境を実現した。

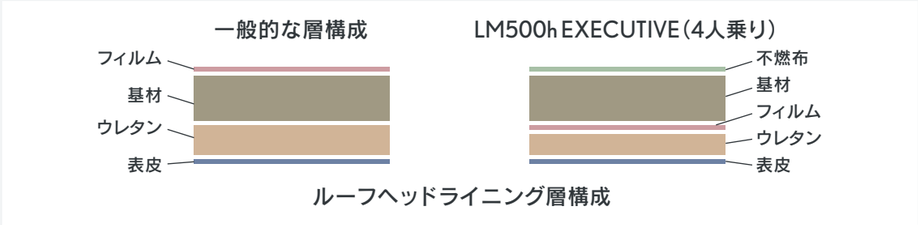
＊LM500h EXECUTIVE（4人乗り）のみ。



定常走行時の音色（周波数）イメージ



車室内反射音特性と圧迫感



ルーフヘッドライニング層構成

※画像は一部実際の仕様と異なります。

乗員の体の動きを徹底的に分析したシート構造による、頭部の揺れ軽減と視線の安定化の追求［1］

シート開発では、どの座席に座っても心身共に自然体でいられるよう乗員の身体の動きを細かく分析しました。モーションキャプチャー技術をもとにしたデータ解析と官能評価を繰り返し、乗員の体の動きを徹底的に調査。特に頭部の揺れが疲労に大きく影響することに着目し、座面の体圧分散や体幹の保持を追求しました。また、身体を腰で支えるシート構造を採用し、骨盤を少し立て気味にすることで快適性の高いシートとしています。

フロントシート

座面の面圧分布を最適化し、旋回時のGの大小にかかわらず身体をホールド。疲労を軽減する座り心地と、クルマとの対話に集中できる環境を追求しています。また、LM500h version L（6人乗り）の助手席肩口にシート調整スイッチを設定。運転席から助手席のスライド・リクライニング調整が可能です。



助手席肩口スイッチ



フロントシート

※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

乗員の体の動きを徹底的に分析したシート構造による、頭部の揺れ軽減と視線の安定化の追求［2］

リヤシート（LM500h EXECUTIVE［4人乗り］）/ セカンドシート（LM500h version L［6人乗り］）

特性の異なる2種類の衝撃吸収材と柔らかな表皮を使用することで、停車時から走行時まで乗員を優しく包み込みながら支える構造としました。また路面入力によるシート揺れを抑えるため、クッションフレームとレッグフレームの間に防振ゴムを設定し振動を大幅に低減しました。アームレストは、形状を弓なり型にすることで自然なひじの高さになるよう配慮し、通常使用時もリクライニング時も無理のない体勢でリラックスできます。クッションチルト・ランバーサポートがさまざまな体格の方の好みに合わせた着座姿勢を可能にします。LM500h version L（6人乗り）の助手席には可倒式ヘッドレストを採用し、前倒しすることでセカンドシートからより広い前方視界を確保することができます。





※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

開発ストーリー #05
リヤシートの考察と開発

リヤシートを徹底的に検証した結果、肩周辺のホールドが強すぎると上半身が揺すられ頭部の揺れが大きくなるという課題が浮かび上がった。加えて、腰痛持ちの方による官能評価も実施。猫背姿勢・骨盤が立っていない状態では頭部が揺れ、腰痛を助長し疲労にもつながること、頭部が揺れると視線もブレて車酔いなどの要因にもなることが判明。さまざまなシート姿勢を解析し、頭部揺れの低減という目標を掲げた。

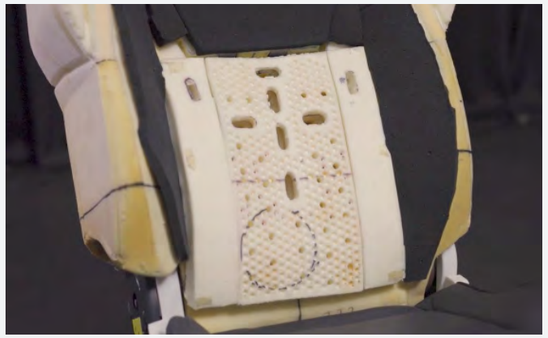
まず、クッションは着座位置を低めに設定し、チルト機構を採用。前滑りによる筋力負担を軽減するために下半身の座圧分布も改善。左右Gが加わっても尻部が大きく動かないようサイドワイヤーを設定することで下半身の安定化を図った。さらに背面は猫背姿勢に導かないフラット断面とし、骨盤を立たせて肩をフリーにして頭部軸と胸部軸のズレを最小限とすることで頭部揺れを軽減した。

腰への負担を軽減するエアーランバーも追加。上下4つのランバーの位置が任意に設定できるので、長時間移動でも疲労が少なく腰が痛くなりにくい機能性の高いシートに仕上げた。

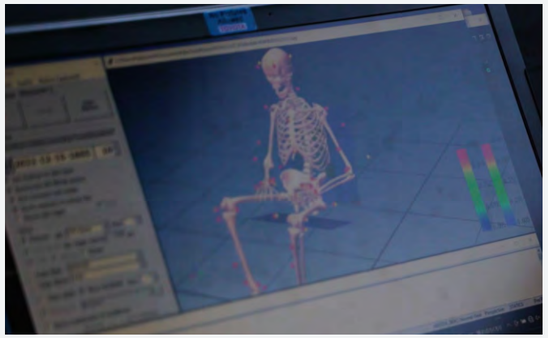
シート表皮にはレクサス最上級のL-ANILINEを採用するとともに低反発ウレタンも一部見直した。着座時に荷重が多くかかる部位は座った瞬間は柔らかく、着座後は潰れ切らない形状とし、さらに軽減穴をあけ荷重を分散させることで、硬くなりすぎない工夫を施した。

また、お客さまのさまざまな利用方法を想定し、停車時にフルフラットで休息いただけるよう、リラックス姿勢（安楽姿勢）も試作を何度も繰り返し、納得がいく快適性が実現できるまで突き詰めた。









※画像は一部実際の仕様と異なります。

トルクフルで余裕のある走りを実現するパワートレーン［1］

2.4 ℓ -T HEVシステム

高トルクな2.4 ℓ 直列4 気筒ターボエンジン、6速AT、フロントモーター、そして高出力リヤモーターeAxleを搭載し、車両姿勢や挙動を高次元でコントロールするパフォーマンスハイブリッドシステム。接地荷重に応じて四輪の駆動力を緻密に制御するAWDシステム「DIRECT4」を組み合わせています。それにより、アクセル操作に呼応する高いレスポンスと安定感のあるコーナリング性能を両立すると同時に、ばね上姿勢の変化も抑制し、乗り心地の向上にも貢献。すぐれた環境性能と低燃費でありながら、ダイレクトかつトルクフルな走りと快適な乗り心地を実現しています。



LM500h EXECUTIVE（4人乗り） / LM500h version L（6人乗り）

システム最高出力273kW（371PS）
L4 2.4 ℓ エンジン（T24A-FTS）

総排気量：2.393 ℓ

エンジン最高出力：202kW（275PS）/6,000r.p.m.
エンジン最大トルク：460N・m（46.9kgf・m）/2,000 ～ 3,000r.p.m.
AWD フロントモーター
最高出力：64kW（87PS）　最大トルク：292N・m（29.8kgf・m）
AWD リヤモーター
最高出力：76kW（103PS）　最大トルク：169N・m（17.2kgf・m）

※エンジンとバッテリーにより、ハイブリッドシステムとして発揮できる出力（社内算定値）。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

トルクフルで余裕のある走りを実現するパワートレーン［2］

2.4ℓ ターボHEVエンジン

高トルク、高出力を実現する2.4ℓ 直列4気筒ターボのT24A-FTSエンジンを設定しました。高トルクを活かした伸び感のあるダイナミックな走りを実現。ロングストローク化、バルブ挟角の拡大や高効率吸気ポートの採用などにより、高速燃焼を実現することで、高い走行性能と環境性能を両立しています。また、ジャーナル軸受部をALLアルミ製のラダーフレームにすることで軽量化、高剛性も実現しています。

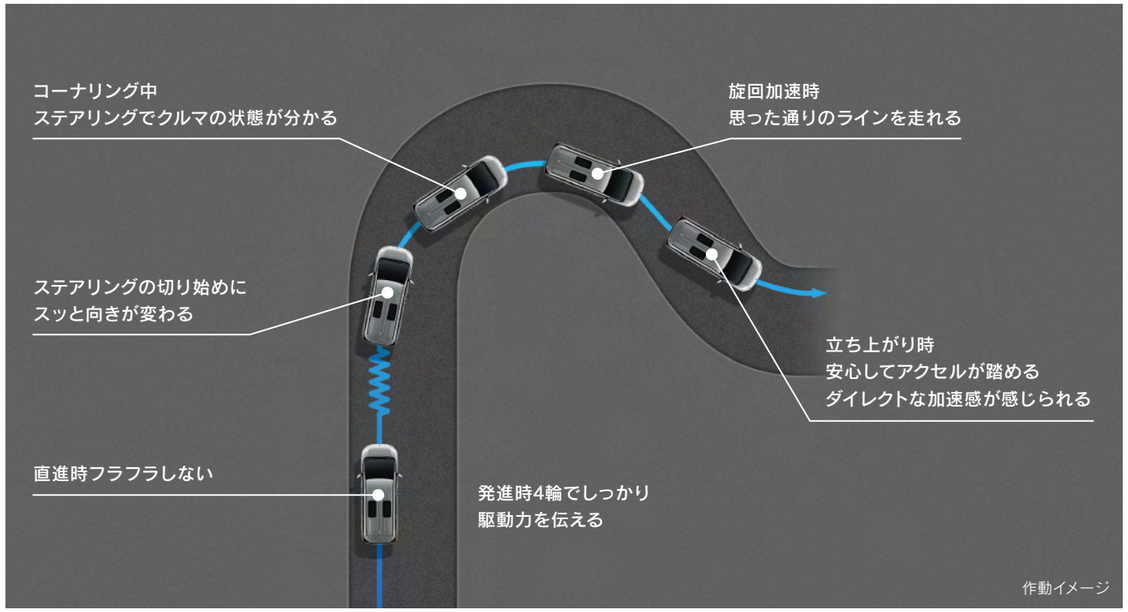


※画像は一部実際の仕様と異なります。

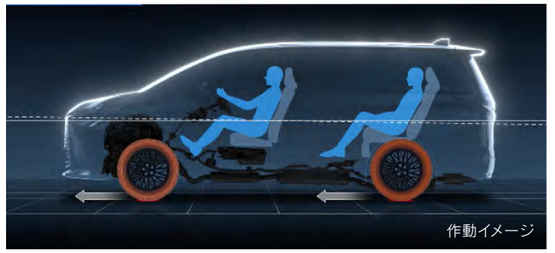
トルクフルで余裕のある走りを実現するパワートレーン［3］

DIRECT4

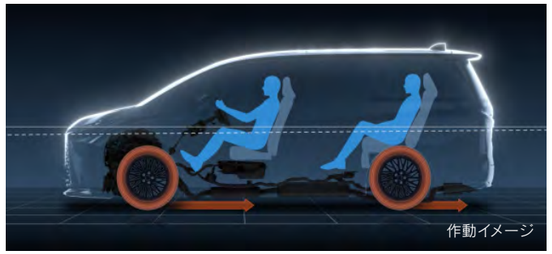
リヤに高出力モーターを持つeAxleを搭載した、モーター駆動式AWDのDIRECT4。さまざまな路面において、シーンに応じた前後駆動力配分と前後制動力配分を行うことで、車両姿勢や挙動を高次元でコントロール。後席にお乗りの方にも姿勢の変化が起こりにくいような制御も行なっています。さらに、加速、操舵、旋回でのすぐれた操縦安定性を実現すると同時に、低燃費にも貢献します。



トルク配分 前輪:後輪＝100:0～20:80



加速時



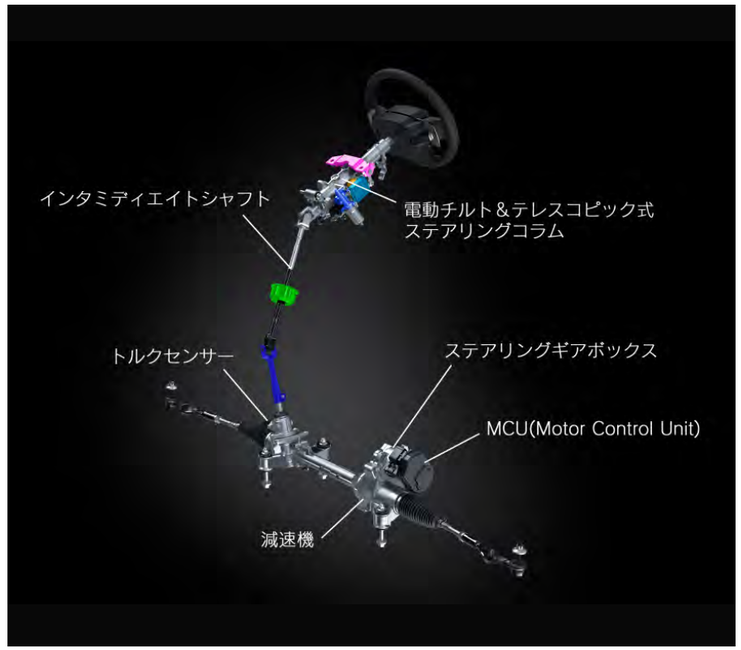
減速時

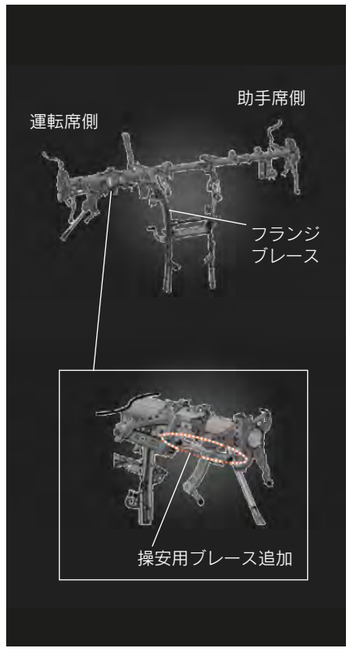
※画像は一部実際の仕様と異なります。

Lexus Driving Signatureを進化させる操舵フィーリングとブレーキフィーリング

ステアリングシステム

「意のままに運転できるクルマ」をめざし、ステアリングの動きをより正確にタイヤに伝えるラックアシスト式EPSを採用。低速時は、コーナリング時の旋回性や取り回しの良さを実現。高速域では、適度に手応えのある操舵フィーリングとすぐれた車両安定性を実現しています。また、ステアリングコラムを固定するインストルメントパネルリインフォースメントのブレースをフランジタイプにするとともに、操縦安定用ブレースを追加することで剛性をアップ。ステアリングコラム締結部の着力点剛性を高め、ステアリング操作に対する局部変形を抑えました。それにより、ステアリングを切った際の手応え感とニュートラル付近でのすぐれた応答性を実現しています。





ブレーキシステム

Lexus Driving Signatureを進化させるブレーキフィーリングをめざし、前後独立油圧制御により前後回生協調が可能な加圧ユニットを採用。より自然で扱いやすいブレーキフィーリングを実現しました。さらに、加圧ユニットによる前後独立の油圧制御により、ドライバーのブレーキ操作量に応じた前後輪の制動力配分を最適化するブレーキ車両姿勢制御を採用。制動によって前後のタイヤに発生する力を最適に利用することで、減速から旋回においてシームレスに繋がる気持ちよさと高い安心感のある走りに貢献しています。さらに停止間際の制動力配分をコントロールするスムーズストップ制御を標準装備。乗員の姿勢変化を抑え、ドライバーの技量に頼らないスムーズな停車を実現します。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

「Dignified Elegance」をキーワードに作り込んだデザイン

LMは独自の存在感と上品な佇まいを兼ね備えたエクステリアと、
快適で開放的なインテリアを両立すべく、
「Dignified Elegance」をキーワードにデザインをつくり込みました。
スタイリングと同等にこだわった、
空力や操安性能を考慮したボディ形状や
レクサスならではの上質な内装は、
走りの良さ・乗り心地に直結する重要な要素であり、
すべては乗員の快適な移動につながります。



躍動感がありながら上品で伸びやかなLM独自のフォルムを実現

機能に根差したエクステリアデザイン

次世代LEXUSデザインのめざす「機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求」を表現したエクステリアデザイン。キャビンの広さを感じさせる、リヤ席付近に最もボリュームを持たせたサイドのスタイリングと、走りの良さ・乗り心地を想起させる前後タイヤの存在感を強調した造形を融合させることで、躍動感がありながら上品で伸びやかなLM独自のフォルムを実現しました。

サイドデザイン

ボディ全体でダイナミックな抑揚を表現しながら、ルーフ、ガラスエリア、ロッカー周りは安定感を感じさせる水平基調とし、ショルダーに入ったシャープなエッジと大胆な造形による陰影のコントラストは、サイドビューに豊かな表情をもたらします。また、フロントピラーとリヤピラーをブラックアウトしたフローティングルーフとすることで、乗員のプライバシーは守りつつ解放感と抜けの良いフォルムを表現するとともに、低く水平なベルトラインは後席に乗車する方の見晴らしにも配慮しています。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

さらに進化させた、LEXUSのアイデンティティであるスピンドルボディ

スピンドルボディ

LEXUSのアイデンティティであるスピンドルボディをさらに進化させました。押し出しの強いスピンドル形状のグリルに外板色を採用することでボディと一体でシームレスに表現。ヘッドランプを含めたアッパーの鋭い表情と、サテンメッキを繊細にあしらった見応えある作り込みで、モダンでゆるぎない強さを持ったフロントフェイスを表現しました。フロントグリルとフード・ヘッドランプ・バンパーの境界の段差を減らし、ボディとより融合した構成とすることで、走行時の空気の流れをボディ上面や側面へスムーズに流す効果によって、空力性能や冷却性能、操縦安定性にも寄与しています。





※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #06
エクステリアデザインのこだわり

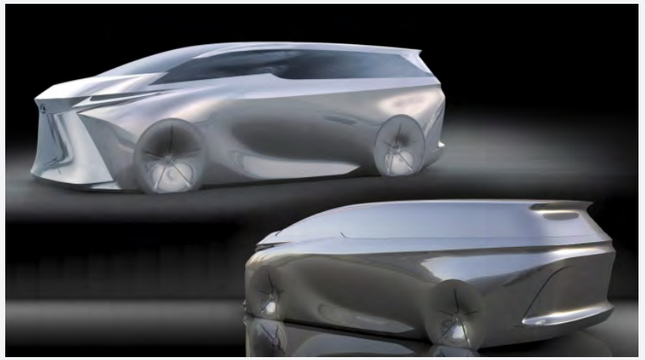
LMではお客さまの多様な使い方を想定し、ビジネス・フォーマル・カジュアルなどのさまざまな用途や、到着～乗降～発進の一連の動きなどを想定。それらに相応しい「知性」「品格」「凛々しさ」「艶」の表現を追求した。

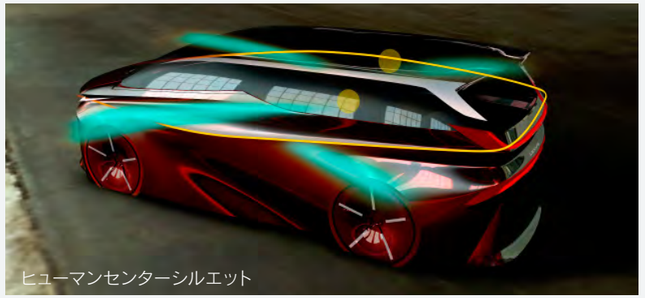
上品で走りの良さを想起させるデザインを実現したい一方で、パッケージ上、背が高く室内の快適性を最優先にする車両コンセプトのため、外形デザインと引き換えに室内空間が犠牲になることは許されない。ラグジュアリームーバーのLMとして相応しい意匠を実現することは、非常にハードルの高い挑戦だった。

まず、デザインの基本骨格を次のように定義した。走りを予感させる“前進感”とエレガントさを表現するために、
(1) フロントのスピンドルを起点に伸びやかなウェッジシェイプを基本立体とする
(2) レクサスのヒューマンセンターシルエットの考えを落とし込んだリヤ席の乗員を中心にしながら4つのタイヤ周りを強調する（安心感、安定感）
(3) ロア周りは後ろ下がりのモーション（ロングドレスの後ろ姿、後ろ下がりの優雅さが着想のひとつ）

「知性」「品格」「凛々しさ」「艶」の表現、走りの良さを感じるダイナミックなボディシェイプの表現のため、彫りの深い彫刻的なデザインを取り入れ、「走りのすっきりした切れ味」を表現するとともに、「艶」の表現としてボディに陰影が強く美しく映り込むことを狙った。ハイライトはあたかも精神を集中した緊張感の中で描かれた一筆のような表現にするために幾度となく試作し、0.01mm単位の面質チューニングを行った。それは、これまでの開発とは比にならない修正回数であり、デザイナーだけでなく生産技術部門、製造部門も思いをひとつに取り組んだ。

フロントフェイスは、「凛々しさ」「品格」のある顔つきをスピンドルボディで表現するため、特徴的なフェンダー造形の採用により縦方向の顔の厚みを確保するとともに、フロントピラーの付け根・フードからフロント全体をスピンドルボディとしてとらえ、シームレスなデザインとした。さらにホイールも、停車中・走行中どちらのシーンでも上品に見えるようにデザイン。細いスポークの集合体とすることで細かい光の反射が生まれ、上品な印象につながっている。




ヒューマンセンターシルエット


レクサスデザイン
LM Project Chief Designer
北角 広也

※画像は一部実際の仕様と異なります。

特徴的なラインでスピンドルボディを強調するヘッドランプ

フルLEDヘッドランプ

グリル上部のスリットからサイドまで連続する特徴的なラインでスピンドルボディを強調。上段にはターンランプとデイタイムランニングランプの機能を持った外向きのL字シグネチャーを配置し、さらに下段にもL字シグネチャーを配することで、シャープな表情を表現しながら、視認性にも配慮しました。

ランプユニット

外側の2灯がロービーム、内側の1灯がAHS（Adaptive High-beam System）として機能する小型かつ高性能な3眼LEDユニットを採用。高い配光性能と意匠性を両立しています。

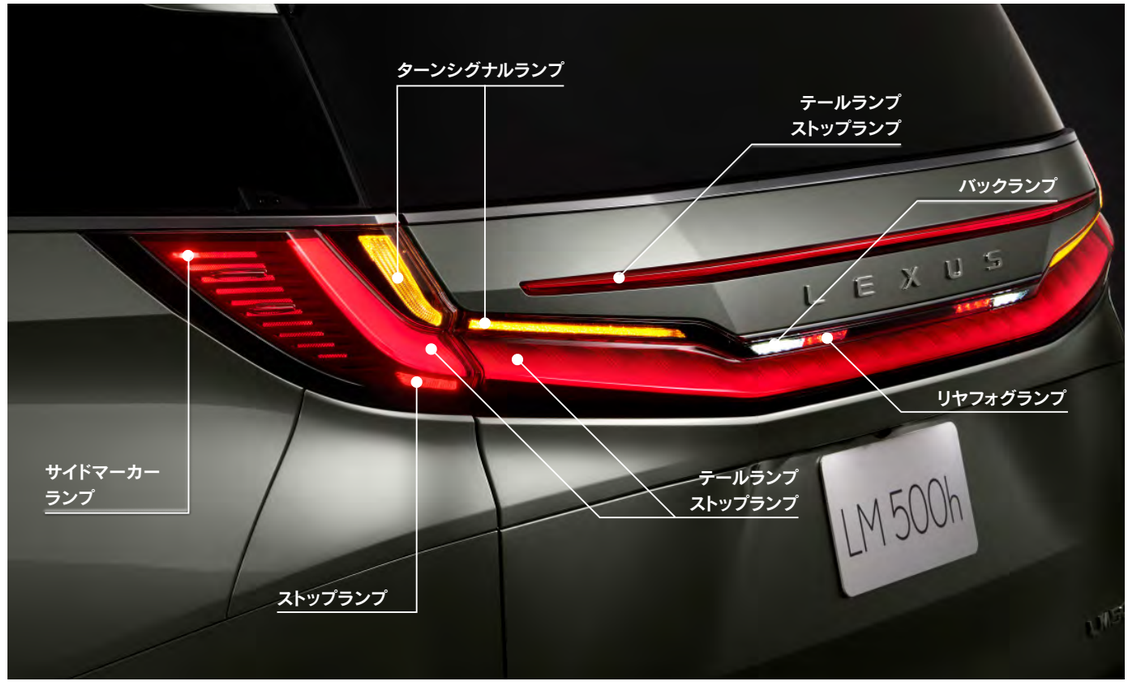


※画像は一部実際の仕様と異なります。

次世代LEXUSのアイコンである「L シェイプ一文字シグネチャー」を採用

フルLEDリヤコンビネーションランプ

次世代LEXUSのアイコンである「Lシェイプ一文字シグネチャー」を採用。さらに上部に車両の水平軸とワイド感を強調する一文字ランプを配しました。テールランプは太さに変化を持たせながらグラデーション発光を採用し、深みと奥行き感のある表情を持たせました。また、ターンランプやバックアップランプはヒドゥンテックの考え方により、造形を崩すことなく点滅・点灯時のみ視認できる位置に配しています。





※画像は一部実際の仕様と異なります。

LMならではの伸びやかなシルエットを強調したリヤデザイン

リヤデザイン

リヤピラーからリヤコンビネーションランプへの流れるようなモーションや、前方へ傾斜したリヤウインドゥにより、LMならではの伸びやかなシルエットを強調しました。
LEXUSロゴを配したガーニッシュやバックドアまで回り込んだリヤフェンダーの掘りの深い造形は、リヤビューの立体感、安定感を際立たせています。





※画像は一部実際の仕様と異なります。

3Dシミュレーションはこちら >

上品さと走りの良さを表現したホイールデザイン

ホイールデザイン

19インチと17インチの2種類を設定したアルミホイール。19インチは鍛造の特徴を活かし、交差したマルチスポークメッシュの精緻なディテールでプレミアム感を表現、17インチはマルチスポークに加えて外周にアイキャッチを施すことで存在感を強調しました。表面にはいずれのサイズもスパッタリング処理を施しています。また、静粛性と走り出しの滑らかな転がりをめざし、17インチにはノイズリダクションホイールを採用。アウターリム部の中空化により気柱共鳴音を低減し高い静粛性を実現しています。19インチには鍛造ホイールを採用することで、17インチと同等の質量＊を実現し、バネ下質量の低減に貢献しています。

＊タイヤとホイールの質量を合計した場合。



17インチホイール
アウターリム部の中空化

全 車



19インチホイール



17インチホイール

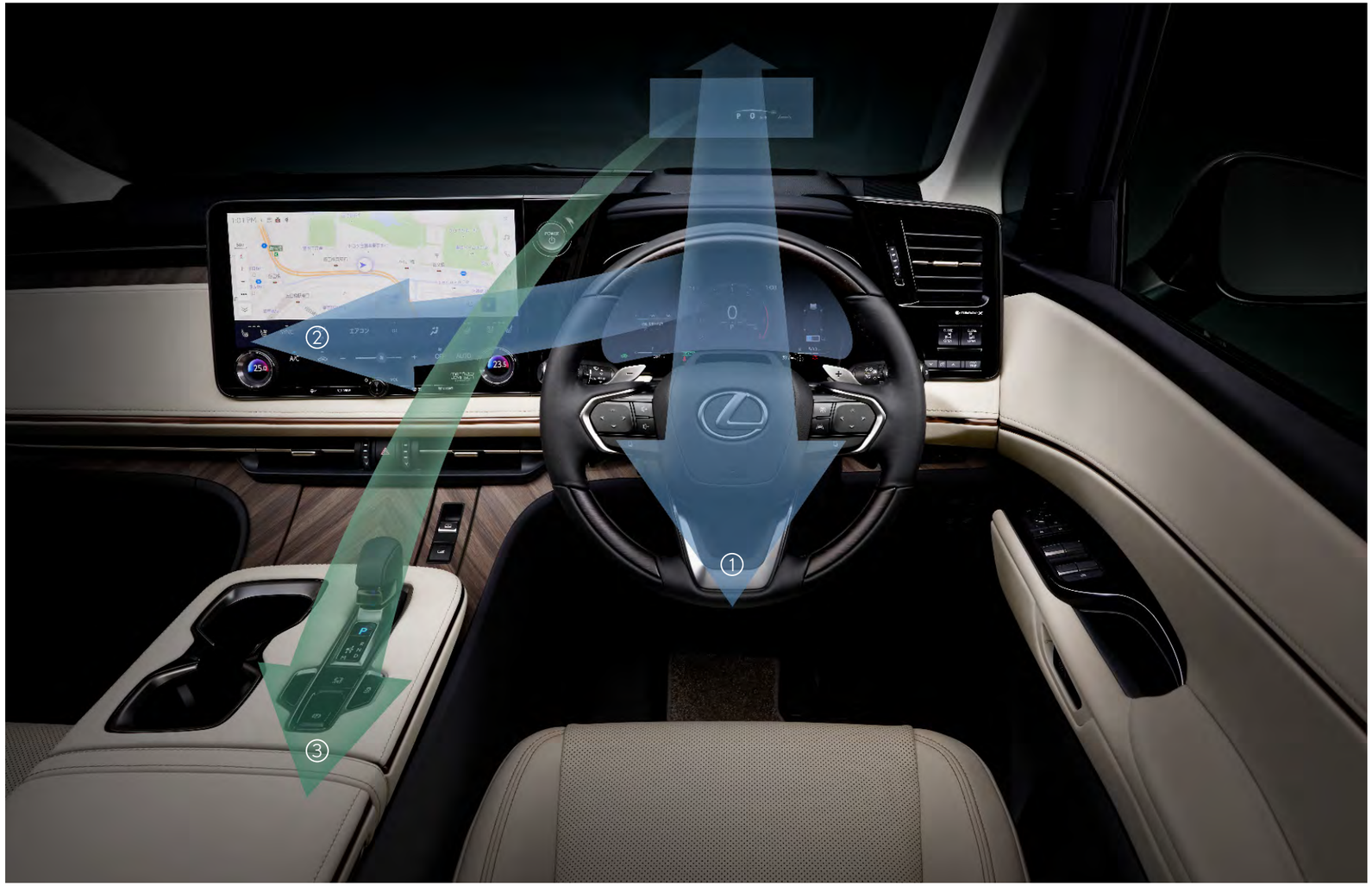
全 車

＝メーカーオプション

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ドライバーが意のままに操れる操作系をめざしたTazuna Concept

レクサスのクルマづくりに根付いている人間中心の思想を、さらに進化させたコックピット設計の考え方「Tazuna Concept」。人が馬を操る際に使う「手綱」に由来し、人とクルマがしっかりと意思疎通できることをめざしています。Tazuna Conceptによって、クルマとのコミュニケーションをもっと深め、クルマを意のままに操る喜びを体験してほしいという想いを込めてコックピットを開発しました。ヘッドアップディスプレイからメーターに向かう前後方向につながる情報系部品配置（①）と、メーターからタッチディスプレイへつながる部品構成（②）により、スムーズな視線移動を実現しました。また、ステアリング周辺に配置された走行系部品（③）により、スムーズな操作も可能にしています。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

モダンで広がりのある空間を表現したフロント席

フロント席では、LEXUSのコックピット思想「Tazuna Concept」を継承しつつ、インストルメントパネルとドアトリムがシームレスにつながる、シンプルでおおらかなデザインテーマにより、モダンで広がりのある空間を表現しました。縦方向につながるコンソールの杢目調パネルの上に、水平基調のインパネが交差する構成とし、前後左右に立体感を感じる開放的なフロント席を実現しました。

インストルメントパネルからドアトリムへ繋がるパッドは上質な仕立てにもこだわり、金属調加飾を挟み込んだアクセントに加えて、端部を折り込みステッチを施すことで、シンプルながらも細部にわたって妥協しない質感を追求しました。





※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。

走行中の視界を確保した上で、情報を分かりやすく伝えるカラーヘッドアップディスプレイ表示

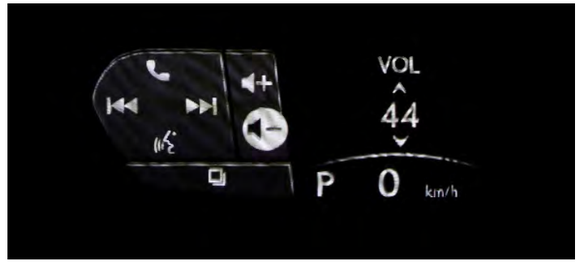
カラーヘッドアップディスプレイ（連動ステアリングスイッチ付）

運転に必要な情報をウインドシールドガラスの視野内に投影するカラーヘッドアップディスプレイ。
メーターへの視線移動を減らし、ドライバーが前方の道路状況に集中しやすくなります。
好みや運転シーンに合わせて3つの表示モードを選択することができます。



タッチトレーサーオペレーション

ドライバーが触れているステアリングスイッチの位置を検出し、カラーヘッドアップディスプレイに操作ガイドを表示するタッチトレーサーオペレーションを採用。手元を見ることなく、前を見ながら、直感的に操作できます。なお、カラーヘッドアップディスプレイのボタン配置はカスタマイズ可能です。



カラーヘッドアップディスプレイ表示


ステアリングスイッチ



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

シンプルでわかりやすいメーター

12.3インチTFT液晶式メーター

同時に複数の情報を表示可能な3つのマルチインフォメーションディスプレイを設定。必要な情報を厳選し、表示、操作をシンプル化しています。メーター表示を3つのレイアウトから選択可能で、ドライバーの好みに合わせた表示が可能です。また、ドライバーが情報を瞬時に識別できるように、各走行モードに合わせてメーターの意匠を変化させています。





※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

使いやすさを追求したタッチディスプレイ

14インチタッチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応*1）Plus

高解像度で鮮明な表示が可能なタッチディスプレイで、直感的な操作性を実現しました。使用頻度の高いヒーターコントロールとオーディオ（パワー/ボリューム）はハードスイッチとし、その他のオーディオ操作は、ディスプレイ内にソフトスイッチとして集約。アイコンを使用したMENUを運転席側に常時表示*2することですぐれたアクセス性を実現しています。

＊1. G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。初度登録日から3年間無料。G-Link無料期間終了後に契約しない場合は非通信型ナビゲーションとして引き続きご利用いただけます。

＊2. 一部画面を除く。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。

お客さまが素に戻れる時間の提供をめざしたリヤ席［1］

リヤ席は、お客さまが素に戻れる時間を提供すべく、人間中心の考え方に基づいた精緻なつくり込みを行い、きめ細やかな心づかいを行き届かせました。室内高のあるパッケージを活かしながら、広く心地よい空間をシームレスなデザインテーマで表現し、リビングのようにくつろげる世界観を追求しました。

モダンで落ち着きのある空間

水平垂直のテーマに基づいて表現されたパーティション*、ドアトリムなどにより、開放的ながらモダンで落ち着きのある空間を表現しました。内装部品間の段差も極限まで減らすとともに、サイドウインドゥのグラフィックもシンプルな長方形とするなど、インテリアのあらゆる構成要素から乗員にとっての視覚的ノイズを減らし、お客さまがリラックスできる空間を追求しました。

高められたパーソナル感

座った瞬間に心身を解放させるような心地よさをめざした、体をゆったり包む大型独立シートを採用。左右独立したガラスルーフは開放感を高めるとともに、左右のシートとシンクロすることで、よりパーソナル感を高めます。

お客さまの所作にも配慮したおもてなし空間

天井には、上質かつソフトな質感・触感を持った、ウルトラスエード®を採用し、プレミアムな室内空間を表現しました。さりげないおもてなしを演出するヒドゥンテックの考え方で、空調や照明などの各機能は加飾とも融合させながらパーティション*とオーバーヘッドコンソールへシンプルに集約。テーブル等のユーティリティは、アームレスト下へ収納し、アームレスト上にはトレイ*を配置するなど、機能性を高めました。また、センターアームレスト上にパワースライドドアスイッチ*を設定することでスムーズな乗り降りの所作を追求しました。

＊LM500h EXECUTIVE（4人乗り）に標準装備。





※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

お客さまが素に戻れる時間の提供をめざしたリヤ席［2］

LM500h version L（6人乗り）では開放感・見晴らしに配慮しながら、前後左右に広がりのあるトリムやオーバーヘッドコンソールを配し、多人数乗車においてもパーソナル感を尊重した、リラックスできる空間を追求しました。セカンドシートには左右席それぞれにマルチオペレーションパネルを装備、リヤ席オーバーヘッドコンソールはサードシートからの使用性にも配慮し、LM500h EXECUTIVE（4人乗り）と共通の考え方で上質な仕立てをめざしました。







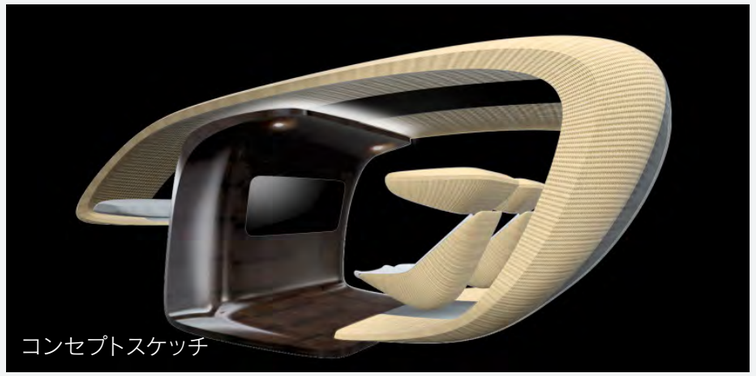
※画像はLM500h version L（6人乗り）。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #07
インテリアデザインのこだわり

もはや車ではないような“心から安心・リラックスできる空間”、“乗った瞬間に別世界”“完全なプライベート空間”“モダンな空間”といった室内空間をめざし開発。それを実現するために、
・視覚的ノイズのない室内空間
・乗員の乗車～降車までの一連の所作を想定した配置
以上2点を基本的な考え方としながら開発を進めた。

フロント席では、つながりや広がり感によるこれまでにない開放感を持たせるために、クルーザーのコックピット等からもインスパイアを受けながら、見晴らしよく運転にも集中できる空間とした。立体感にこだわった造形も、クルマという限られた空間の中でも広さ感を演出するという目的のひとつである。インパネや各機能はつながり感を意識しつつ、柔らかい素材で包み込むようにすることで安心感を表現。さらにあえて低い位置で包まれ感を出すことにより、開放感と包まれ感を両立させた。表皮の端部を折り込むなどの繊細な仕立ては、おおらかな世界観の中においても、細部まで気持ちの行き届いた繊細な表情を組み込むことをめざした。

LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の後席空間は、例えば多忙な富裕層のライフスタイル（自宅⇔オフィス⇔プライベートジェットへの移動を繰り返すような生活）において、「車の中にいる」ことを強く意識することなく移動時間を過ごしてもらいたい、という発想を起点に開発。モダンリビングやデザイナーズホテルのような車内づくり、また視界が良い空間づくりに取り組んだ。具体的には、水平垂直を基調とし、躍った線をなくすことでシームレスかつ開放感のある空間としている。シートからトリム、フロアから壁、パーティションから天井、センターコンソールから冷蔵庫等をシームレスな内張りとすることでも、つながり感を表現。さらに、配色・素材・加飾、空調・照明などの各種機能の入れ方や、スライドドアをフラットでスクエアな形状にする等、一体感のあるインテリア空間の実現に徹底的にこだわった。


コンセプトスケッチ

モダンプレミアムとニューフォーマル、2つの世界観をご用意

2つのインテリアカラー

インテリアカラーには、「ソリスホワイト」と「ブラック」を設定。「ソリスホワイト」にはカッパー色のアクセントを加え、華やかさの中にも心地よさが感じられる、モダンプレミアムな世界観を表現しました。「ブラック」は、黒の中にダークグレーを加えて重いイメージを払拭し、ニューフォーマルな世界観を表現しました。
リヤ席スライドドアトリムには、コントロールパーフォレーションを施した表皮を採用。精緻にグラデーション配置した現代的な柄のパンチングから、レイヤー構成の金属調加飾を透かせることで、先進かつモダンな表現をめざしました。

■LM500h EXECUTIVE（4人乗り）


ソリスホワイト（内装加飾：サテンカッパー）


ブラック（内装加飾：サテンシルバー）

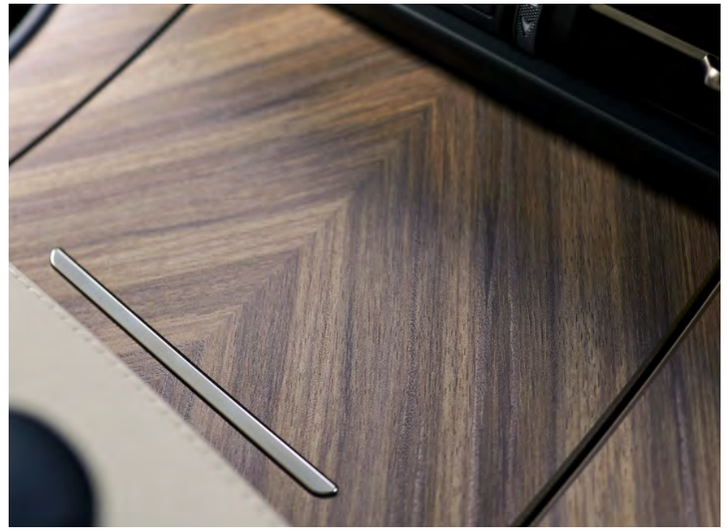
■LM500h version L（6人乗り）


ソリスホワイト（内装加飾：サテンカッパー）


ブラック（内装加飾：サテンシルバー）

室内加飾「矢羽根」

加飾では、日本古来より縁起の良い文様とされる「矢羽根」を、モダン柄にアレンジしたヘリンボーン柄杢で再現し、インパネ・フロントコンソール・リヤオーバーヘッドコンソールへ採用。4層の立体印刷技術「Viscotecs®」によって繊細かつ精緻な表現を行いました。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

心と身体が整う、細部までこだわった さりげないおもてなしと多彩な装備

乗車し、走り、降り立つ時まで、
お客さまが素に戻れる時間を提供できるような空間をめざしました。
ドアを開いた瞬間に目を惹くのは、
リヤ席前方に備えられた48インチ大型ワイドディスプレイを
備えたパーティション。
座った瞬間に心身を解放させるような心地よさをめざしたシートは、
頭揺れや振動を低減するように設計されています。
また、空調やシェードを左右それぞれでコントロールでき、
パーソナル感も高めるなど、お客さまがリラックスできるよう
さまざまな配慮が隅々まで行き届いています。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

パーソナル感を高め、心からくつろげる空間を追求したリヤ席

リヤ席前方に48インチ大型ワイドディスプレイを備えたパーティションを配置。前後席の車内空間を仕切ることでパーソナル感とプライバシー性を高めました。

プライバシー性と静粛性を高めるパーティション

パーティション骨格の一部にマグネシウムダイキャストを使用し強度と剛性を確保しながら、トリム全体に吸音材を設定し、透過音低減に寄与しています。上部には、開放感とプライバシーの確保を考慮した昇降/調光ガラスを設定。前方の景色が見える位置にガラスを配置することで開放感のある空間としつつ、ドライバーと後席の乗員の顔がお互いに見える位置としました。ガラス部分にはアコースティックガラスを使用し、フロントから発生するエンジン音や前席からの音を遮り、後席の静粛性とプライバシー確保にも寄与します。さらにシーンに応じて、ガラス開閉や調光変更を前後席どちらからでも操作可能としながら、後席には作動ロックのボタンを用意することで後席のプライバシー確保に配慮しています。調光はスイッチ一つで瞬時に変更可能です。

多彩な機能を統合

パーティション中央下部には冷蔵庫を設定。一般的な750mlのシャンパンボトルは3本、500mlのペットボトルは6本を入れられる庫内容量*を確保しながら奥行きを薄幅化することで、広い足元空間を確保しています。また、冷蔵庫内にはホルダーを装備。異なるサイズのボトルを保持し、スムーズな取り出しが可能です。乗降性に配慮したアシストグリップや傘立て、グローブボックスもパーティションに統合しました。　＊種類によって異なります。

48インチ大型ワイドディスプレイ

パーティションに装備された48インチ大型ワイドディスプレイ。圧倒的な存在感で、独自の移動体験価値を提供します。ビジネスミーティングや映像鑑賞など、多様なシーンに合わせた使い方が可能。リヤコンソールのリヤマルチオペレーションパネルにより、手元で直感的に操作できます。





※フロアマットはディーラーオプション。　※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #08
後席の大空間プライベートスペースへの取り組み

パーティション

4人乗りのLMの重要な使命は、セダンでは実現できない大空間のプライベートスペースを後席のお客さまへ提供すること。パーティションはこれを前提に機能性を損なわない範囲で極限まで薄型化し、前席のドライビングポジションの自由度を確保しながら、広々とした後席の足元スペースも確保した。

さらにシール構造の採用と吸音材配置により、エンジン透過音を低減すると同時に、前後席間の会話をできるだけ聞こえにくくし、後席をよりプライベートな空間とした。限られたパッケージ要件と質量要件の中で効果的に騒音を低減できる方法を、定量と官能の両面で評価をしながら工夫を重ね、パーティションによるすぐれた透過音低減効果を実現した。

冷蔵庫（ホルダー付）

静粛性の高い空間を提供するために、冷蔵庫にも着目。コンプレッサ及び防振構造を一から見直した。また、後席乗員の足元スペースを拡大するため、庫内容量は従来型と同等を維持したまま冷蔵庫の奥行きを薄幅化した。冷蔵庫内には、柔軟性と弾力性のある素材を使用したホルダーを装備。仕切りを波形状にすることで、サイズの異なるボトルを保持するとともに、ボトル同士の接触を防ぐ。



※フロアマットはディーラーオプション。

移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［1］

リヤクライメイトコンシェルジュ

エアコン/シートポジション/サンシェード/照明などを統合制御するLEXUS初採用の「リヤクライメイトコンシェルジュ」は、乗員に最適な車内環境の実現をサポート。4種類のプリセットモード（Dream/Relax/Focus/Energize）に加え、乗員の好みに応じてカスタマイズできるモードも用意し、より快適な空間を提供します。

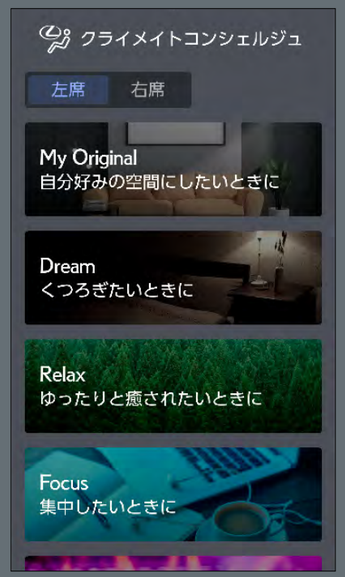
タッチパネルの手元操作で、リクライニング、空調、照明、シェードなどを一括制御できます。

リヤクライメイトコンシェルジュ機能一覧

エアコン/シートベンチレーション/シートヒーター/
リラクゼーション機能/シート調整/サンシェード/
機能照明/間接照明

プリセットモード

Dream	足を中心に全部位を温める暖かめの空調と 明るさを落とした空間で、至福の空間
Relax	足を中心に全部位を温める暖かめの空調と 安らぎを感じる照明で、くつろぎの空間
Focus	顔を中心に上半身を冷やす空調と 爽やかな照明で、集中しやすい空間
Energize	シートヒーターのオン/オフを 繰り返す温熱刺激と高揚感が高まる照明で、 活力がわく空間





※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［2］

車内での過ごし方はさまざまで、近年ではその用途もより多様化しています。LMは、自宅のリビングルームのようにくつろげる空間や、ビジネスシーンにも対応できる空間など、お客さまの多彩なニーズに応えつつ、自然体でいられる室内環境づくりに力点を置いた開発を行ってきました。

リヤシート

オットマン付きパワーシートと頭部を支える大型ヘッドレストを完備。表皮は、包まれるような安心感と快適な乗り心地をめざし、レクサス最高級本革であるL-ANILINEとし上品な質感を演出しました。

快適性を高める機能

シートヒーターとシートベンチレーションを設定。LEXUSとしては初めて、シートヒーターをアームレストとオットマンにも採用しています。アームレスト横にはシート型の操作スイッチを設定、直感的な操作を可能としています。シートバックとシートクッションにはエアブラダーを内蔵し、大腿部から背中までを押圧するリラクゼーション機能を設定しました。

アームレスト&格納式テーブル

小物が置けるトレイを備えたアームレストは、形状を弓なり型にすることで自然なひじの高さになるよう配慮し、通常使用時もリクライニング時も無理のない体勢でリラックスできます。また、アームレスト内の格納式テーブルには強度と質感にすぐれたマグネシウム製の天板を採用し、滑り止め/傷つき防止の機能性を持たせた表皮巻きとしています。



※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［3］

後席シートヒーター/後席シートベンチレーション

3段階で温度調整可能なシートヒーターとベンチレーションを設定しました。シートヒーターは、アームレストとオットマンにも採用。ベンチレーションは吸い込み方式で、より短時間で冷涼感を得られるようにエアコンの冷風が通り抜ける穴の位置や溝の位置・形状を最適化し、快適性を高めています。



後席リラクゼーション機能

シートバックおよびシートクッションに内蔵されたエアブラダー（空気袋）を膨張/収縮させることで、乗員の全身（大腿部から背中まで）を押圧するリラクゼーション機能を設定。移動中にも、心身のリフレッシュが可能になります。

※LM500h EXECUTIVE（4人乗り）は全7コースから好みや気分に合わせて選択可能。LM500h version L（6人乗り）は1コースのみの設定となります。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［4］

電動サンシェード（ガラスルーフ、スライドドアガラス、リヤクォーターガラス）

直射日光を遮り、快適なひとときを提供するために、ガラスルーフ、スライドドアガラス、リヤクォーターガラスにサンシェードを設定しました。ガラスルーフのサンシェードは、左右それぞれ独立してコントロールが可能。すっきりとフラットな天井レイアウトと後席乗員の高い快適性を両立しています。スライドドアガラス、リヤクォーターガラスのサンシェードは、スクリーン密度を最適化し、車内が明るいときでも外からの視界を妨げつつ、室内からの視界は確保できる遮光率としました。また、パーティション*の上部には昇降ガラス（調光機能付）を備え、プライバシーを保ちつつも圧迫感を与えないようにすることで車内の解放感も両立。プライバシーの確保に寄与しながら、快適性を高めます。

＊LM500h EXECUTIVE（4人乗り）に標準装備。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［5］

4席独立温度調整オートエアコン（LM500h EXECUTIVE［4人乗り］）/ 前後左右席独立温度調整オートエアコン（LM500h version L［6人乗り］）

運転席・助手席とセカンドシート左右の車室内温度を、それぞれ独立して自動的にコントロール。各乗員それぞれに合った快適空間を提供します。またLM500h version L（6人乗り）のサードシートには、クォータートリム左右に吹き出し口を設定したほか、スライドドアからの冷気を膝周りに感じにくいようエアカーテン用の吹き出し口を設定しました。

後席乗員部位別調整機能（LM500h EXECUTIVE［4人乗り］）

パーティションの上部中央には、乗員と周辺温度*を検知する後席専用の「温熱感IRマトリクスセンサー」を設定。乗員の顔、胸、大腿、下腿の体の部位を4つに分け温熱感（温かさ/冷たさ）を推定することでエアコンを最適にコントロール。シートヒーター/ベンチレーションなどの快適装備と連携し、つねに快適な空間を提供します。さらにパーティション左右に電動レジスターを設定。薄型で意匠性を考慮しつつ、フィンに拡散抑制技術を採用することで、効率的に乗員までエアコンの風を届けます。

＊窓、トリム、天井の周辺温度を検知

ナノイーX nanoe X

ナノイーXは、ナノイーに比べて、効果の元であるOHラジカルをより多く含む微粒子イオンです。運転席側のサイドエアコン吹き出し口、リヤのパーティション吹き出し口（LM500h EXECUTIVE［4人乗り］）、センターコンソール後部（LM500h version L［6人乗り］）から室内へ放出されます。車室内を快適な空気環境に導くナノイーがさらに進化しました。

※nanoe（ナノイー）＝nano-technology+electric最先端のテクノロジーから生まれた“水に包まれている電気を帯びたイオン”。
※使用環境によっては「ナノイー」の効果が十分に得られない場合があります。


作動イメージ

※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

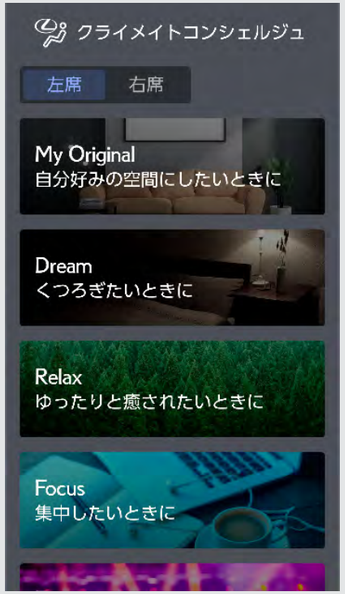
移動を価値の高い時間に変える、上質なプライベート空間の追求［6］

リヤマルチオペレーションパネル

脱着可能なタッチ式コントローラータイプのリヤマルチオペレーションパネルを採用。リヤクライメイトコンシェルジュ/シート/オーディオ/照明など後席の各種機能を操作することができます。リヤのセンターコンソールに装備し、左右席どちらからでも好みの設定が可能です。リクライニング時も体勢を変えず手元で操作できるよう配慮しました。







※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。

シーンに応じ、さまざまなバリエーションで表示可能な大型ワイドディスプレイ

リヤシートエンターテインメントシステム

48インチ大型ワイドディスプレイを採用したリヤシートエンターテインメントシステムを設定しました。ディスプレイは、センター1画面表示（シングル）/左右2画面表示（ダブル）/横長1画面表示（フルスクリーン）の選択が可能。2画面表示では、2つのHDMI端子それぞれにPCを接続して、異なる画面を表示することもできます。また前席と後席で、共通のコンテンツを視聴できる連動モードと、異なるコンテンツを視聴できる独立モードも設定。前席スピーカー、後席スピーカー、後席ヘッドフォン*の3つの音声出力で、それぞれ独立したソースを視聴可能としました。

＊ヘッドフォンは別売（市販品）となります。

※機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。



左右2画面



横長1画面



センター1画面

※画像は一部実際の仕様と異なります。

仕立ての良さと機能性の両立 [1]

センターコンソールユーティリティ

すっきりとした仕立てと使いやすさを両立させた蓋付き収納を採用。ビジネスドライバーにも配慮したフレキシブルに使えるユーティリティとしました。運転に集中できるコックピット空間を実現するために、走行系機能をドライバー側に集約し、カップホルダーなどのユーティリティ系アイテムは助手席側に配置しました。またLM500h version L（6人乗り）では、コンソールボックス内におくだけ充電®を設定。アクセス時の視線移動を低減し、スマートフォンを置いたままでも小物入れを使えるようにしました。





※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※フロアマットはディーラーオプション。

仕立ての良さと機能性の両立［2］

リヤ席（リヤ空間）ユーティリティ

さりげないおもてなしを演出するヒドゥンテックの考え方で、加飾とも融合させながら配置の細部までオーナーの所作に配慮しました。





＊USB PD（USB Power Delivery）に対応しています。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

開発ストーリー #09
後席用テーブル

さまざまな体格の被験者の協力を得て、人間工学的な解析を実施し最適なテーブルの高さを検討。安楽姿勢でも膝に当たらない高さをとりつつ、使用時には圧迫感を感じないよう高すぎない配置を探った。薄型化と剛性の両立にもこだわり、素材には強度と質感にすぐれたマグネシウムを使用。滑り止め/傷つき防止/振動による音の発生を防ぐなどの機能性を持たせる目的で、テーブルをあえて表皮巻きとした。移動しながら執務されることを想定しながら開発したので、紙一枚を置いてペンで字が書ける硬さに調整した。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。

仕立ての良さと機能性の両立［3］

オーバーヘッドコンソールユーティリティ

空調・照明・スピーカーなど室内で快適に過ごすための機能を、パーティションとシームレスにつながっているセンター配置のオーバーヘッドコンソールへシンプルに集約しました。また、ガラスルーフサンシェードなどのスイッチも集約し、左右どちらの席からも両側の操作が可能です。



※画像はLM500h EXECUTIVE（4人乗り）。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

開放感と見晴らしに配慮しながら多人数乗車でのパーソナル感を追求



LM500h version L（6人乗り）においても、
お客さまが素に戻れるような時間を提供できる空間をめざしました。
リヤ空間はゆったりと過ごせる広さと仕立ての良いシートやトリム、
そしてあらゆる時間の過ごし方に対応できるさまざまな装備を用意しています。
また、助手席に前倒しができるヘッドレストを採用するなど、
開放感と見晴らしの良さに配慮しました。
多彩なシートアレンジメントで、リラックスして乗りたいとき、
荷物が多いときなど、さまざまな利用シーンに対応します。

※フロアマットはディーラーオプション。

LM500h version L（6人乗り）の主なリヤ空間装備

LM500h version L（6人乗り）の一部装備・機能の詳細につきましては、下記のLM500h EXECUTIVE（4人乗り）のページをご覧ください。

●格納式テーブル、収納スペース、
充電用USB端子



●前後左右席独立温度調整オートエアコン/ナノイーX

> LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の41ページをご覧ください。

●リヤマルチオペレーションパネル

> LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の42ページをご覧ください。

●セカンドシート
（L-ANILINE本革/6Wayパワーシート
［オットマン、ランバーサポート付］）

●リヤクライメイトコンシェルジュ

> LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の37ページをご覧ください。



●リヤシートエンターテインメントシステム
（電動開閉式14インチディスプレイ）

●オーバーヘッドコンソール

●電動サンシェード
（ガラスルーフ、スライドドアガラス、リヤクォーターガラス）

> LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の40ページをご覧ください。



●サードシート（セミアニリン本革）

●マルチポジションスペースアップシート

●セカンドシートヒーター/
セカンドシートベンチレーション

●セカンドシートリラクゼーション機能

> LM500h EXECUTIVE（4人乗り）の39ページをご覧ください。

●パワーロングスライド



●ウォークイン機構（マニュアル）



※フロアマットはディーラーオプション。 ※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。

上質な移動空間を提供できるパーソナル空間を追求したセカンドシート［1］

セカンドシート
（LM500h version L［6人乗り］）

ビジネスクラスのような専用独立シートを採用し、オットマン付パワーシートと頭部を支える大型ヘッドレストを完備しました。表皮は、包まれるような安心感と快適な乗り心地をめざし、レクサス最高級本革のL-ANILINEとしました。

パワーロングスライド
（LM500h version L［6人乗り］）

乗員の有無に応じて、スライド速度を調整するパワーシートです。乗員がいる場合は、快適かつ安心感のある速度で作動。乗員がいない場合は、より素早く作動します。そして、最後方までスライドすれば足元に広々とした空間を創出でき、オットマンを使用してゆったり寛ぐことができます。また、サードシートへのスムーズな乗降を可能にするウォークイン機構（マニュアル）*も設定しています。

＊ウォークイン機構（マニュアル）の詳細につきましては、54ページをご覧ください。





※フロアマットはディーラーオプション。

上質な移動空間を提供できるパーソナル空間を追求したセカンドシート［2］

リヤマルチオペレーションパネルや収納スペースなど便利な装備（LM500h version L［6人乗り］）

センターアームレストにリヤマルチオペレーションパネルと格納式テーブルを装備しました。テーブルは表皮巻きとし、触感の品質、滑り止め、傷つき防止、文字の書きやすさなどに配慮しています。また、左右の各席に小物入れやカップホルダー、マガジンラック、充電用USB端子Type-Cを装備しています。















フロントシートバックの仕立てと機能性を両立

アクセサリーコンセント（AC100V・1500W/非常時給電システム付）やHDMI端子、ユーティリティボックスを装備。大型のバックボードグリップは乗降時のサポートにもなります。

※機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。





※フロアマットはディーラーオプション。

手元や音声での操作が可能な電動開閉式14インチディスプレイ

リヤシートエンターテインメントシステム

電動開閉式の14インチディスプレイをオーバーヘッドコンソールに収納し、一体感のあるデザインとしました。操作は、セカンドシートのアームレストに搭載したリヤマルチオペレーションパネルにより、手元で直感的に行えます。また前席と後席で、共通のコンテンツを視聴できる連動モードと、異なるコンテンツを視聴できる独立モードを設定しています。

後席から音声認識で操作可能

後席から発話するだけで、電源ON、ディスプレイ開閉角度、チャンネル選択、音量調整などの操作が可能です。電源OFF状態でも、音声認識を起動して、「テレビをつけて」と発話するだけで、「電源ON→ディスプレイオープン→テレビモード」と、一連の動作を一度で操作することができます。


ディスプレイクローズ状態



ディスプレイオープン状態

快適に過ごすための機能を集約したオーバーヘッドコンソール

オーバーヘッドコンソールユーティリティ

電動開閉式14インチディスプレイや小物入れ（2個）を備えた、天井との一体感あるデザイン。空調・照明・スピーカーなど室内で快適に過ごすための機能や、パワースライドドア・ガラスルーフサンシェードなどのスイッチを集約し、左右どちらの席からも両側の操作が可能です。



開放感のある上質空間を追求したサードシート

サードシート（LM500h version L［6人乗り］）

大人でもゆったりと座れるようシートバックとクッションに厚みを持たせました。隣の乗員との距離をしっかり確保し、車両中央側の左右席用トレイや、マニュアルスライド・リクライニング機能を設定することで、リラックスできる上質な移動時間を提供します。また、充電用USB端子Type-Cを左右席のクォータートリムに設定しています。



ウォークイン機構（マニュアル）（LM500h version L［6人乗り］）

サードシートへスムーズに乗り降りできるウォークイン機構（マニュアル）をセカンドシートに設定しました。シートバックのレバーを操作することでシートバックが倒れ、オットマンを格納し、前方へシートスライドが可能になります。



シートバックレバー



シートサイドレバー



マルチポジションスペースアップシート（LM500h version L［6人乗り］）

サードシートの跳ね上げ位置をニュートラルポジションと最後方ポジションの2ヵ所に設置。これによりラゲージスペースを拡大できるほか、最後方ポジションでもセカンドシートをリクライニングして座ることができ、利便性と快適性を両立しました。



※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。

多様なシーンに対応するシートアレンジメント


通常乗車時


リヤシートフルリクライニングモード


フロント・セカンドフルフラットモード


スーパーリラックスモード


トライアングルモード

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。

快適な居住空間を確保しながら、十分な収納スペースと使いやすさを両立

ラゲージスペース

9.5インチのゴルフバッグ4個を横向きで重ね積み、搭載できるラゲージスペースを確保しました。乗車人数相当のゴルフバッグを収納することができる広さです。デッキボード下にも、ツールや小物類を収納するスペースを設定しています。

またLM500h version L（6人乗り）では、サードシート使用状態で、9.5インチのゴルフバッグ4個（横向きで重ね積み）、あるいは9.5インチのゴルフバッグ2個（横向きで重ね積み）と9インチのゴルフバッグ4個（縦積み）の計6個を収納することができます。

■ LM500h EXECUTIVE（4人乗り）



■ LM500h version L（6人乗り）



車両側面から開閉できるパワーバックドアと、車両の外から荷室を拡大できるセカンドシートスイッチ

パワーバックドア

パワーバックドアは、車両側面にスイッチを設定することで、スムーズな動きで荷物の出し入れが可能になり、後方の障害物を確認しながらバックドアの開閉操作もできます。また、バックドアオープン時の自動停止位置の設定が可能。低い天井のガレージなど、バックドアが当たらないように設定することができます。

※挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。



デッキサイドセカンドパワーシート操作スイッチ

バックドア開口部のデッキサイドにセカンドシート操作スイッチを設定。バックドアを開けたリヤからセカンドシートのスライド・リクライニングが可能です。ラゲージスペースを拡大したいときはもちろんのこと、その際にサードシートの跳ね上げ操作がセカンドシートと干渉する場合にも、デッキサイドからセカンドシートのポジションを移動させることができます。



※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。

上品さとおもてなしの心を込めた光の演出［1］

インテリアイルミパッケージ

室内イルミネーションは、足元やドアトリム、リヤのオーバーヘッドコンソールのサイドに配し、車内の造形や素材の美しさを際立たせるだけでなく、リラックスできる空間を演出しています。一部の照明に高輝度のLEDを採用し、室内をより明るく照らします。照明の色は、美しい自然現象などから着想した14色のテーマカラーに加えて、お好みに合わせて選べる50色のカスタムカラーを設定。気分に合わせて自由に変更できます。

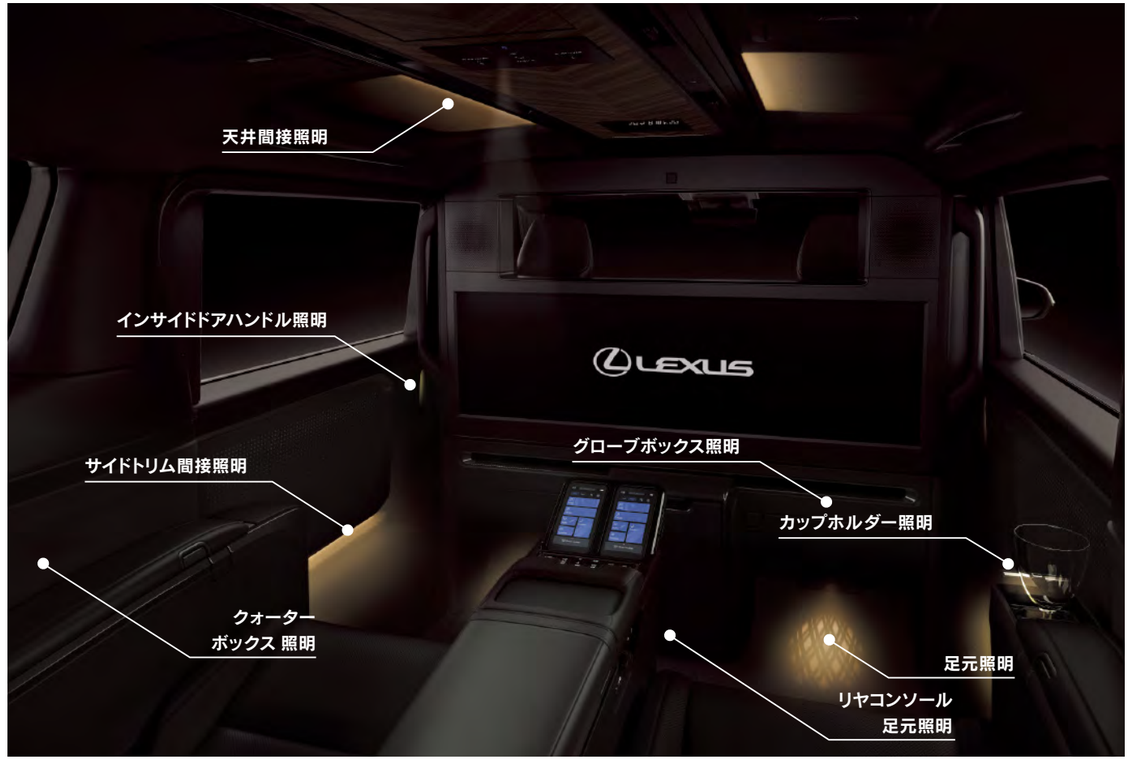


※点灯箇所の代表例。 ※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

上品さとおもてなしの心を込めた光の演出［2］

インテリアイルミパッケージ（リヤ空間）

■ LM500h EXECUTIVE（4人乗り）



■ LM500h version L（6人乗り）



※フロアマットはディーラーオプション。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

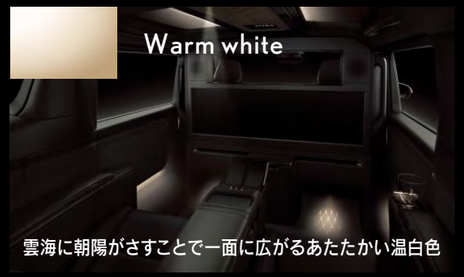
インテリアイルミパッケージのおすすめ14色（テーマカラー）

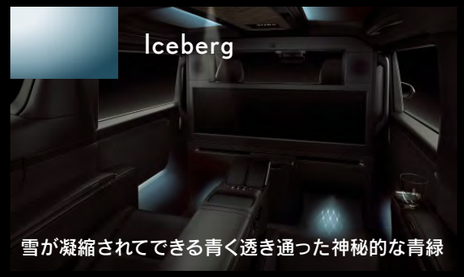
室内イルミネーションのテーマカラー

癒し　リラックス　覚醒　集中　高揚感

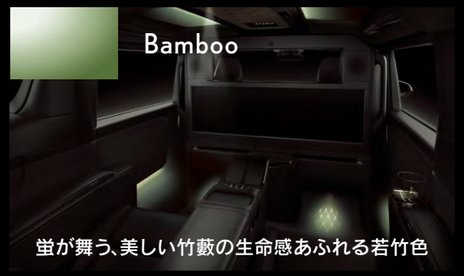




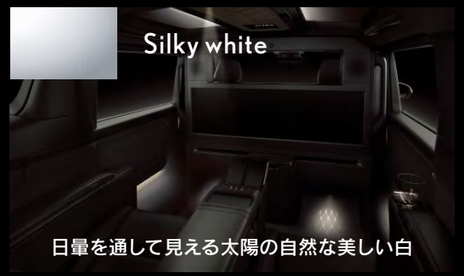








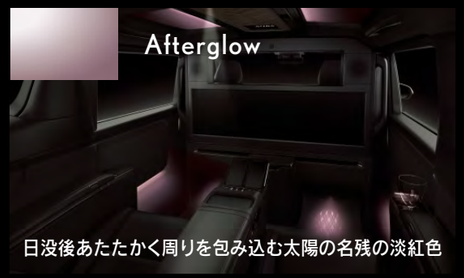
















※画像は一部実際の仕様と異なります。

スマートな乗り降りをサポートする、ユニバーサルステップとスライドドアウェルカムイルミネーション

ユニバーサルステップ

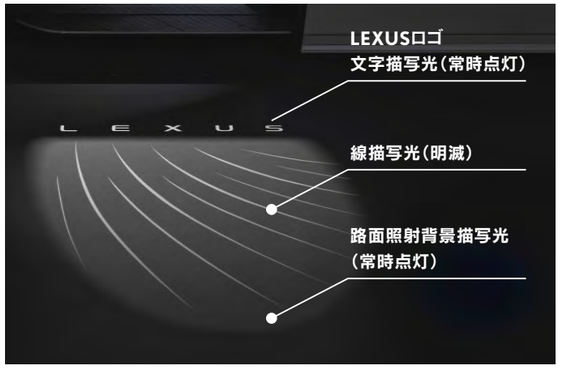
スライドドアの開閉に合わせて、自動で展開/格納するユニバーサルステップを設定し、段差を低減しました。スーツやドレス等のフォーマルな服装でもスマートに乗り降りすることを可能とします。パワースライドドアの作動に連動したメカニカル機構式を採用することで、モーター作動音のしない、すぐれた静粛性も実現しています。



スライドドアウェルカムイルミネーション LM500h EXECUTIVE

LM500h EXECUTIVE（4人乗り）はスライドドアの開閉動作に合わせて路面を照らすウェルカムイルミネーションを採用。1灯は常時点灯、もう1灯は明滅させる2灯式のイルミネーションによりLM独自の動きのある演出を提供します。乗降時の足もとの安全性を確保しながら乗る方をおもてなしします。





■＝標準装備　※フロアマットはディーラーオプション。

スマートな乗り降りをサポートする、アシストグリップ

乗車時にも、降車時にも、最適な形状であることを徹底して追求したアシストグリップ

後席乗降用アシストグリップをLM500h EXECUTIVE（4人乗り）ではパーティションに、LM500h version L（6人乗り）ではセンターピラーに設定しました。見栄えの統一や、触感と耐久性を両立する合皮を採用。表皮裏にソフトパッド層を設定し、やわらかく上品な握り心地を実現しました。適度な表皮の厚み、手になじみつつ握りごたえのあるグリップとし、使用性に配慮しています。



■ LM500h EXECUTIVE（4人乗り）
指関節のグリップ力と指節のフィット感を考え抜いた形状で、乗車時、降車時に前方後方どちらからでも同じ握り心地となる断面を採用しました。見切り線のない構造で、意匠性にも配慮しています。



■ LM500h version L（6人乗り）
握り込みやすい太さと、多方向からアクセスしやすいロンググリップで、お子様から大人まで手が届く高さとしました。

美しい所作にもとづいたe-ラッチシステム

e-ラッチ（アウトサイドドアハンドル・インサイドドアハンドル）

フロントドアには、滑らかに動く障子のように、無駄な動きなく一定の力でドア開閉を行えるよう、従来のメカ機構によるアンラッチを電気制御に置き換えたe-ラッチを搭載しました。乗車時のドア開操作では、ドアを引く動作そのままにハンドル裏に設けたスイッチを押してドアオープン。降車時のドア開操作でもプルハンドルをグリップしたままでスイッチを押して、ワンアクションでのスムーズなドアオープンを可能にしました。また、イージークローザーが全ドアに設定されており、後席にお乗りの方を気づかい、静かにフロントドアを閉めることができるよう配慮されています。

※挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。


e-ラッチアウトサイドドアハンドル


e-ラッチインサイドドアハンドル

e-ラッチの注意事項

参考: 手動リリースハンドルによる解除

衝突などでバッテリー電源が断たれた場合に備えて、手動リリースハンドルを設定しています。

■衝突時

エアバッグ展開すると、約10秒後に自動的にアンロックされますので、手動リリースハンドルを1回引くだけでドアを開くことができます。

■バッテリー電圧低下時

バッテリーの電圧低下を検知した際は、作動不能になる前にアンロックされますので、手動リリースハンドルを1回引くだけでドアを開くことができます。

※ロックされていたドアはロック状態を維持します。

■バッテリー不作動時

アウトサイドドアハンドル: 運転席ドアのキーシリンダーにキーを挿入、アンロック側へ操作し、運転席ドアの手動リリースハンドルでドアを開くことができます。

インサイドドアハンドル: 手動リリースハンドル(ドアオープンスイッチと兼用)を2回引くことでドアを開くことができます。

※キーシリンダーは運転席ドアハンドルの後端カバー内に設置されています。



e-ラッチアウトサイドドアハンドル



e-ラッチインサイドドアハンドル

移動体験の楽しみを広げる、奥行き感のある包み込まれるようなサウンド空間

ハイエンドオーディオというジャンルを確立して50年。今も進化を続けているマークレビンソン。そのオーディオを搭載するただ一つのプレミアムカーブランドがレクサスです。

“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム

前席は直接音とガラス反射音を活かし、音の定位を上げることで、運転する視界の流れと同じ位置から音が流れてくるかのようにスピーカーを配置し、まるで景色とともに目の前にステージが広がるような演出をしています。また、LM500h EXECUTIVE（4人乗り）ではパーティションのスピーカーを人の方向に向けて配置し、天井に設定したスピーカーと合わせ、後席では、自宅のリスニングルームにいるような臨場感を味わえるような工夫がしてあります。

圧縮音源復元テクノロジーClari-Fi™（クラリファイ）を採用

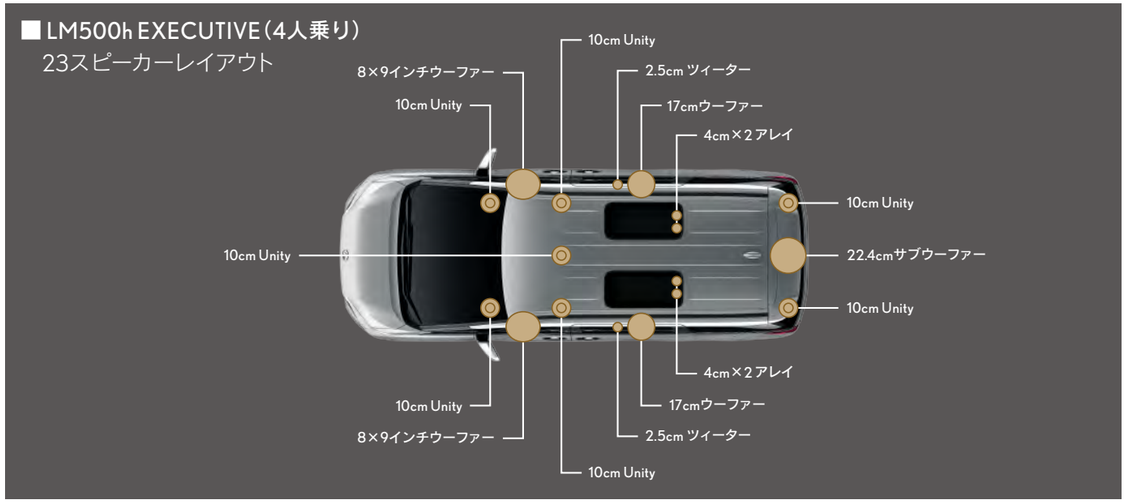
圧縮音源復元テクノロジーClari-Fi™（クラリファイ）を設定することにより、可能な限りオリジナルに近い音を再現。原音忠実再生によるピュアサウンドとステージの奥行き感と豊かな表現力を楽しめるサウンド空間を実現しています。

連動モード&独立モード

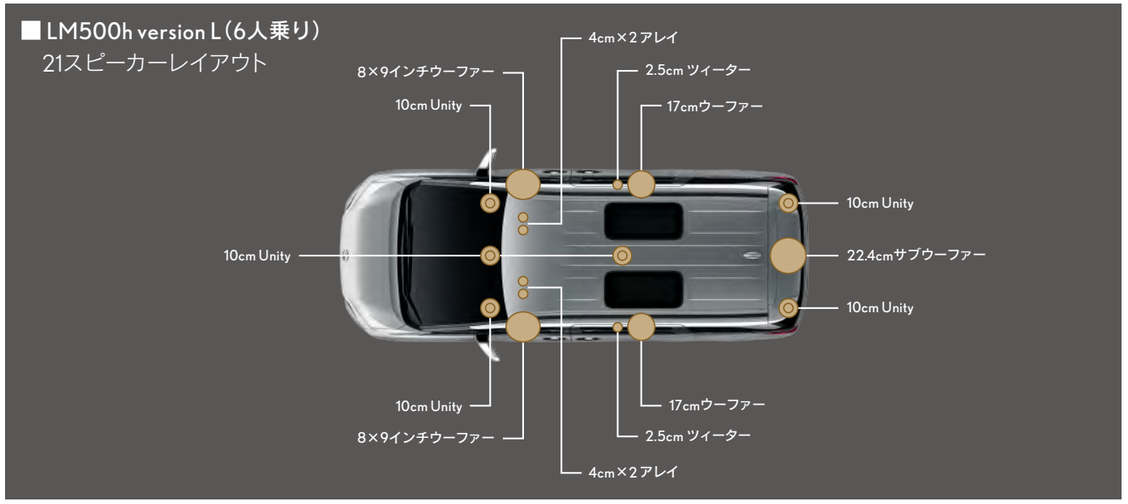
レクサスとしては初めて、前席と後席で共通のコンテンツを視聴できる連動モードと、異なるコンテンツを視聴できる独立モードを設定。独立モードでは、前席スピーカー・後席スピーカーから異なる音声出力ができ、別々のコンテンツを楽しむことができます。さらに、連動モードではハイレゾ音源の再生にも対応しています。

※ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。
※日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にロゴを冠しています。
※トヨタ自動車（株）と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。
一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

■ LM500h EXECUTIVE（4人乗り）
23スピーカーレイアウト



■ LM500h version L（6人乗り）
21スピーカーレイアウト



クルマとつながる安心・快適を追求したG-Link

標準搭載のDCM（Data Communication Module）を介して、クルマがお客さまとつねにつながります。次世代マルチメディアに対応したG-Linkサービスでは、クルマを使っている時はもちろん、乗車前や乗車後にもクルマとつながる安心、安全、快適なカーライフを提供します。

〈G-Linkサービス一覧〉

			14インチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plus
基本サービス*1	ヘルプネット®		○
	eケア		○
	G-Security	うっかり通知	○
		リモート確認	○
		リモート操作	○
		アラーム通知	○
		マイカー始動通知	○
		車両の位置追跡	○
		警備員派遣	○
		カーファインダー	○
		マイカー始動ロック	○
	リモートメンテナンスメール		○
	マイセッティング		○
	リモートエアコン		○
	レクサスオーナーズデスク（含むレクサス緊急サポート24）		○
	コネクティッドナビ（車載ナビ有）*2		○
	エージェント		○
オプションサービス	デジタルキー*3		○
	車内Wi-Fi		○

＊1. G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
＊2. G-Link無料期間終了後に、G-Link契約しない場合は非通信型ナビゲーションとして引き続きご利用いただけます。　＊3. 新車ご購入の場合は、初度登録日から3年間無料です。
※デジタルキーについて、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。

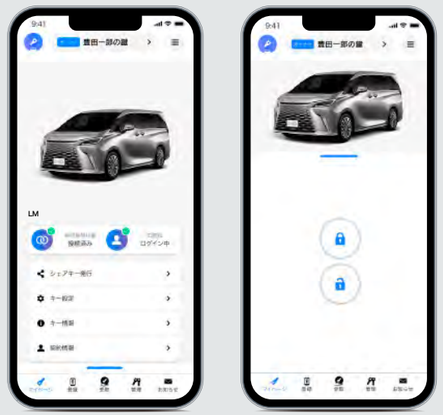
いつでもクルマとつながるスマートフォンアプリ

G-Linkの各種サービスやデジタルキーを利用するためのスマートフォンアプリをご用意しています。

My LEXUS



デジタルキー



アプリのご利用には「TOYOTAアカウント」が必要です。

My LEXUS、デジタルキーのアプリをご利用いただくには、「TOYOTAアカウント」を取得いただき、レクサスオーナーズカードIDと連携を行っていただく必要があります。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

クルマとつながる快適機能 [1]

乗車前

リモートエアコン

My LEXUS（アプリ）

乗車前に、スマートフォンアプリ「My LEXUS」からエアコンを操作できます。夏の暑い時や冬の寒い時、アプリでエアコンを起動させ、あらかじめ車内を快適な室温にすることが可能です。1℃単位の温度設定やフロントデフロスター、リヤデフォッガーとの連動起動にも対応。より快適な車室空間とすることができます。



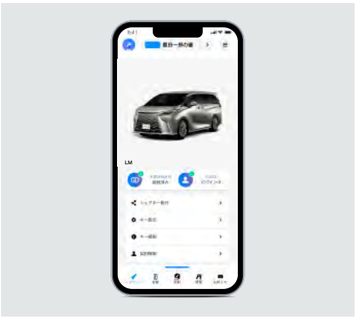
※ディーラーオプションのリモートスタートを装着している場合は、ご利用いただけません。
※通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。
※使用時には周囲の安全を十分にご確認の上ご使用ください。
※一般公道上や閉め切った場所での使用はおやめください。
※車両停止中にエンジンをみだりに稼働させた場合、条例により、罰則を受けることがありますのでご注意ください（ご購入の際は地方自治体の条例などをご確認ください）。
※起動後、一定の時間が経つと自動的に停止します。
※前回降車時から、最大20分間作動できます（パワースイッチの操作により、再度20分間作動させることができます）。

乗車時

デジタルキー

デジタルキーアプリ

専用スマートフォンアプリ「デジタルキー」をインストールすることで、スマートフォンを電子キーやカードキーの代わりとして利用できます。スマートフォン操作なしでクルマのロック/アンロックやクルマの始動ができます。デジタルキーは初度登録日から3年間は無料で利用でき、その後は有料オプションサービスとなります。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

クルマとつながる快適機能［2］

乗車中

マイセッティング

My LEXUS（アプリ）

登録した電子キーやスマートフォンなどでドライバーを認識し、ドライバーごとのマルチメディア設定や車両設定を記憶しておくことができます。次回乗車時に同じ設定で利用できます。また、他の対応車両に乗り込んだ際も、いつもの環境を設定し、ドライバーをおもてなしします。



※My LEXUS（アプリ）で初期設定が必要です。
※スマートフォンによるドライバー認識は、前回クルマに乗車したドライバーのスマートフォンが接続された時のみ自動で認識します。

乗車中

車内Wi-Fi

車内でWi-Fi®によるデータ通信を利用することができます。DCMがWi-Fiスポットとなり、お客さまやご家族、ご友人のスマートフォンやタブレットを接続することでデータ通信やインターネット接続を容量無制限で楽しむことができます。車内Wi-Fiは月額利用料がかかる有料オプションサービスです。また、ディスプレイオーディオ画面でインターネットブラウザ機能をお使いいただけます。



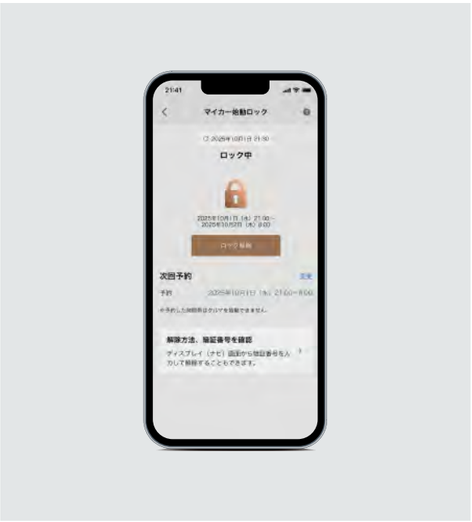
※車内Wi-FiとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時利用できません。車内Wi-Fiご利用時は、Apple CarPlayをケーブル接続にてご利用ください。
※Wi-Fi接続機器は5台まで同時接続可能です。
※直近3日間（当日は含みません）で6GB以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
※車載ディスプレイでWebサイトの閲覧表示が可能です。

降車後

マイカー始動ロック

My LEXUS（アプリ）

スマートフォンアプリ「My LEXUS」で操作やスケジュール設定を行うことにより、離れた場所からクルマの始動をできなくすることができます。車両盗難が多い夜間など、クルマを使わない時間帯にご利用いただくことにより、盗難防止に役立てることができます。



※ご利用時にアプリ上で数字6桁の暗証番号を設定いただきます。通信圏外エリアや通信状態が悪い場合など、万が一アプリからロック解除できない場合は、暗証番号をナビ画面に入力することでロック解除できます。
※マイカー始動ロックは車両の始動を禁止することで車両盗難を抑制するものであり、車両盗難を完全に防止するものではありません。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

快適なカーライフを開く電子キー＆デジタルキー

電子キー測距システム

UWB無線通信により、電子キーの位置を精度良く測定します。キーを持つお客さまが車両近くにいらっしゃらない場合には、スマートエントリー＆スタートシステムによるドア開錠、およびエンジン始動を制限することで、盗難防止に貢献します。

※カードキー選択時は選択不可となります。
※お客さまの特別な操作は必要としませんが、電子キーと車両の間に人体が入るなどすると、スマートエントリーが応答しない場合があります。その場合には窓の近くで電子キーを持ち、再度、ドアハンドルのセンサーを触れることで応答します。

デジタルキー

スマートフォンに専用アプリ「デジタルキー」をインストールすることで、スマートフォンを車両のキーとして使用できます。アプリの画面を操作してロック/アンロックが可能になることに加え、アプリを起動したスマートフォンを携帯していれば、画面操作なしでロック/アンロック・エンジン始動をすることも可能です。また、スマートフォン間でデジタルキーの受け渡しが可能なため、家族や友人同士で離れた場所での車両の貸し借りも容易に行えます。なお、デジタルキーは初度登録日から3年間は無料で利用でき、その後は有料オプションサービスとなります。

※ご利用にはG-Linkのご契約が必要となります。 ※アプリのご利用には「TOYOTAアカウント」が必要です。 ※スマートフォン上のアプリを使用するため、スマートフォンの電池が切れると使用できません。 ※販売店への点検入庫等で車両を預ける際は、必ず電子キーをお持ちください。電子キーが無いと対応ができないおそれがあります。 ※最大4台の車両のデジタルキーを1台のスマートフォンに登録できます。ただし、お使いの機種によって、同時に4台の車両への接続はできない可能性があります。1台の車両に対し、最大6本（オーナーキー1本、シェアキー5本）のデジタルキーを発行できます。 ※デジタルキーがご利用できない状況に備えて、つねにお車の鍵（キー）を携帯いただくことを推奨いたします。 ※機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。 ※電子キーで動作する一部機能はデジタルキーに対応しておりません。 ※その他ご利用にあたっての操作方法や注意事項は、デジタルキーWebサイトをご確認ください。（https://toyota.jp/digital_key）


スマートエントリー＆スタートシステムとして使用


ワイヤレスキーとして使用

※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

鮮度ある情報でドライブをアシストするナビゲーション

コネクティッドナビ（車載ナビ有）

G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。

	対応マルチメディア	必要な契約	車載ナビ	特徴	G-Link解約後
コネクティッドナビ（車載ナビ有） 	ディスプレイ オーディオ （コネクティッドナビ対応）Plus	G-Link	あり	・車載機にナビデータを保持する、G-Linkセンター通信型ナビ ・最新の目的地情報と地図データを利用可能*1 ・ハイブリッドシステムや 先進安全システム等との車両連携*2	車載ナビ機能を利用可

従来のナビゲーションよりもリアルタイムな情報提供を可能にしました。例えば飲食店検索では、口コミ点数や営業時間を検索結果の一覧に表示します。また、駐車場検索では、料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報を提供します。

【サービス】
駐車場検索

【表示コンテンツ】
・ブランドアイコン
・満空情報
・料金情報



【サービス】
グルメ検索

【表示コンテンツ】
・レーティング（口コミ）
・営業時間



＊1. 通信圏外エリアや通信障害時等、通信環境によって車載ナビを使ったナビ機能を使用します。
＊2. 先読みエコドライブ、NAVI・AI-AVS、ナビ協調エアコン制御等の連携機能があります（車種により対応機能は異なります）。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

ドライブ時間を心地良くする細やかなおもてなし

エージェント（音声対話サービス）

エージェントは、一切のスイッチ操作なく「Hey レクサス」とクルマに話しかけるだけで起動。スマートセンターのコンテンツを利用して目的地検索やニュース、天気予報などの情報提供、ナビゲーションやオーディオ操作にも対応しています。後席用音声認識マイクも設定し、後席からの発話も可能です。

※ステアリングのトークスイッチを押して発話することでの起動も可能です。

■起動ワードに対応

「Hey レクサス」など声でエージェントを起動。起動ワードは自由に設定できます。

■ナビゲーションやオーディオ操作にも対応

「地図を拡大して」「FM〈周波数〉に合わせて」「温度をあげて」などの操作も可能です。

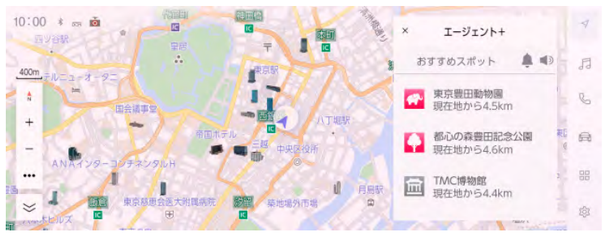
詳しくは右記取扱説明書サイト（https://manual.lexus.jp/）でご確認ください。

■「エージェント+」で先読み案内

ルート設定に関係なく日常の走行情報から先読みして役立つ情報を提供します。

※G-Link契約が必要です。





オーディオ＆ビジュアル機能

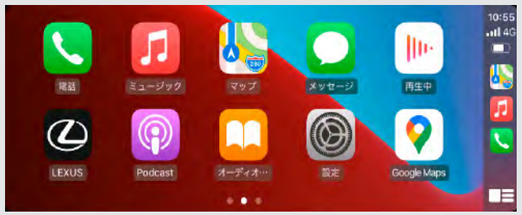
スマートフォンとタッチディスプレイを連携させるApple CarPlay 、Android Auto™に対応。音楽再生やハンズフリー通話、メッセージの送受信など、お気に入りのアプリケーションを車内でもスムーズにお使いいただけます。

◎Apple CarPlay / Android Auto™に対応＊　◎地上デジタルTVチューナーを標準装備　◎インストルメントパネルのフロントボックス内のUSB Type-Cに接続して、携帯音楽プレーヤーやUSBメモリー（MP3/WMA/AAC/WAV（LPCM）/FLAC/ALAC/OGG Vorbis）を再生　◎Bluetooth®AVプロファイル対応の携帯音楽プレーヤーをワイヤレス再生　◎Bluetooth®対応の携帯電話によるハンズフリー通話

＊ご利用にはUSBケーブルが別途必要です。Apple CarPlayのみ、USB接続に加え、Wi-Fi®によるワイヤレス接続に対応します。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

＊Apple CarPlayのワイヤレス接続と車内Wi-Fiとは併用できません。車内Wi-Fiをお使いの場合は、Apple CarPlayをケーブル接続にてご利用ください。

※Apple CarPlay/Android Auto™は、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。詳細はWEBサイトをご確認ください。　※走行中は安全のため一部操作できない機能があります。　※TV放送は安全のため走行中は画像が消え、音声のみとなります。外部メディアの映像は、録画機器の種類によって再生できない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



Apple CarPlay 画面



Android Auto™ 画面

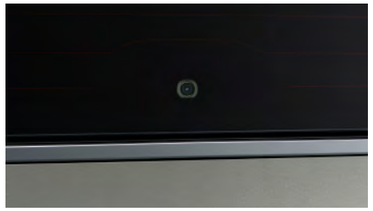
※画像は一部実際の仕様と異なります。

万一に備えて、運転中も駐車中も記録

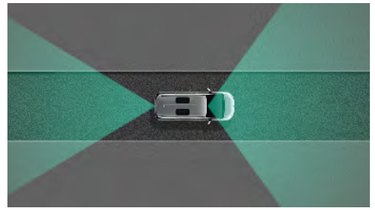
ドライブレコーダー（前後方）

車載カメラを併用し、内蔵メモリー方式を採用したドライブレコーダー。車両前方、後方のカメラ映像をメモリー内に常時録画します。各種録画映像は、14インチディスプレイで再生。すぐに映像内容を確認することができます。映像データをスマートフォンやUSBメモリーに転送し、持ち運びすることも可能です*1。


前方カメラ部


後方カメラ部


映像再生イメージ


録画範囲イメージ


前方映像イメージ


後方映像イメージ

＊1. スマートフォンへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive Recorder Viewer」のインストールが必要です。 ＊2. 録画映像の地図表示は車載ナビ装備車またはコネクティッドナビ利用時に使用できます。 ※前方はLexus Safety System＋のカメラ、後方はデジタルインナーミラーのカメラを流用してます。 ■ドライブレコーダー（前後方）は事故の検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。 ■録画されたファイルが破損していた場合による損害、故障や使用によって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。 ■録画した映像は、その使用目的や使用方法によって、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、イタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。 ■詳細につきましては取扱説明書をご覧ください。 ■機能　画角（水平）：前方108°/後方62°　録画画素数：前方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約180万画素となります）/後方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約130万画素となります） ■写真はイメージです。 ■画像のカメラ範囲はイメージです。

■常時録画

パワースイッチがONの間、常時映像を録画します。録画開始後は約1分単位で録画し続けます。記録上限時間の約100分を超えた場合、古いデータから上書きされます。

■手動録画

ドライバーが手動操作により、希望するタイミングで映像を撮影することができます。操作は、手動録画画面の録画ボタンを押すほかに、ショートカットメニューや音声操作で開始することもできます。

■イベント録画

急ブレーキ等、検知対象のイベントが発生した場合、後で走行状況を確認できるように自動で録画映像を保護。イベント発生タイミングを基準に前後10秒間の前後方カメラ映像を記録します。

※イベント検知の感度は変更可能です。

＜検知対象のイベント＞

G検知：Gセンサーによって、急激なGの変化を検知したとき

エアバッグ衝突センシング：衝突などにより、エアバッグが展開したとき

後方接近車両検知：車両後側方レーダーにより、自車後方の極接近車両を検知したとき

■駐車時イベント録画

駐車時（パワースイッチOFF時）に衝撃などを検知した場合、後で周辺状況を確認できるように自動でカメラが作動。検知してから作動し、録画を開始。60秒間の前後方カメラ映像を記録します。

■地図表示モード*2

手動録画映像、イベント録画映像、駐車時イベント録画映像について、地図上に撮影地点を表示し、地点を選択することで再生することができます。

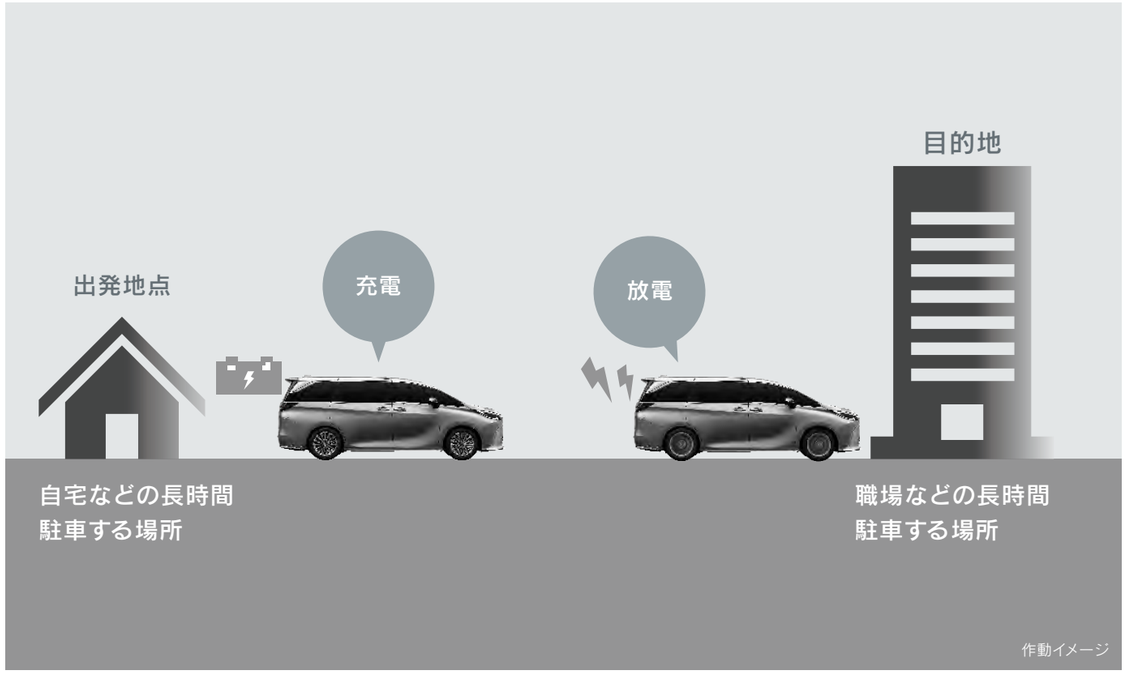
※画像は一部実際の仕様と異なります。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

状況を予測し、お客さまに快適さをお届けする機能

先読みエコドライブ［先読みSOC制御（目的地予測）］

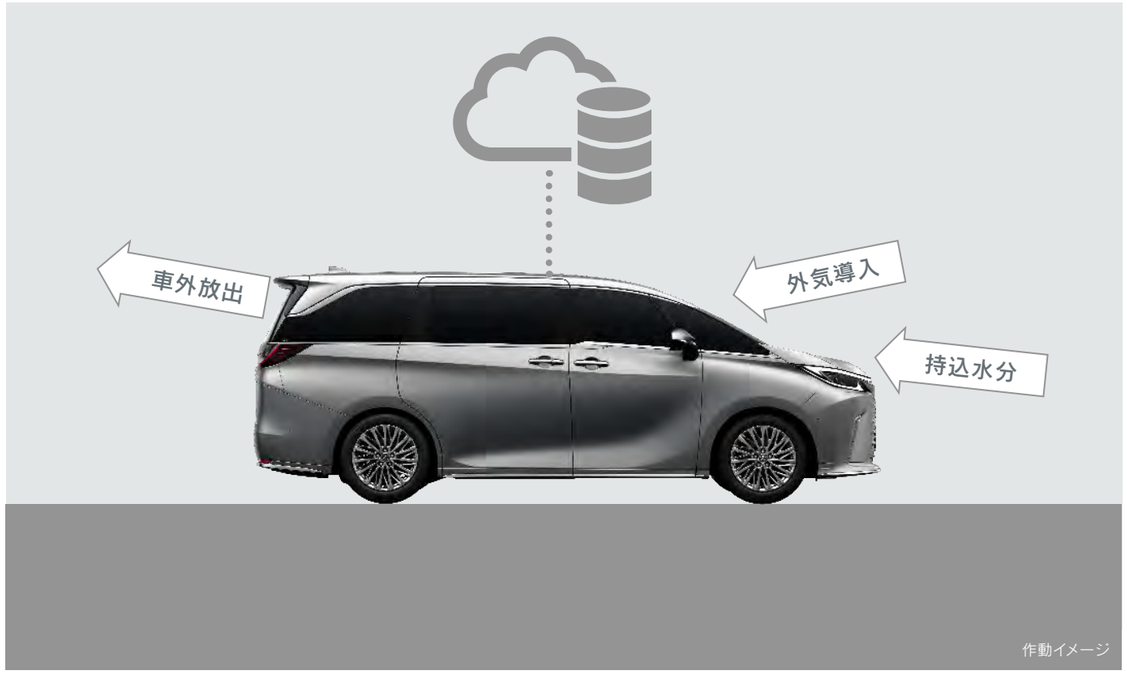
主に冬季のハイブリッドシステムの効率向上を目的とした制御です。GPS情報から「長時間駐車場所（目的地）」を推定。車両が目的地に近づくとEV走行に切り替えて放電させます。これにより、次の始動時にはエンジン暖機と同時に駆動用電池を充電し、暖機時間を短縮。ハイブリッドシステムをより効率的に制御します。

※SOC［駆動用電池残量］：State Of Charge



気象情報連動エアコン制御

トヨタのデータセンターと車両とを連携させるコネクティッド技術によって、気象情報から車内の湿度を推定し、ガラスの曇りや換気に配慮した上で、外気導入、内気循環量を調節。暖房エネルギー低減に貢献します。



※ご利用にはG-Linkのご契約が必要です。G-Link基本利用料は初度登録日から3年間無料。無料期間終了後（有料）につきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。
尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
※画像は一部実際の仕様と異なります。

人間中心の考え方に基づいた先進安全技術



LEXUSはモビリティ社会の究極の願い「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、LMにもLexus Safety System +を採用しました。運転状況に応じて、適切な操作サポートを行うプロアクティブドライビングアシストや、ドライバーモニターとの連携によるドライバーの運転状況に応じた最適制御など、お客さまの安全・安心なドライブに一層貢献します。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［1］

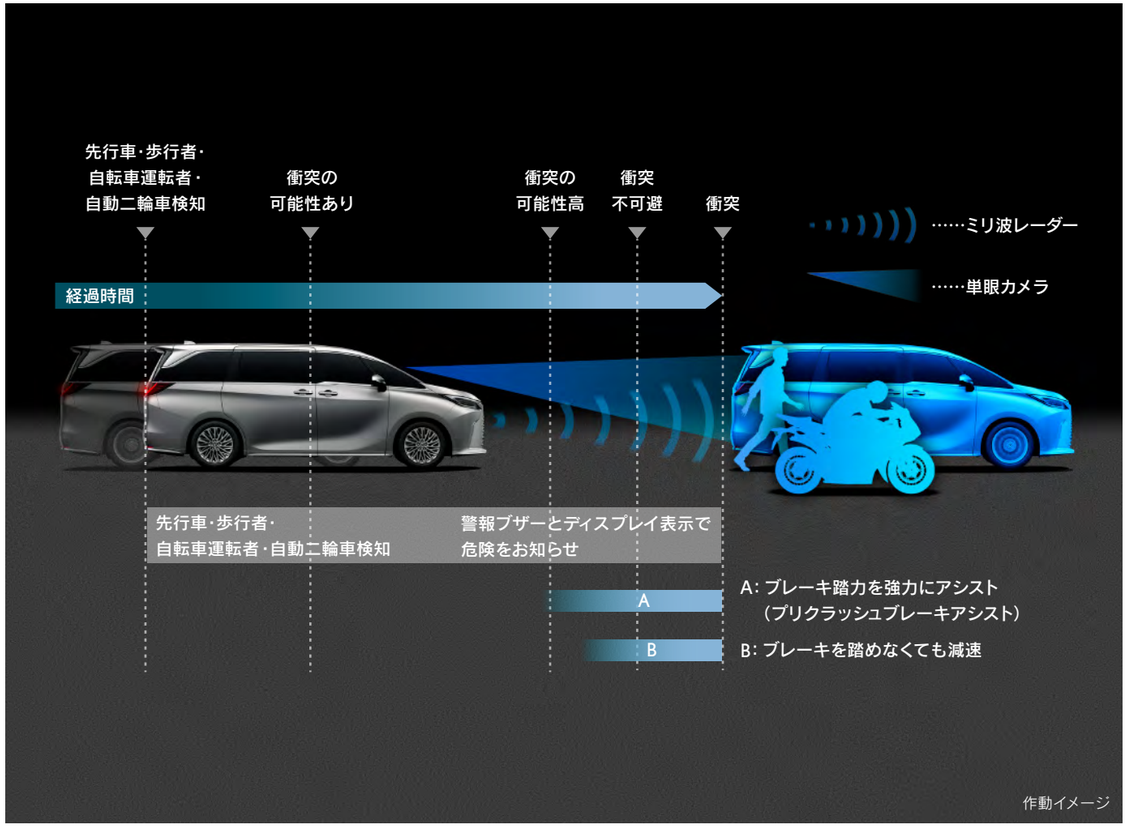
プリクラッシュセーフティ

（歩行者〔昼夜〕・自転車運転者〔昼夜〕・自動二輪車〔昼〕検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式）

進路上の車両、歩行者、自転車運転者、自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ブザーとディスプレイで危険をお知らせ。ブレーキを踏めた場合はブレーキ踏力をアシスト、踏めなかった場合は自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。なお、対向車に対しては正面から衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

※対向車に関しては、正面衝突、相手車逸脱による対向車との衝突に対応。プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h～180km/h、対歩行者、自転車運転者の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。また、本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。数値は社内測定値。



⚠Lexus Safety System ＋を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System ＋は予防安全パッケージです。
ご契約に際し、Lexus Safety System ＋、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。
- お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

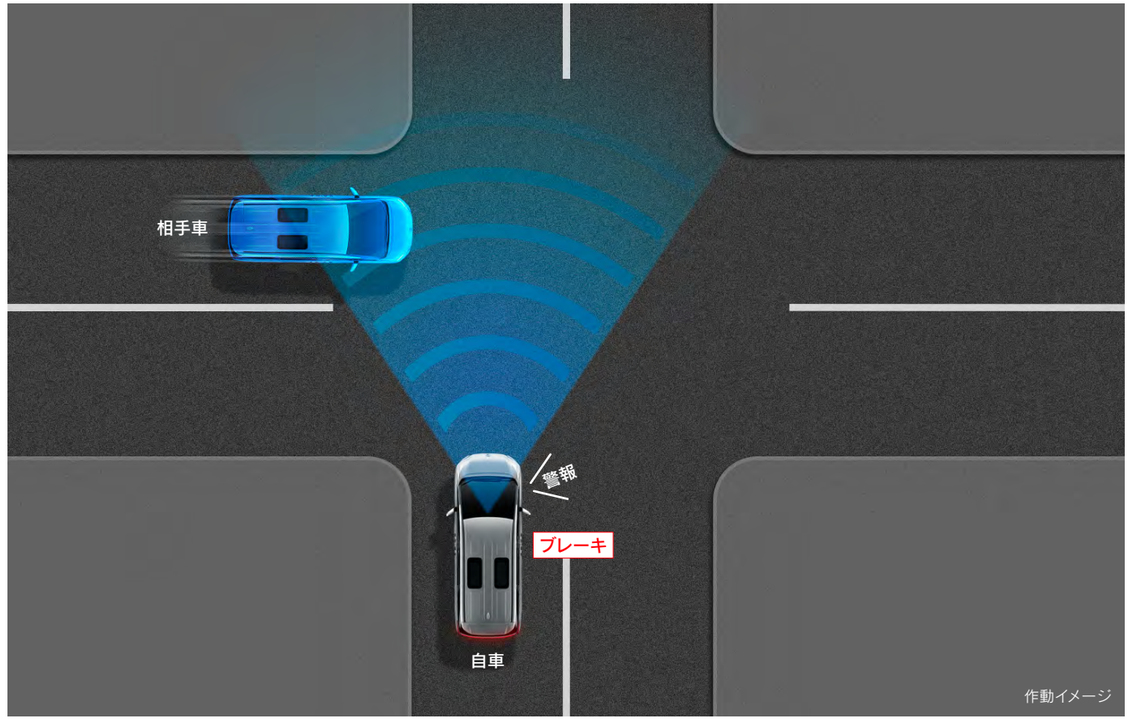
※Lexus Safety System ＋の一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、レクサス販売店に入庫することなく最新のソフトウェアに更新できます。
※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。
※お客さまの安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客さまの更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客さまが許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。
※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、lexus.jp 内の取扱説明書ページにある最新の取扱説明書で確認することができます。
※無線通信によるソフトウェアアップデートはG-Link契約が必要です。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［2］

＜交差点衝突回避支援（出合頭車両）＞

従来のプリクラッシュセーフティ の作動範囲に加え、交差点で交差する車両・自動二輪車に対しても、衝突回避の支援を行います。衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

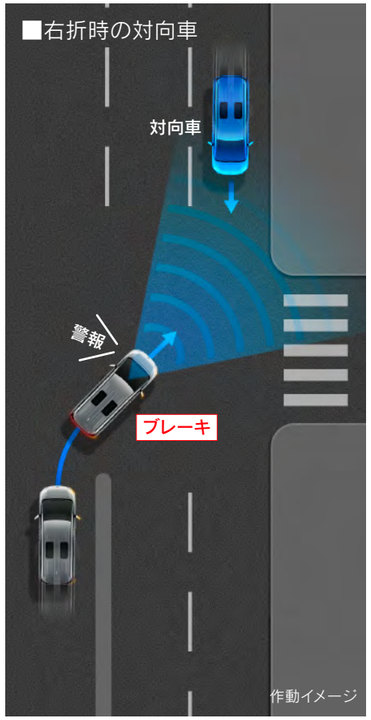
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

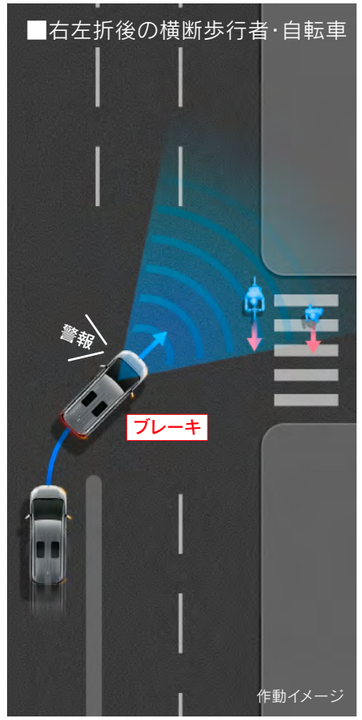


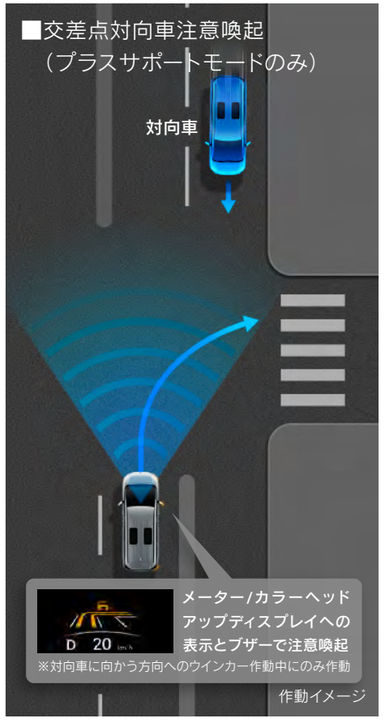
＜交差点衝突回避支援（右左折）＞

交差点右折時に直進してくる対向車（隣接2レーンまで）および右左折時に横断してくる歩行者・自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報およびブレーキを作動させることで、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、プラスサポートモード中の場合は、右折時の対向車に対してより早いタイミングで表示とブザーで接近を伝えます（交差点対向車注意喚起）。

※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。





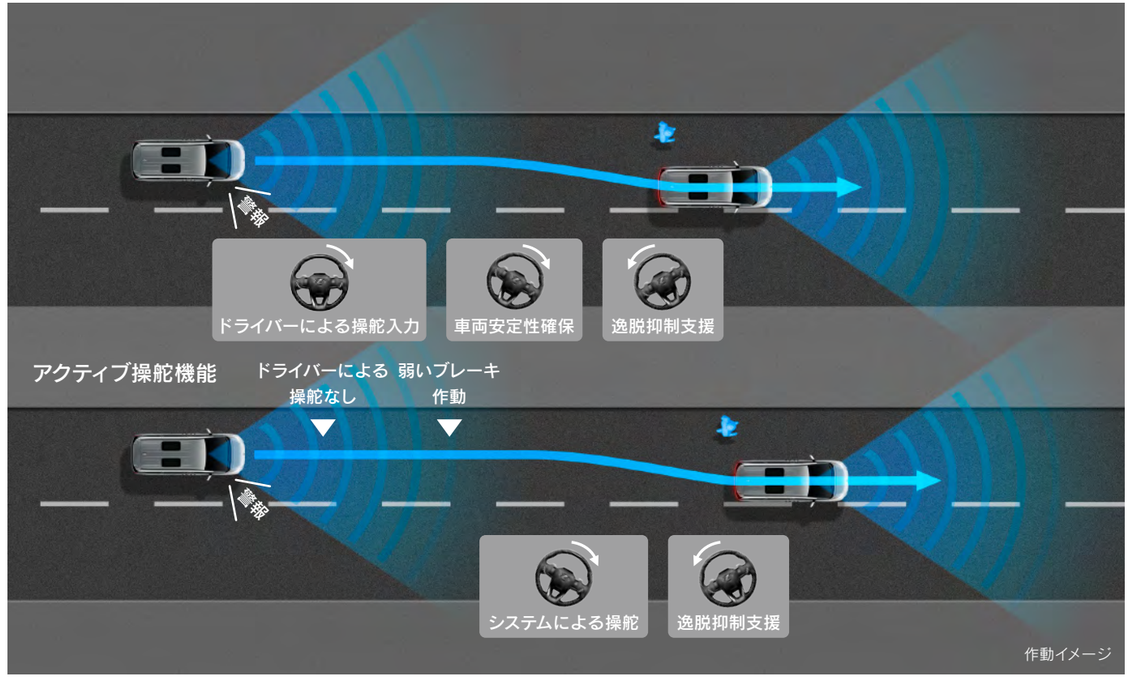


幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［3］

＜緊急時操舵支援＞

歩行者、自転車運転者、自動二輪車、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。また、ドライバーによる操舵がなくてもシステムが弱いブレーキをかけながら操舵を行い、車線内での衝突回避を支援するアクティブ操舵機能を設定しています。

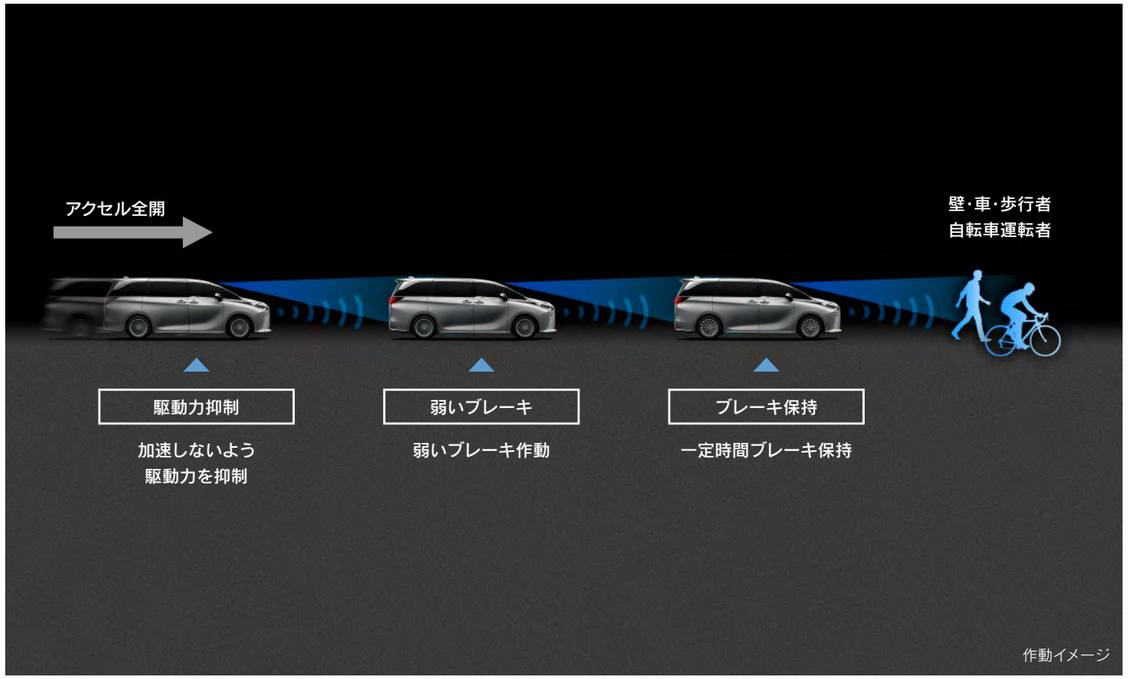
※回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。
※横断歩行者など一定以上の横速度を持った対象には作動しない場合があります。



＜低速時加速抑制＞

低速時の自車の直前にある壁、歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、ハイブリッドシステム出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、衝突が回避され、かつ車両が停止した場合、ドライバーがアクセルまたはブレーキ操作をするまでブレーキ力を保持します。

※パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）［PKSB］の代替機能となるシステムではありません。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

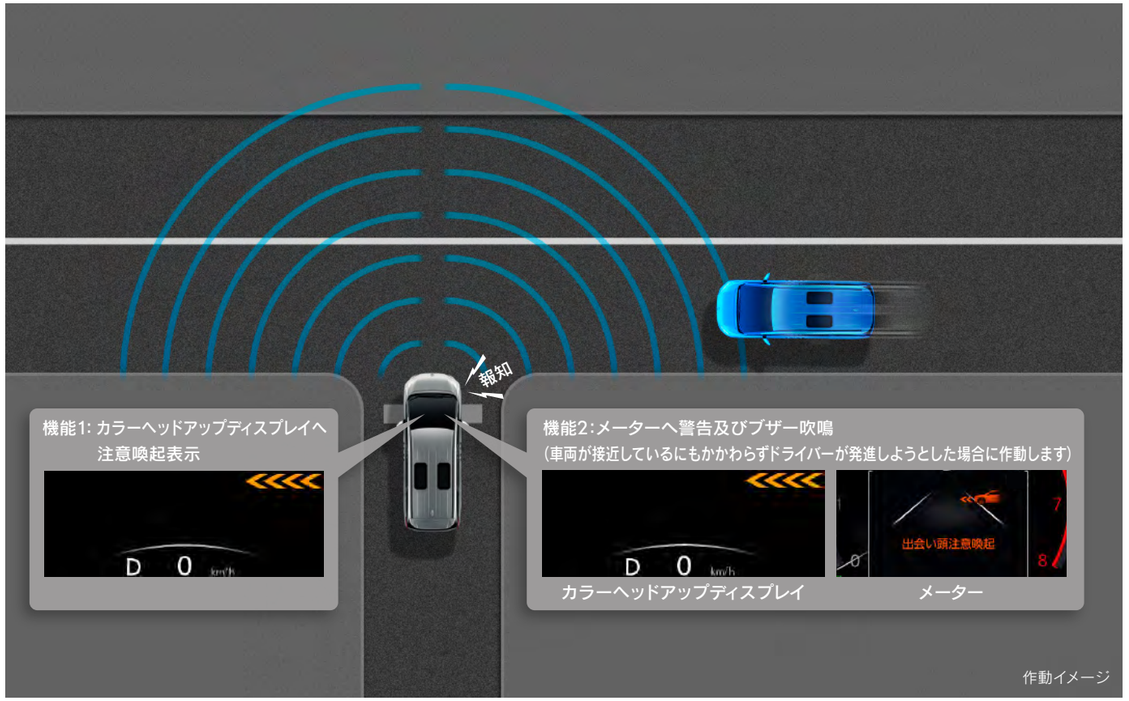
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［4］

＜フロントクロストラフィックアラート［FCTA］＞

交差点に進入する際など、左右から接近する車両を検知すると、カラーヘッドアップディスプレイで車両が近づいてくる方向をアニメーションで表示し、ドライバーが気づきやすい注意喚起を行います。車両が接近しているにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合は、表示とブザー音で、さらに注意を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

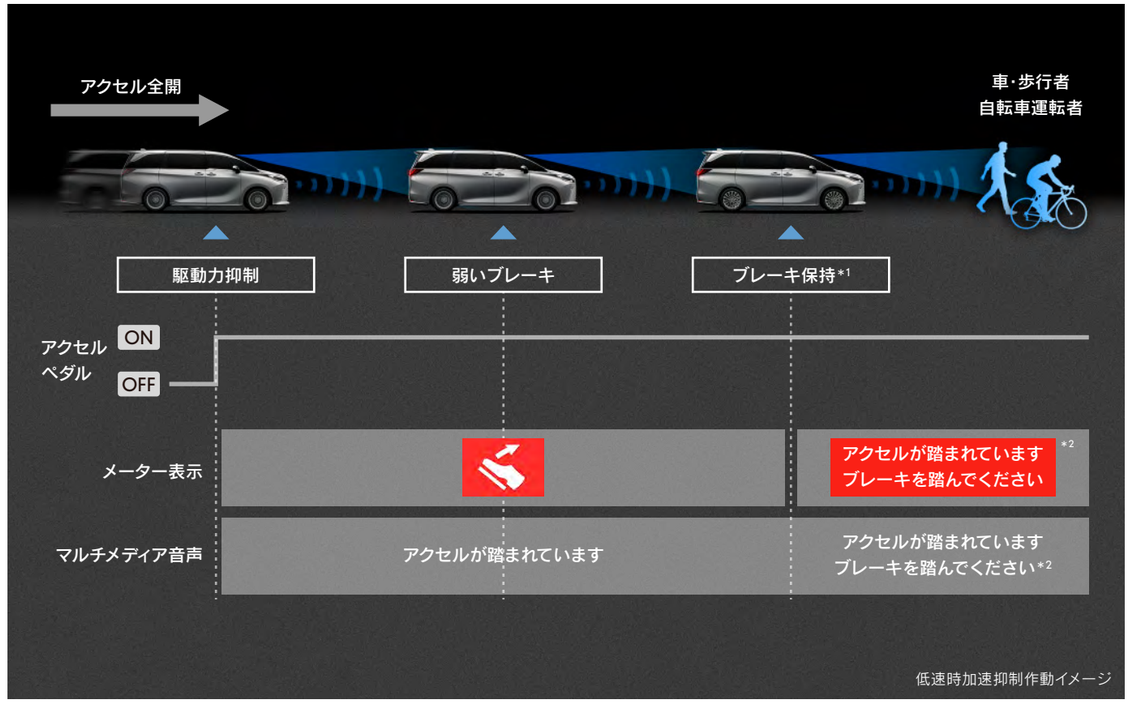
※フロントクロストラフィックアラート［FCTA］はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。



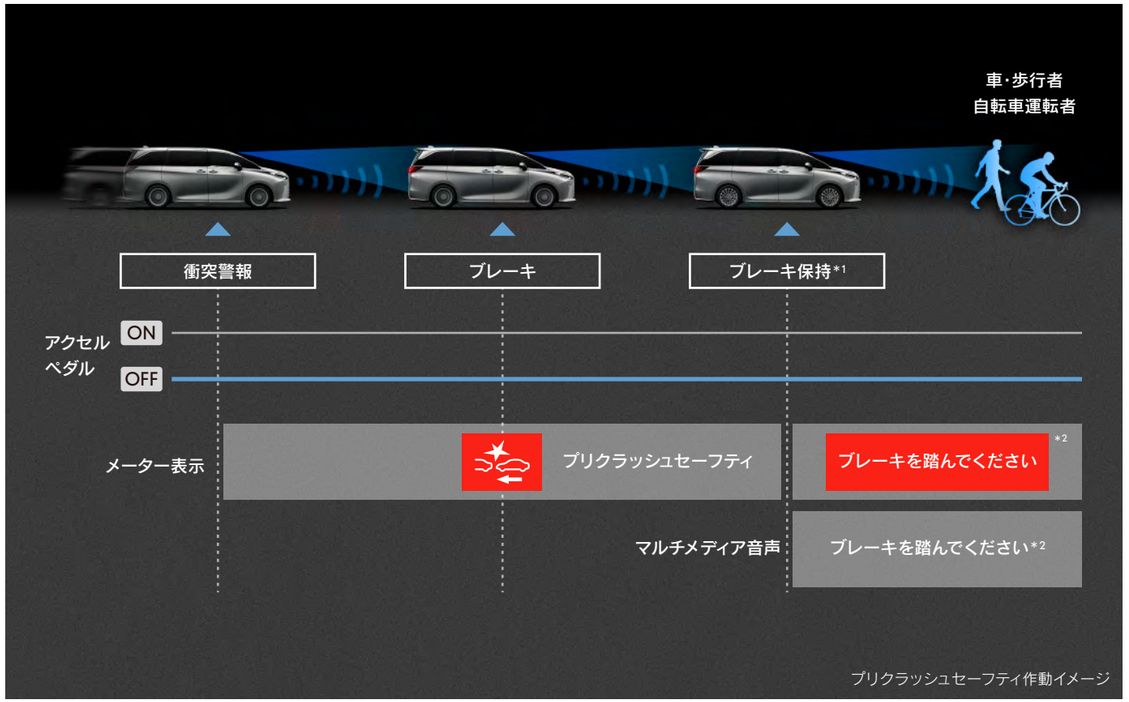
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［5］

＜音声発話（プラスサポートモードのみ）＞

下記のシーンにおいて、メーター表示と音声発話を行いドライバーへ通知します。



低速時加速抑制作動イメージ



プリクラッシュセーフティ作動イメージ

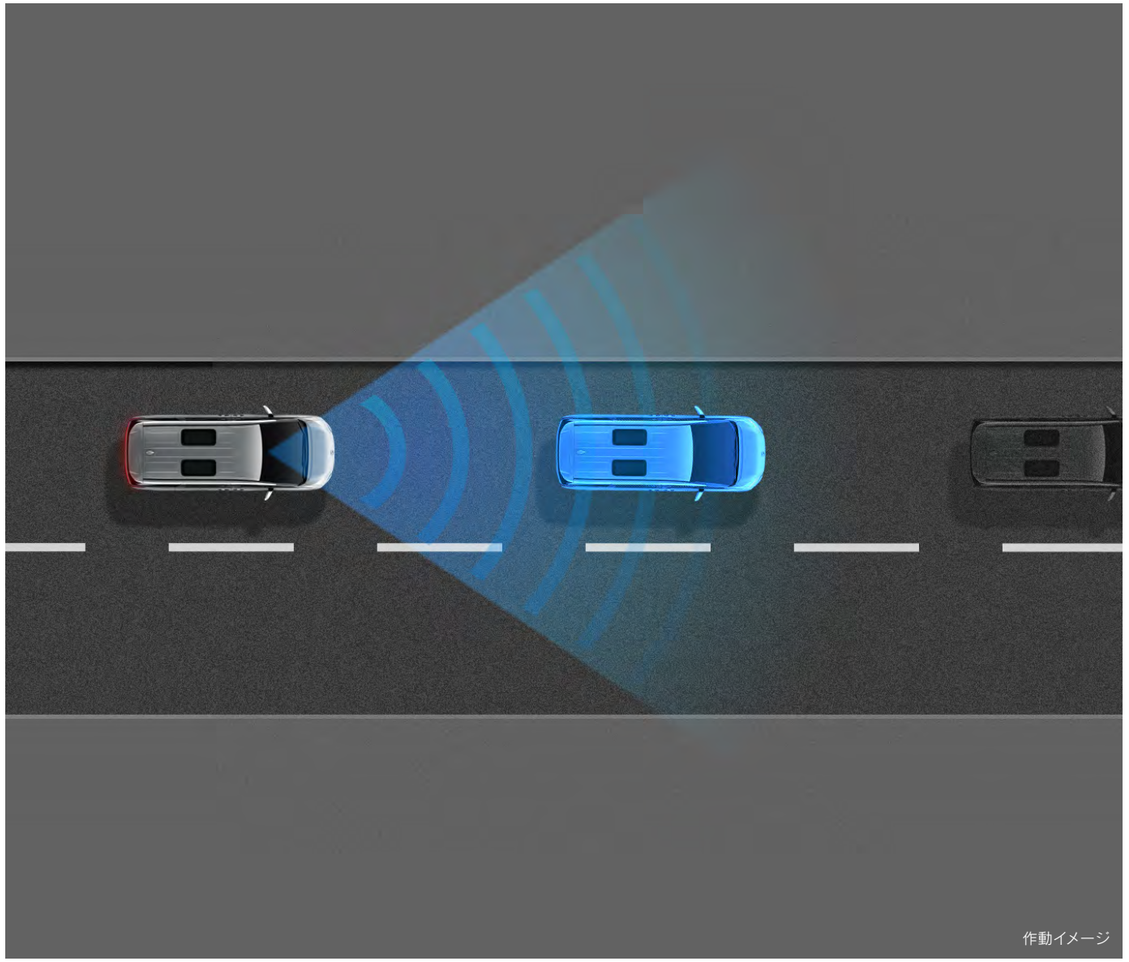
＊1. 衝突前に車両が停止した場合のみ作動。
＊2. プリクラッシュセーフティの作動状況によって上記の通りにならない場合があります。

快適なクルージングをサポートするレーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、設定した車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。また、ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより前方認識範囲を拡大。先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに対し、すぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上でウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または、車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施。スムーズな追い越しや車線変更が行えるようにしました。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると、早期に速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。また、レーダークルーズコントロール作動中に、音声対話サービスを使用して、設定車速と車間設定を変更できます。なお、制御の開始、車間制御モードと定速制御モードの切り替えを、シンプルなスイッチ操作で行うことができ、すぐれた使用性も追求しています。

※車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。
※設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。


作動イメージ

快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [1]

レーンディパーチャーアラート[LDA]

車線逸脱の可能性をドライバーにお知らせします。システムのON/OFFは、タッチディスプレイにて行うことができます。

＜車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能＞

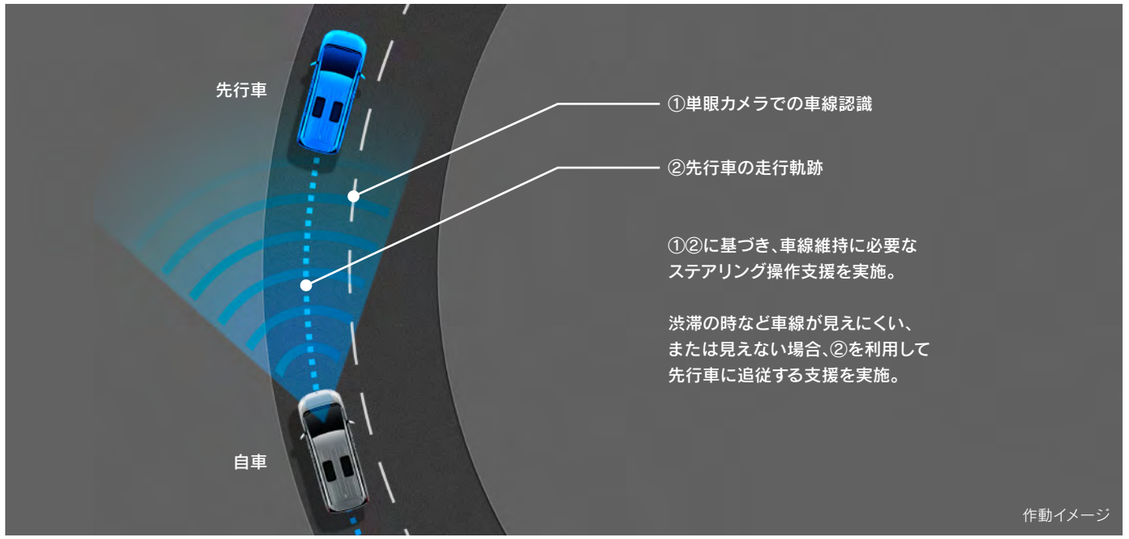
車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、メーターへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。また、ブラインドスポットモニター[BSM]と連携して方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報/抑制機能が作動し、音声でお知らせします。さらに、歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は車線逸脱警報/抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。車線だけでなくアスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。

レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時、車線維持に必要なステアリング操作支援を行います。なお、システムのON/OFFは、ステアリングホイール上に設置されたメインスイッチで行うことができます。

＜車線維持支援機能＞

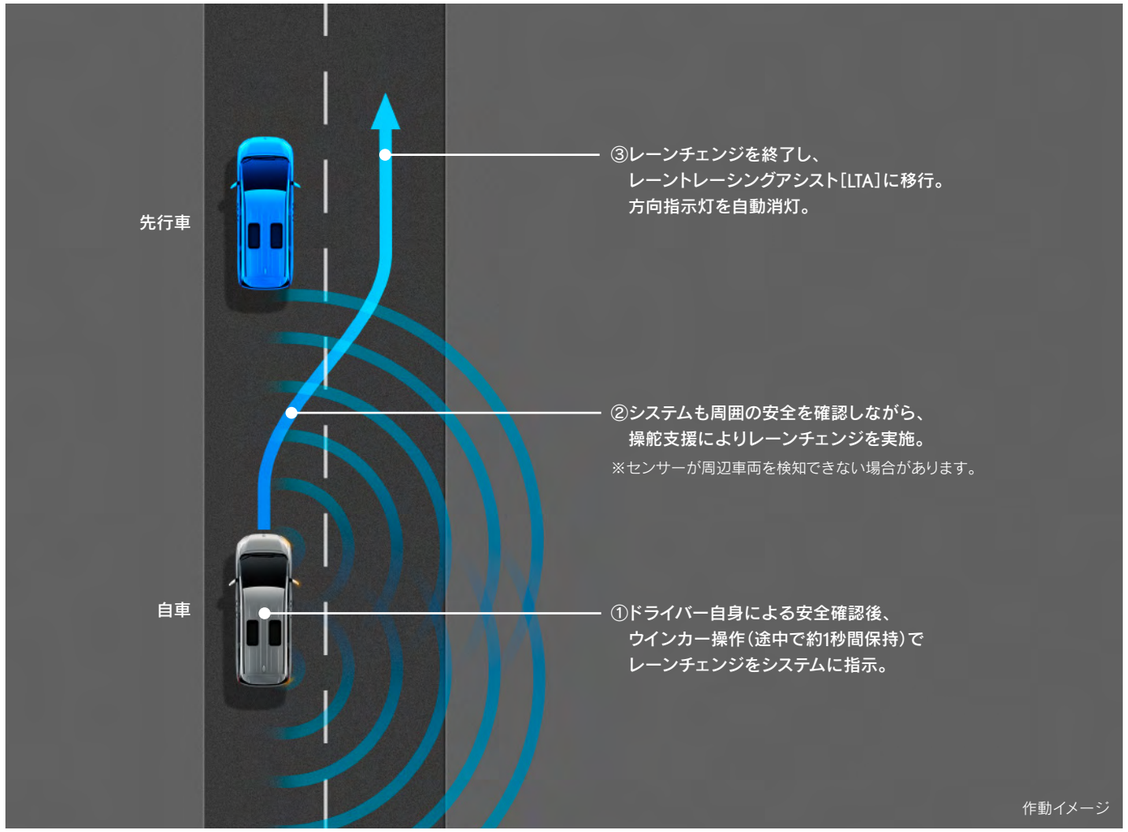
緩やかなカーブで操舵を支援し、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。車線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を走路中央からオフセットする制御を採用。隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、一般的なドライバーの運転と同様に、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。



快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [2]

レーンチェンジアシスト[LCA]

高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行中、車線維持支援機能が作動中にレーンチェンジのための操舵、加減速、車線変更先車両監視の支援を行います。ドライバーのウインカー操作が支援開始の合図となり、レーンチェンジの操舵支援を行います。



※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店にお たずねください。 ※レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が停止します。 ※例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しないおそれがあります。 ●車線または走路の認識が困難なシーン（悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など） ●タイヤに変化がある時（応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など） ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時（ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など） など ※レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]は約70km/h～130km/hで作動します。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]はナビゲーションにて自動車専用道路と認識していない場合には作動しません。 ※作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。 ●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ※レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。 ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず、レーンチェンジアシスト[LCA]が作動しません。 ●ステアリング手放し警告をしている場合 ●レーンチェンジアシスト[LCA]が作動できない条件下で、一定時間ウインカーの使用を継続した時 など ※例えば次のような条件下では、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しない場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●周辺車両が大型車（トラック、バス、トレーラーなど）、二輪車などの場合 ●速度差が大きい追い越し、追い越され時 など ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンチェンジ中であっても レーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●ステアリング手放し警告をしている場合 など

道路標識の見落としを減らすロードサインアシスト

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識を、メーターに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［1］

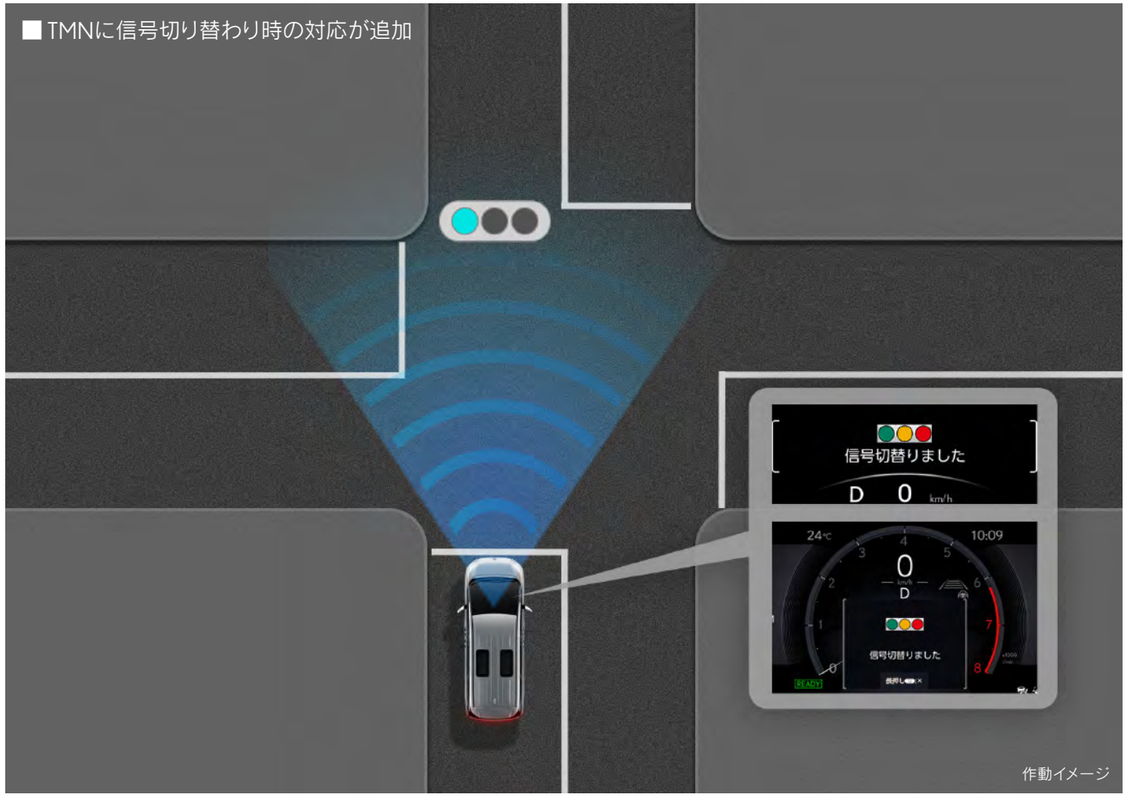
発進遅れ告知機能［TMN］

信号の表示や先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点先頭で停止時に信号の停止表示が解除されても自車が停止し続けた場合、または、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、メーター表示、およびブザーなどでお知らせします。

※右折矢印信号も検知可能です。

※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。

※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［2］

アダプティブハイビームシステム［AHS］

ハイビーム用LEDの点灯を細やかに制御し先行車や対向車に光が当たる部分を自動的に遮光することで、ハイビーム点灯での走行頻度を増やします。先行車がいても路肩をハイビームの一部で点灯することができます。

※自車速度約15km/h以上で作動します。
※本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ドライバー異常時対応システム

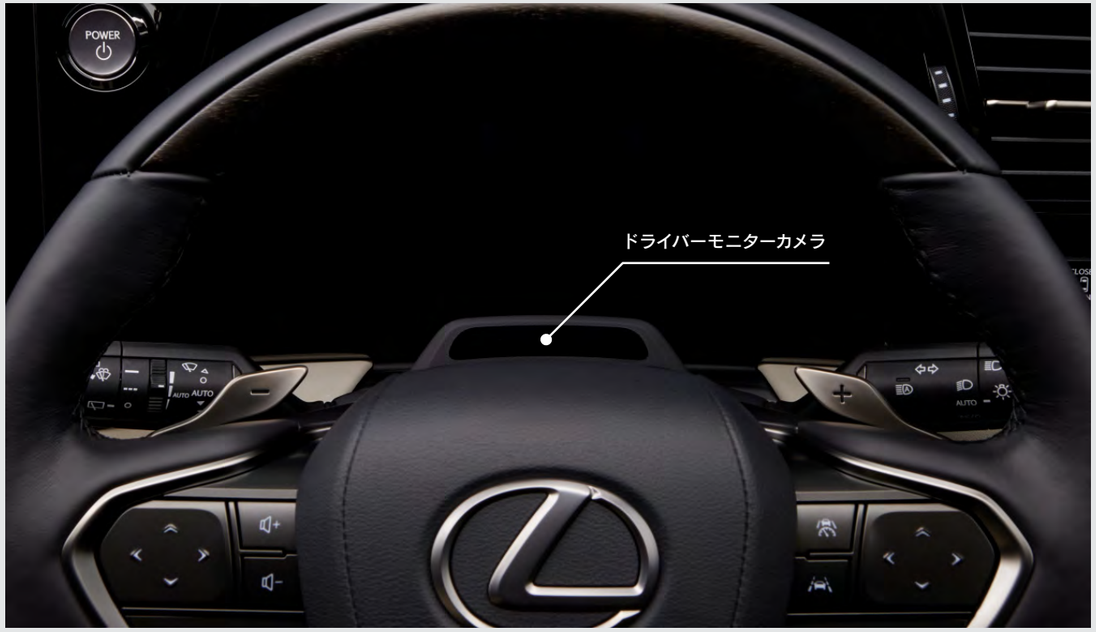
レーントレーシングアシスト［LTA］制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザード・ホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

＊ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。
※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路（一部を除く）を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

ドライバーの状態を検知して注意喚起を行うドライバーモニター

ドライバーモニター連携

ドライバーの不適切な運転状態（脇見、居眠り等）が要因の事故を低減するために、ドライバーの状態を確認し、不適切な状態であると推定された場合、素早く注意喚起を行います。顔向き検知、開閉眼検知に加え、視線を検知することにより、顔向きだけでは検知できない脇見シーン（例えば、正面を向いて視線を落として携帯を見るようなシーン）も検知することができます。





メーターディスプレイの警告表示

＜脇見等を検知した場合＞

システムが脇見や閉眼状態であると判断した場合、メーター表示やブザー音で注意喚起。


脇見　閉眼

＜ドライバーモニター連携が加わった機能＞

- プリクラッシュセーフティ
- レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）
- レーンディパーチャーアラート［LDA］
- ドライバー異常時対応システム

留意事項:ドライバーモニターが正常に作動しないおそれがある状況

次のような状況のとき、ドライバーモニターカメラは運転者の顔を検知できず、機能が正常に作動しないおそれがあります。

- 炎天下での駐車後など、車内が高温のとき
- 強い光(太陽光や後続車のヘッドランプ光など)がドライバーモニターカメラにあたっているとき
- 周囲の構造物の影響などで、車内の明るさがひんぱんに変化しているとき
- 強い光(太陽光や対向車のヘッドランプ光など)が運転者の顔にあたっているとき
- 眼鏡・サングラスのレンズに光が映り込んでいるとき
- 助手席や後席の乗員が身を乗り出すなど、ドライバーモニターカメラの検知範囲に複数の顔があるとき
- 前に身を乗り出したり、窓から顔を出したりするなど、顔がドライバーモニターカメラの検知範囲から外れているとき
- ステアリングやステアリングを握る手・腕などでドライバーモニターカメラが隠れたとき
- 帽子を深く被っているとき
- 眼帯を着用しているとき
- 眼鏡をかけているとき
- 赤外線を通しにくいサングラスをかけているとき
- コンタクトレンズをつけているとき
- マスクを着用しているとき
- 笑ったり、眼を細めたりしているとき
- 眼・鼻・口や、顔の輪郭が隠れているとき
- 眼・鼻・口・顔の輪郭が判定できなくなるような化粧をしているとき
- 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき
- 車内に近赤外線光源を搭載した機器(市販のドライバーモニタリングシステムなど)があるとき

⚠警告

安全にお使いいただくために

- ドライバーモニターは運転者の不注意行動や姿勢崩れを未然に防ぐものではありません。
  つねに周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- ドライバーモニターは運転者の眠気を解消するものではありません。
  集中力の低下や眠気を感じたら、適度に休憩や仮眠を取り、安全運転に努めてください。

運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［1］

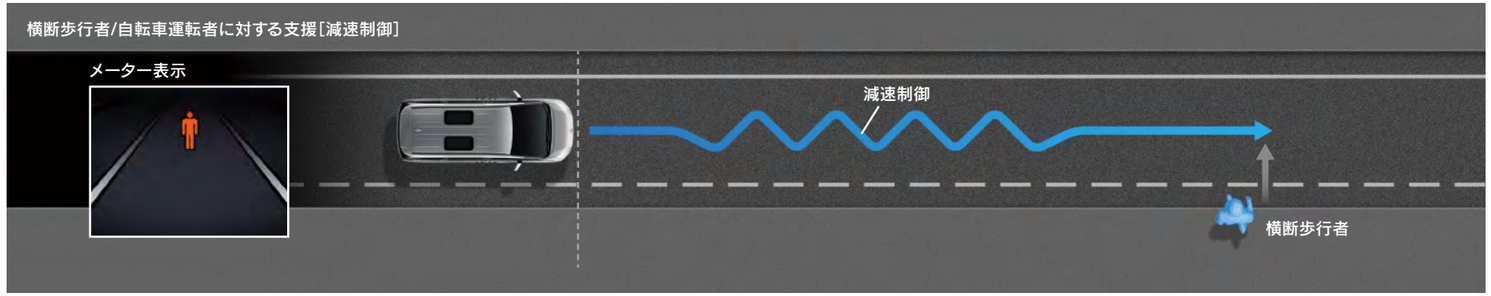
プロアクティブドライビングアシスト［PDA］

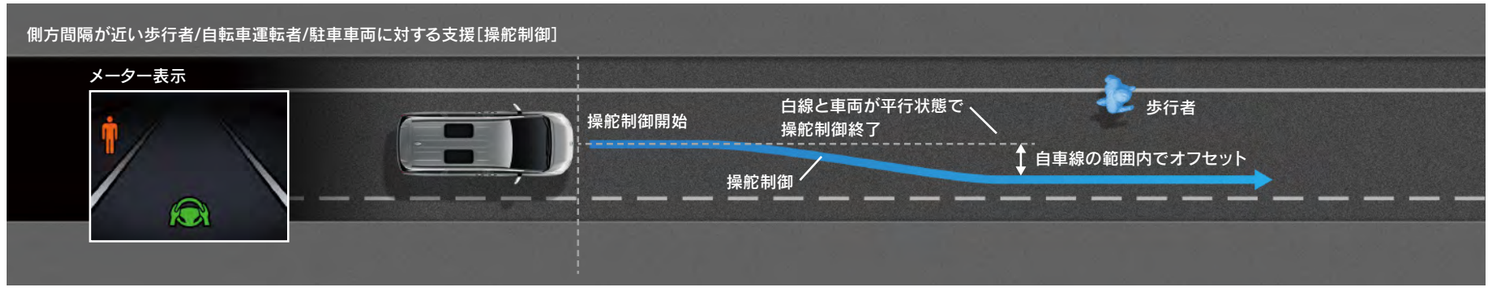
「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添い優しくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

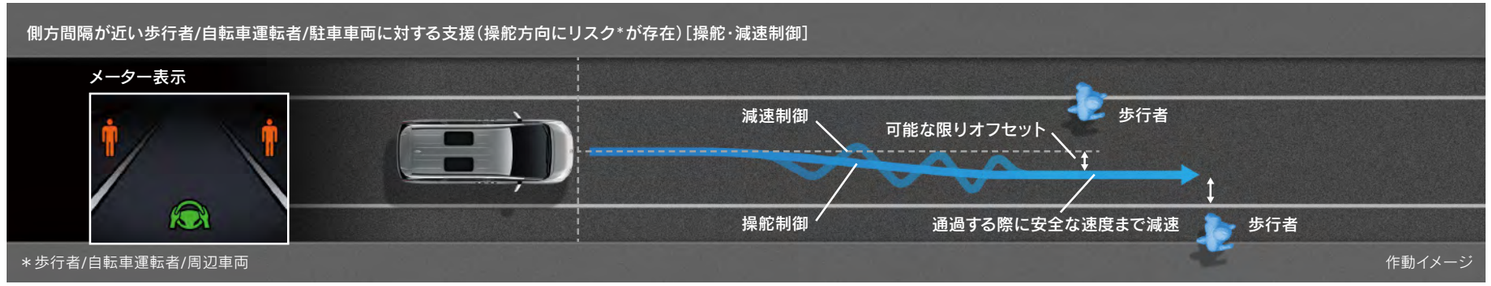
1. 歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

※本支援は自車速が約30km/h～約60km/hのときに作動します。





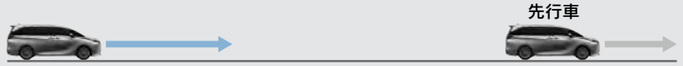
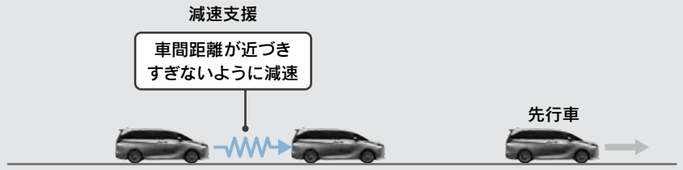
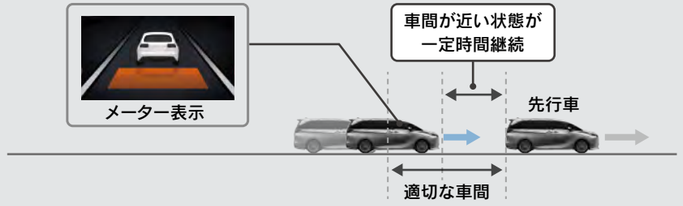


運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［2］

2. 先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

※約15km/hまで減速すると、システムによるブレーキアシストは停止します。

車間が近づく時	1	先行車の有無にかかわらず、ドライバー自身のアクセル操作によって加速・追従	
	2	先行車との車間が詰まった際に、ドライバーがアクセルOFF	
	3	＜減速支援なしの場合＞ 通常の回生ブレーキで減速し、車間距離が詰まる	
		＜減速支援作動時＞ 車間距離が近づきすぎないように減速支援	
車間が近い時	1	車間が近い状態が一定時間継続した場合、ディスプレイに表示する	

作動イメージ

3. カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。





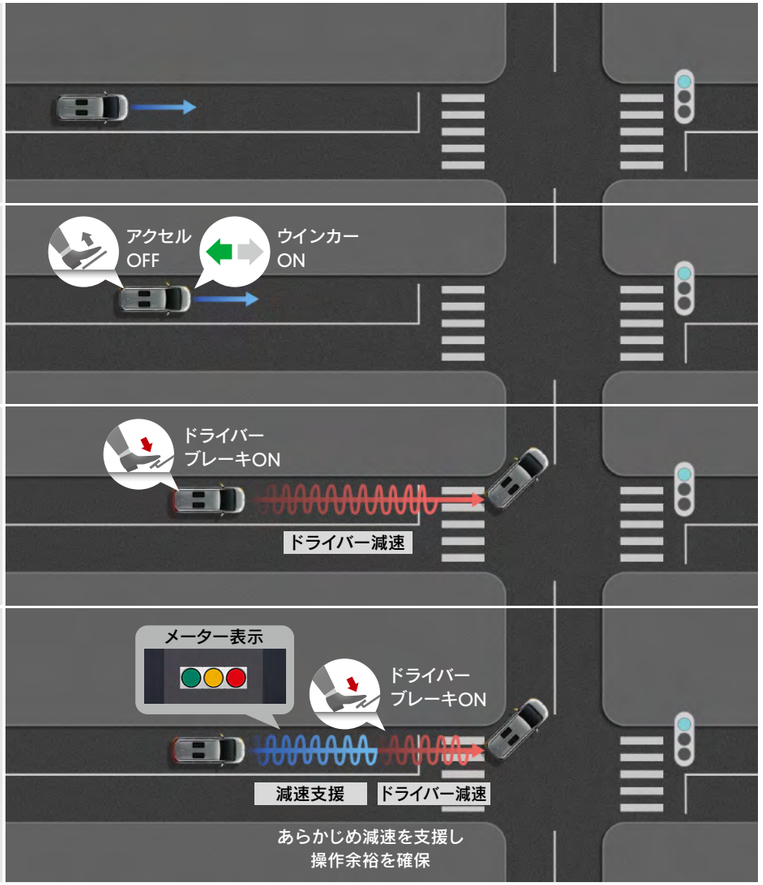
運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［3］

4. 信号交差点に対する右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFFとウインカー操作に応じて、緩やかに減速します。

※本支援は自車速が約30km/h～約80km/hのときに作動します。

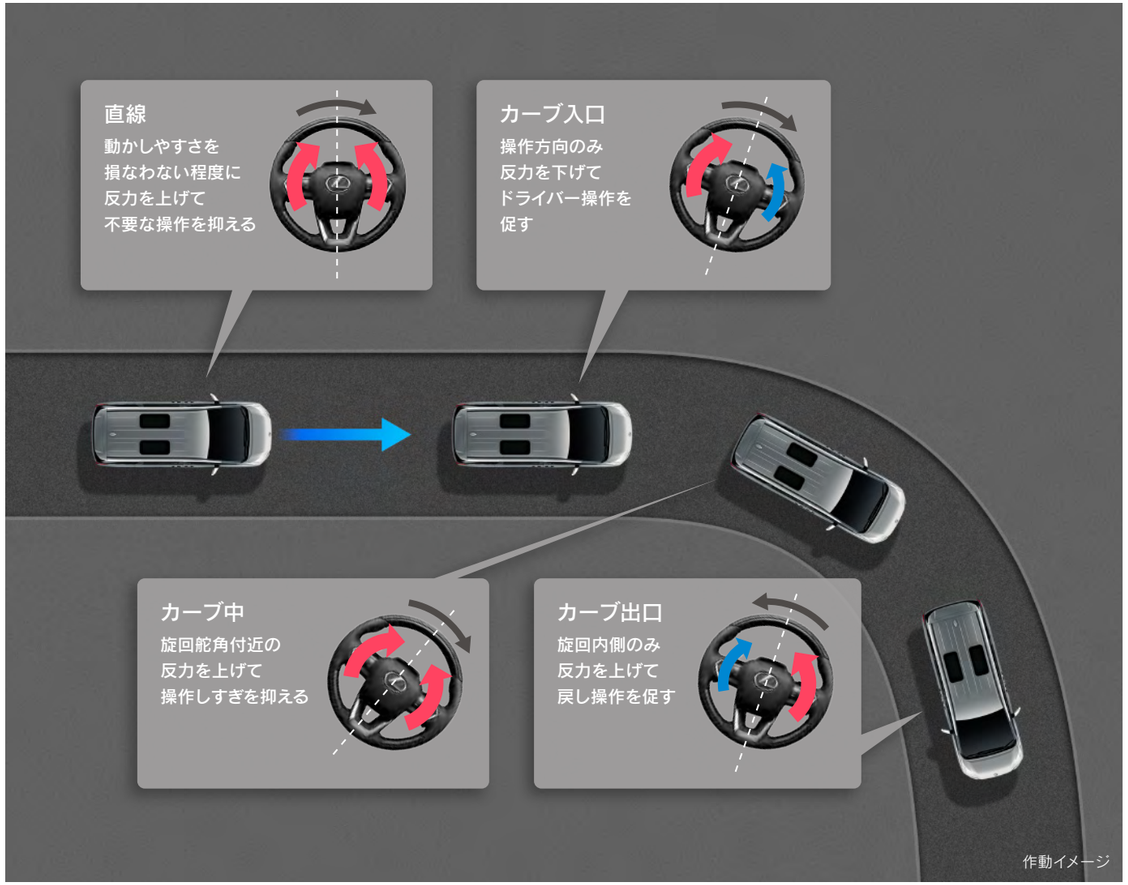
1	ドライバー自身のアクセル操作によって交差点に接近	
2	交差点に近づいたときにドライバーがアクセルOFF、ウインカー操作	
3	＜減速支援なしの場合＞ 減速支援なし ドライバーのブレーキ操作で交差点に対して減速	
	＜減速支援作動時＞ あらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕を確保	



作動イメージ

5. 車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリング反力を変化させることで、不要な操作を抑えたり、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。また、反力変化のみでステアリングを自動で回すことはありません。



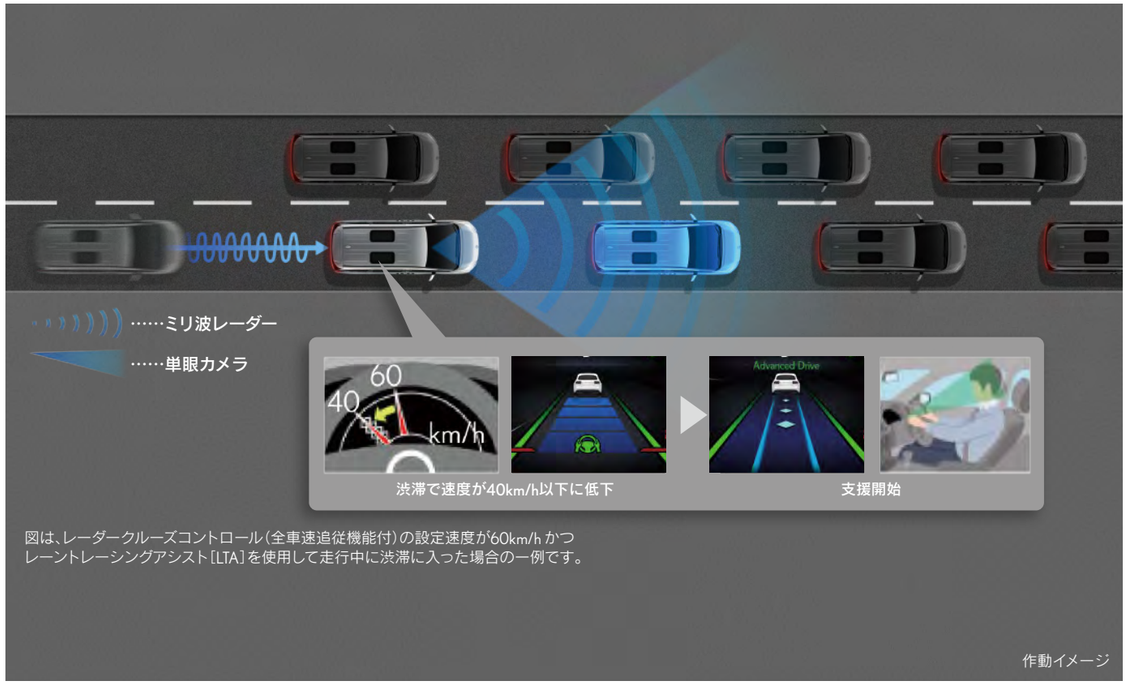
作動イメージ

システムが認知・判断・操作を支援するLexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）

一部の高速道路・自動車専用道路をレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）、およびレーントレーシングアシスト［LTA］を作動させての運転中、渋滞（0-40km/h）になるとドライバーが周囲の監視をしているなど一定の条件を満たしていると、システムが認知・判断・操作を支援します。

・支援開始

Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）は、渋滞を検知するとマルチインフォメーションディスプレイ表示によるお知らせの後、自動的に支援を開始します。渋滞を検知し、ドライバーが周囲を監視している状態で自車速度が約40km/h以下になるとマルチインフォメーションディスプレイに“Advanced Drive”と表示し、車線維持・加減速・停車・発進を支援します。



・支援終了

渋滞が解消し、Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）終了時は、ドライバーにハンドル操作を促すために、マルチインフォメーションディスプレイの表示とブザーで通知し、支援を終了します。



※ご利用にはG-Linkのご契約が必要です。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

⚠ 警告: Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）を安全にお使いいただくために

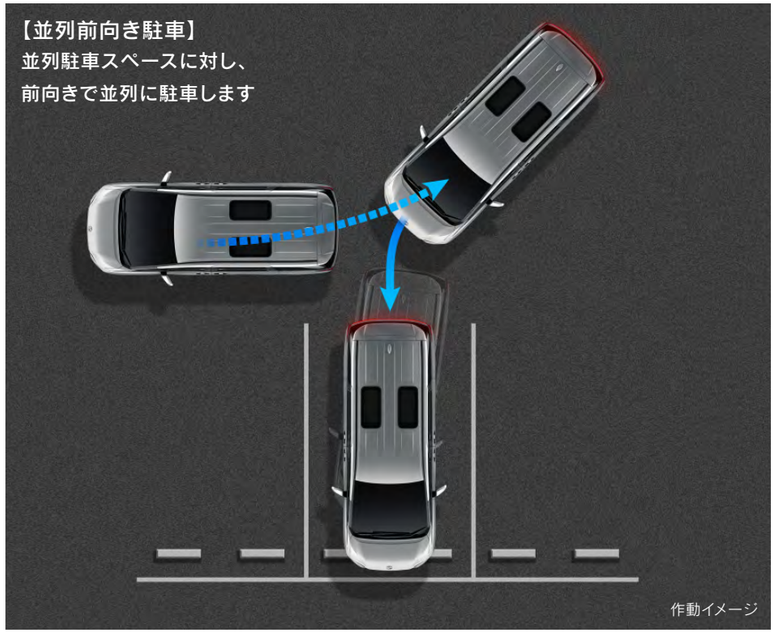
・システムの作動中は、ドライバーモニター監視のもと、手を離して運転することができますが、自動で運転するシステムではありません。システムを過信せずつねに周囲の状況を把握し、必ず安全確認をしながら運転してください。
・周囲の状況・道路の状態・ドライバーの状態によっては作動しないことがあります。
・状況に応じてディスプレイ表示でハンドルの操作を促すことがあります。その際はただちにドライバー自身でハンドル・ブレーキ・アクセルの操作を行い、安全を確保してください。
・認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であってもドライバー自身の操作で安全を確保する必要があります。例えば、自車の前方に割り込み、工事区間、落下物等のシーンでは、必要に応じて自らハンドル・ブレーキ・アクセルを操作してください。
・正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
・本システムは地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
・システム作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。つねに視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください（ヘッドランプ/ワイパー/フロントデフロスタ・リヤウインドゥデフォッガー・ドアミラーヒーター）。
・例えば次のようなシーンでは自動車専用道路上でも本システムは作動しません（中央分離帯がポール等で区切られている暫定供用区間、サービスエリア、料金所、路線新設された道路等）。
・例えば次のようなものの検出には限界があります。必要に応じて自らハンドル・アクセル・ブレーキを操作してください（自車の前方に割り込みがあったとき、他車が接近してきたとき、工事区間、落下物等）。
・衝突等の事故発生時にドライバーモニターカメラによる映像を記録することがあります。
・本システムは地図情報をもとに作動します。ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、G-Link・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、本システムの継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
・公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
・詳しくはレクサス販売店におたずねください。

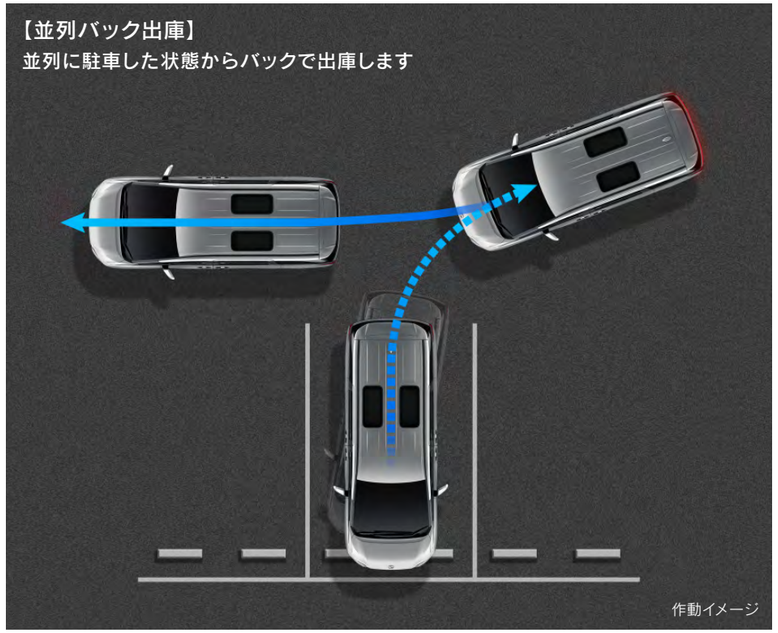
さまざまな駐車シーンに対応するLexus Teammate Advanced Park［1］

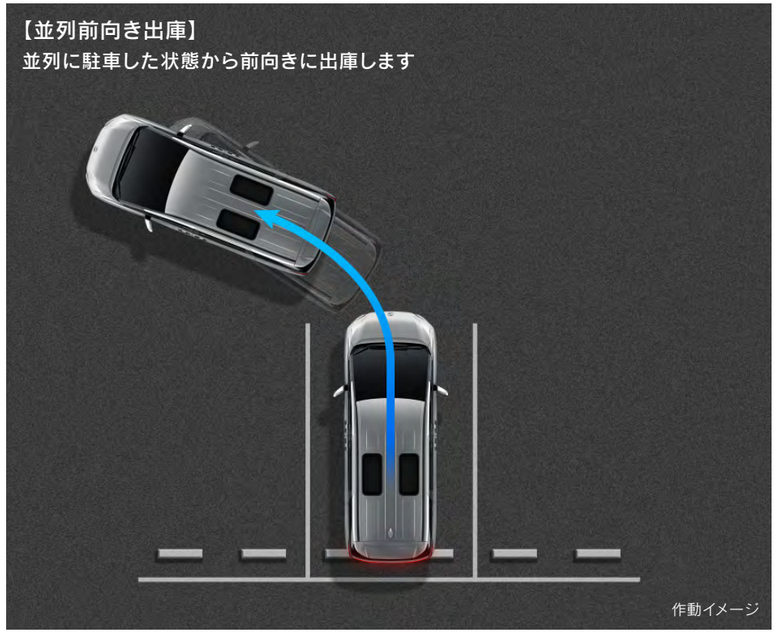
Lexus Teammate Advanced Park（リモート機能付）

支援シーンを拡大し、並列駐車シーンにおいて前向き駐車/バック出庫/前向き出庫が可能になりました。カメラと超音波センサーを融合し全周囲を監視することで、適切に認知、判断、操作を支援。ステアリング・シフト・アクセル・ブレーキの全操作を車両が支援するとともに、俯瞰映像に車両周辺の死角や目標駐車位置などをつねに表示し、スムーズな駐車を実現しました。駐車したいスペースの横に停車後、メインスイッチを押して車両周辺と駐車スペース*を確認し、ディスプレイ画面上の開始スイッチを押すとスムーズに駐車を開始します。障害物の位置をディスプレイのカメラ映像上に表示することで、ドライバーに周辺状況をわかりやすく伝えます。障害物に接触する可能性がある場合は、警告するとともにブレーキ制御で接触回避を支援します。

■ 並列バック駐車、縦列駐車・出庫、区画線のない駐車（メモリ機能）に加えて、下記の支援シーンに対応







＊駐車スペースが複数ある場合は変更できます。
※Advanced Parkはあくまで運転を支援する機能です。Advanced Parkを過信せず、必ずドライバーが責任を持って周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
※Advanced Parkは駐車環境や周辺状況によっては使用できない場合があります。
※字光式ナンバープレートは装着できません。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

さまざまな駐車シーンに対応するLexus Teammate Advanced Park［2］

Advanced Parkのリモート機能

車外から専用スマートフォンアプリ「Remote Park」を操作*することで、遠隔で駐車、出庫が可能となるリモート機能を設定しました。並列・縦列駐車および出庫が可能。また、ラゲージの荷物を取り出すシーンなどにおける前後移動にも対応しています。不慣れな場所、狭い場所での駐車をサポートし、乗り降りのわずらわしさを低減します。スマートフォンで素早く簡単操作できる使い勝手の良さと、お客さまがストレスを感じない時間でシステムが起動するスムーズな支援をめざしました。

＊スマートフォン操作は、電子キーを携帯したドライバーが行う必要があります。また、デジタルキーをご利用の方についても、電子キーを携帯する必要があります。

※機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。

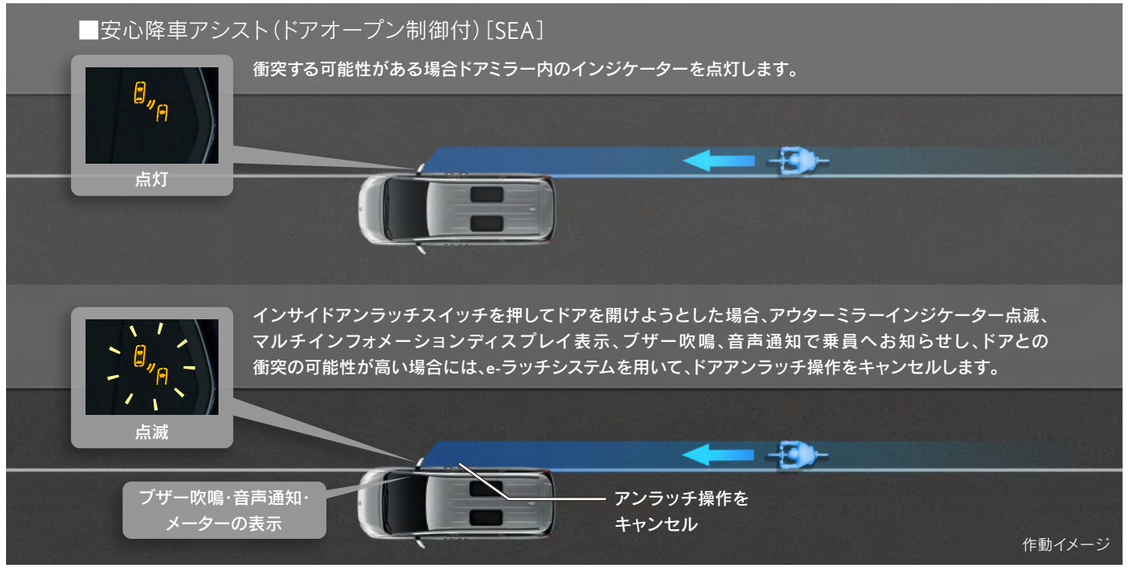


周辺監視システムの拡充

安心降車アシスト(ドアオープン制御付)[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のフロントドア、後席のスライドドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、インサイドアンラッチスイッチを押してフロントドアを開けようとした場合、アウターミラーインジケーター点滅、マルチインフォメーションディスプレイ表示、ブザー吹鳴、音声通知で乗員へお知らせし、ドアとの衝突の可能性が高い場合には、e-ラッチシステムを用いて、ドアアンラッチ操作をキャンセルします。インサイドドアハンドル操作で後席のスライドドアを開けようとした場合には、フロントドアと同様の注意喚起を行うとともに、開いたドアまたは降車する乗員との衝突の可能性が高い場合のみパワースライドドアシステムによってスライドドアを一定量(人がおりられない程度)開いて途中停止します。

※検知対象の目安となる大きさは、小型の二輪車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケーターが点灯する場合があります。
※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※安心降車アシスト(ドアオープン制御付)[SEA]、ブラインドスポットモニター[BSM]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



ブラインドスポットモニター[BSM]

ブラインドスポットモニター[BSM]は、走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約70m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅するとともにブザーが吹鳴し、より注意を喚起します。

後方を見守ってくれる安心のアシスト

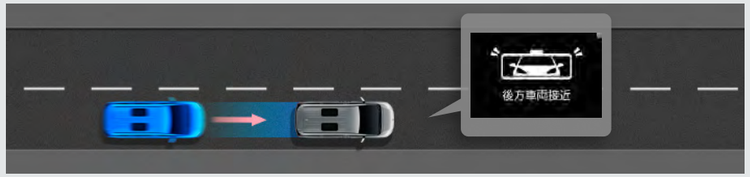
後方車両接近告知

ブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーで自車後方の車両を検知し、後方車両が接近した場合には、メーターやカラーヘッドアップディスプレイ、ブザーにてお知らせ。インナーミラーへ視線誘導し、後方車両の回避要否の判断をアシストします。

①後側方ミリ波レーダーにて自車後方車両を検知



②後方車両が接近するとメーター、カラーヘッドアップディスプレイ、ブザーにてドライバーへお知らせ



③ドライバーがインナーミラーを介して後方車両を確認し、回避要否を判断



作動イメージ

周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)

後方車両が非常に接近した場合、システムからドライバーに警察もしくはヘルプネット®への接続を提案。対処方法をお伝えします。また、ドライブレコーダー(前後方)装着時には、常時記録に加えて「イベント記録とお知らせ」を実施。状況を自動録画し、専用記録領域へ保存されるので上書きされにくくなります。



後方車両が至近距離まで接近している状態が継続した時

メーター、カラーヘッドアップディスプレイ、音声で通報を提案

・携帯電話をマルチメディアとハンズフリー接続している時



ステアリングスイッチの「はい」を押下



・ヘルプネット SOS を契約している時



ヘルプネットボタンON





▶ 接続後・・・トラブル対応のプロの警察が迅速に救援します。





ドライブレコーダー(前後方)で証拠を録画

・ドライブレコーダー(前後方)が装着されている時



※後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。

追突の可能性を後続車に伝え、追突事故の被害軽減に貢献

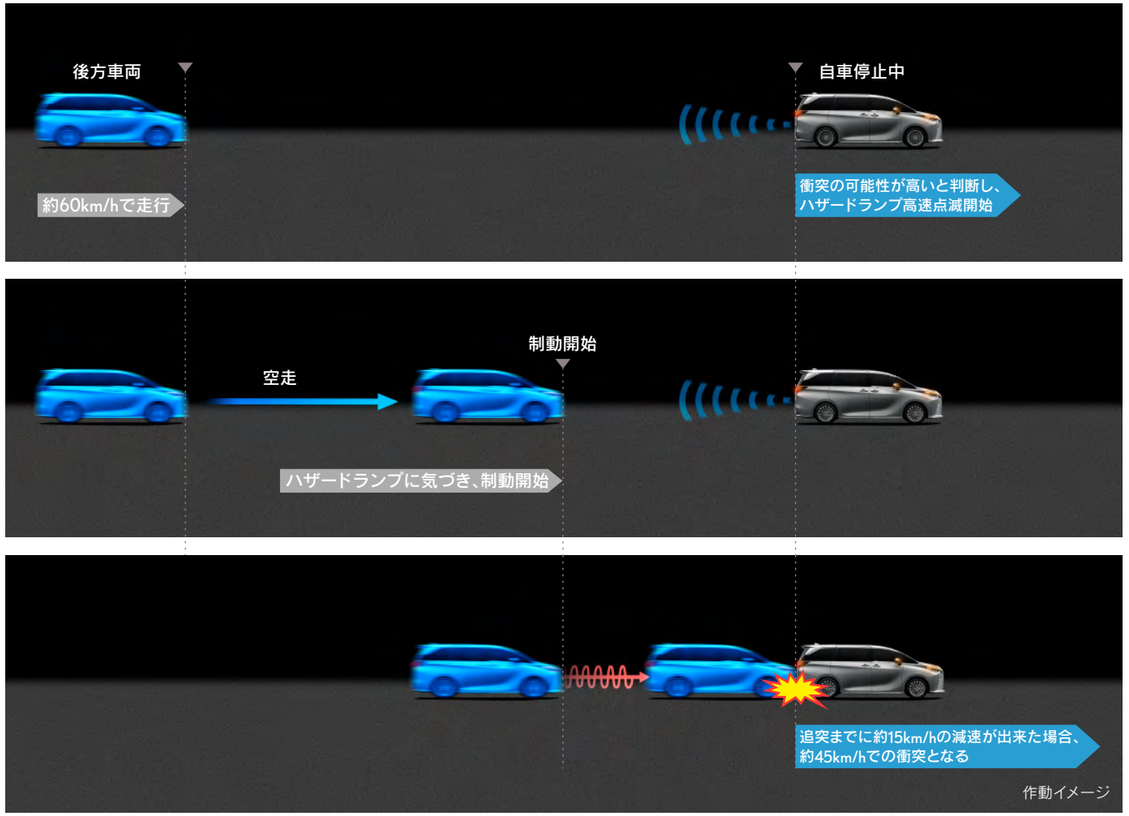
後方車両への接近警報

追突の可能性が高い後続車に対し、ハザードランプを高速点滅させて注意喚起します。自車両と同一レーンを走行する後続車をブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーにより検知し、後続車との距離、相対速度、方向等から追突の可能性を判断します。追突される可能性が高い場合にハザードランプを約2秒間高速点滅させ、後続車に注意喚起します。

作動条件

検知対象	トラック、バス、乗用車
作動自車速度	全車速 （約10km/h以上の場合はブレーキON時のみ作動）
電源/シフト条件	イグニッションON/シフトRポジション以外
ターンシグナル操作	ターンシグナル操作をしていないとき
ハザード操作（マニュアル）	ハザード操作していないとき
後続車相対速度	約30～100km/h

※後方車両への接近警報はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



作動イメージ

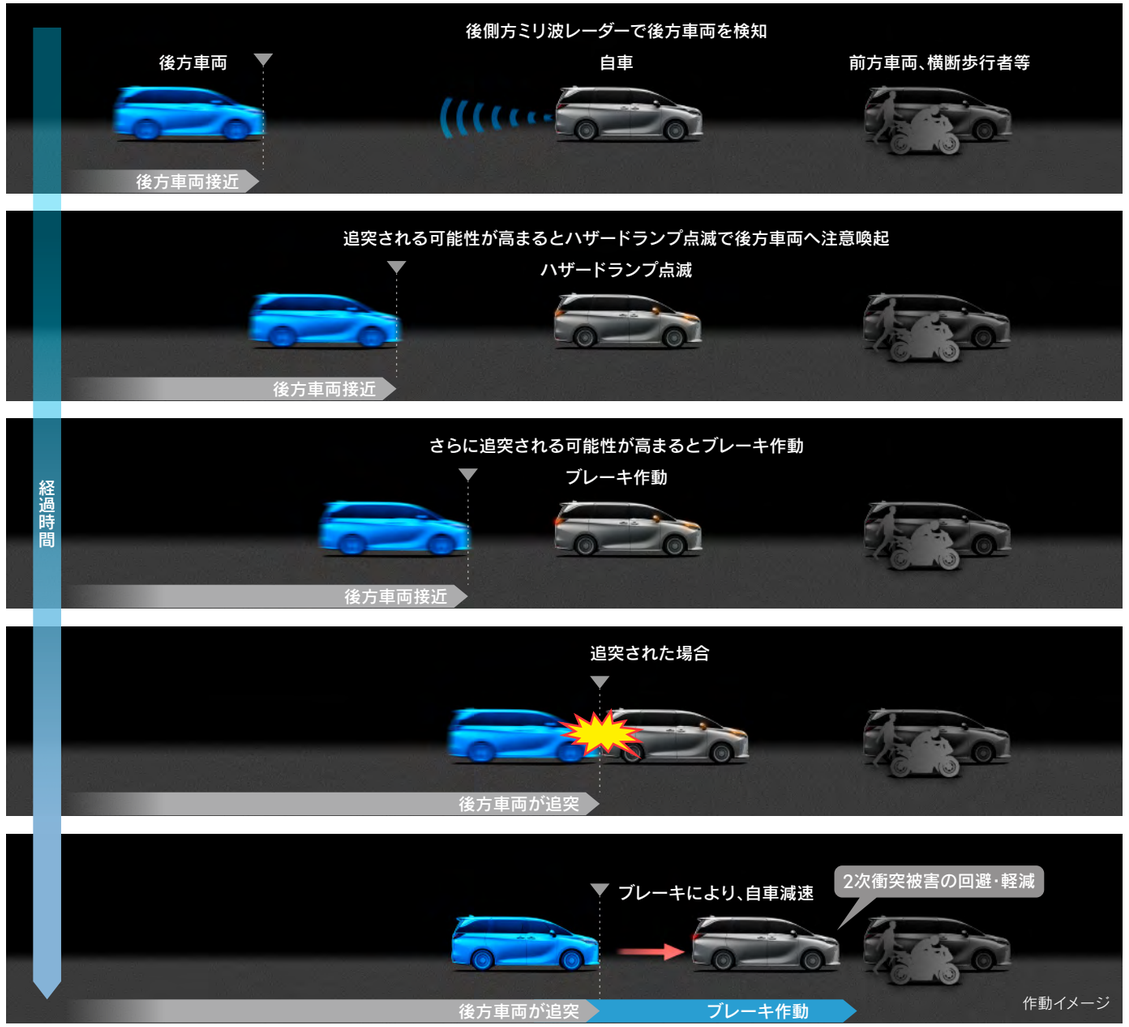
被追突時の2次衝突被害の回避・軽減に貢献

セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）

自車が停車中、ブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーで後方車両を検知し、追突される可能性が非常に高いとシステムが判断すると、自車のブレーキを作動させます。その後追突された場合に自車の速度を減速し、2次衝突被害の回避・軽減に貢献します。自車走行中に前突・側突された後にブレーキを作動させる従来のセカンダリーコリジョンブレーキに対して、停車中後突対応は後側方ミリ波レーダーを使用することで後突に対応するとともに、衝突前からブレーキを作動。より早期での減速が可能です。

	支援方向			自車状態	作動開始タイミング
	前方	側方	後方		
従来のセカンダリーコリジョンブレーキ	○	○	—	走行中	衝突後
セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）	—	—	○	停車中	衝突可能性前

※セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



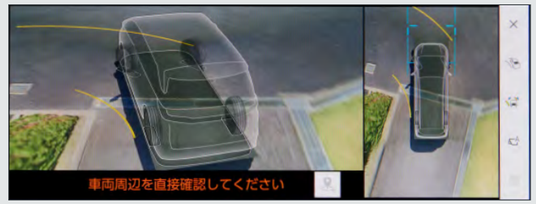
死角を減らし視界をひらくアイテム［1］

パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）

車両の前後左右に搭載したカメラから取り込んだ映像を合成し、車両を上から見たような映像を表示。運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなシースルービューや、車両を後ろ上方から見たような映像を表示し、車両側方の安全確認ができるサイドクリアランスビュー、狭い道での接触回避を確認できるコーナリングビューも採用しました。さらに、音声操作への対応や、パノラミックビュー / サイドクリアランスビュー / コーナリングビュー表示中に床下透過表示機能がON*になっていれば車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して駐車やすり抜けをサポートするなど、機能をレベルアップさせています。また、クリアな視界を保つため、バックカメラにはカメラ洗浄機能が付いており、室内のコンビスイッチとタッチディスプレイにあるカメラ洗浄スイッチの操作でウォッシャー液が噴射され、雨天時などの悪天候でカメラに付着した雨滴や汚れを落とすことができます。



サイドクリアランスビュー表示



コーナリングビュー表示



リヤカメラ洗浄前の
タッチディスプレイ



リヤカメラ洗浄後の
タッチディスプレイ


リヤカメラ
洗浄イメージ

＊事前にセンターディスプレイの設定で床下透過がONになっていれば、パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）を表示すると自動的に（車両を動かすと同時に）床下透過表示になります。
※画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。
※自車速度約20km/h以下で作動します。
※一定速度を超えるとモニターにカメラ画像が表示されなくなります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※GPSの受信状況によっては地点登録できない、または自動的に表示できない場合があります。

死角を減らし視界をひらくアイテム［2］

デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をミラーのディスプレイに表示することで、後席の乗員やヘッドレストに遮られることなく、後方の安全確認が可能です。高画質の映像により、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えた際の自然な色調、夜間のクリアな視認性を実現しています。



鏡面ミラーモード

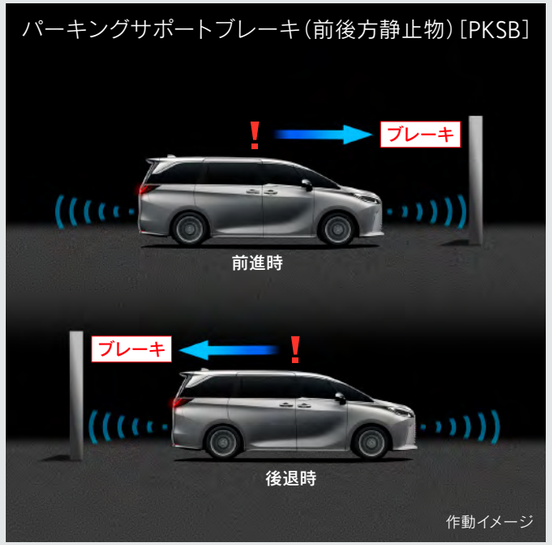


デジタルインナーミラーモード

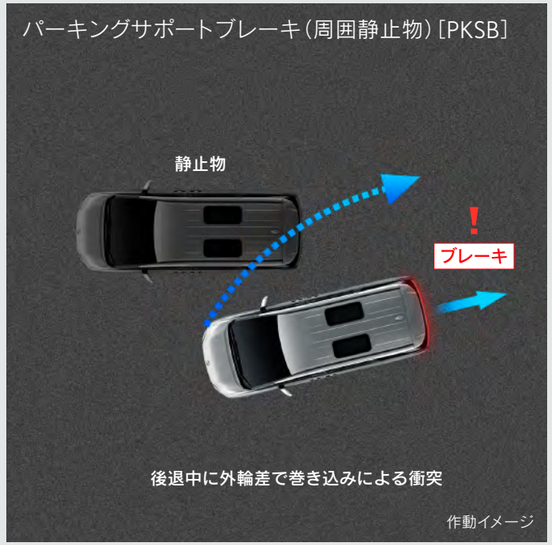
※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また、着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。

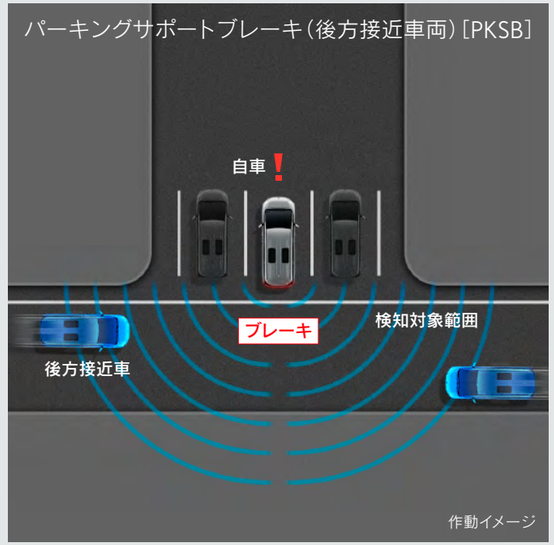
リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［1］

パーキングサポートブレーキ

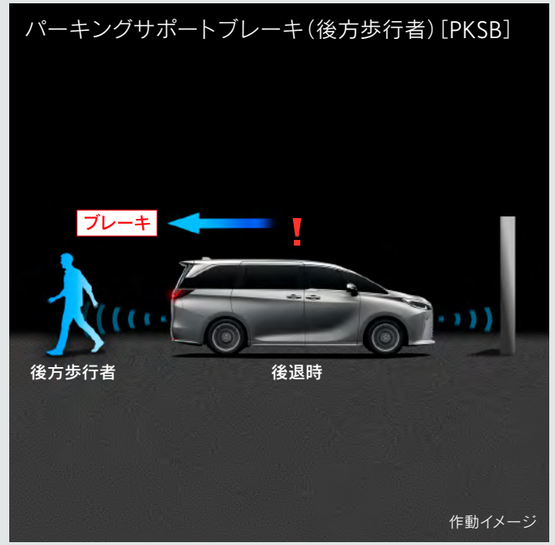


アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステムです。静止物の検知対象を前後進行方向のみならず、側方を加えた車両周囲にまで拡大。Advanced Park（リモート機能付）のアシスト中だけでなく、出庫や後退中のような駐車シーンにおいても周囲を監視しながら静止物の接近を表示とブザーで知らせ、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。





後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラー、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。



後退して出庫する際、自車後方の歩行者の存在を、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後方の歩行者と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

※パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）のレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと併せてご使用ください。
※パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありますが、必ず止まることを約束するものではありません。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態等によっては、作動しない場合があります。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※パーキングサポートブレーキ［PKSB］が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。
※歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。
※字光式ナンバープレートは装着できません。
※運転者自身でパーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはおやめください。

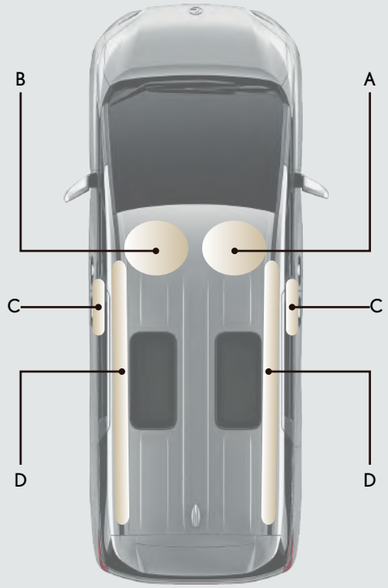
リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［2］

SRSエアバッグシステム

前席には、前方からの衝撃力に応じて展開するSRSエアバッグを採用。さらに、側方衝突に対しては運転席・助手席SRSサイドエアバッグ、前後席SRSカーテンシールドエアバッグ*を備えています。

＊LM500h EXECUTIVE（4人乗り）は前後席に設定、LM500h version L（6人乗り）はフロント/セカンド/サードシートに設定しています。

※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。

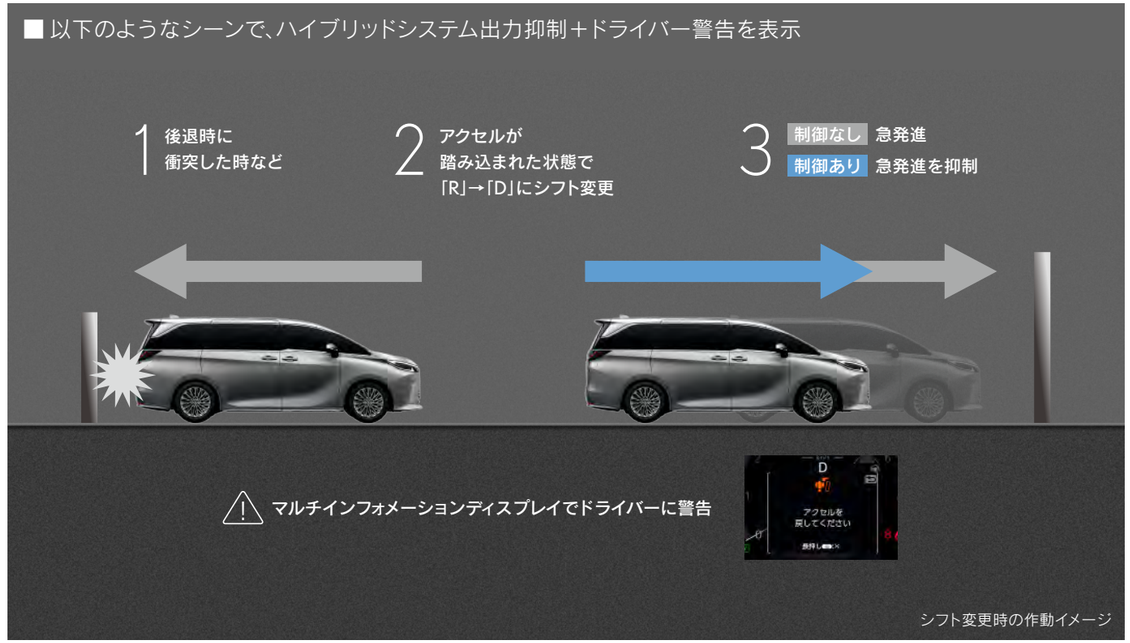


A SRS 運転席デュアルステージエアバッグ
B SRS 助手席デュアルステージエアバッグ
C SRS サイドエアバッグ（前席）
D SRS カーテンシールドエアバッグ（前後席）*

シフト操作を間違えたときや後退時に、速度を抑制して衝突時の被害軽減に寄与＆空気圧の低下を警告

ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーがアクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、ハイブリッドシステム出力を抑えます。また、後退時、必要以上にアクセルを踏み込んで速度が上がりすぎるのを防ぐために、ハイブリッドシステム出力を抑えます。



シフト変更時の作動イメージ

タイヤ空気圧警告表示（マルチインフォメーションディスプレイ表示付）

空気圧が低下したタイヤがあると、メーター内のインジケーターランプ点灯とともに、ディスプレイに空気圧の数値を反転表示します。イグニッションONで空気圧を検出するため、走行前に確認が可能です。

※電波環境によっては空気圧の検出ができない場合があります。



ドライブの安心を拡張・更新するプラスサポート

[DEALER OPTION]プラスサポート用スマートキー

専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

＜急アクセル時加速抑制＞

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏みすぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

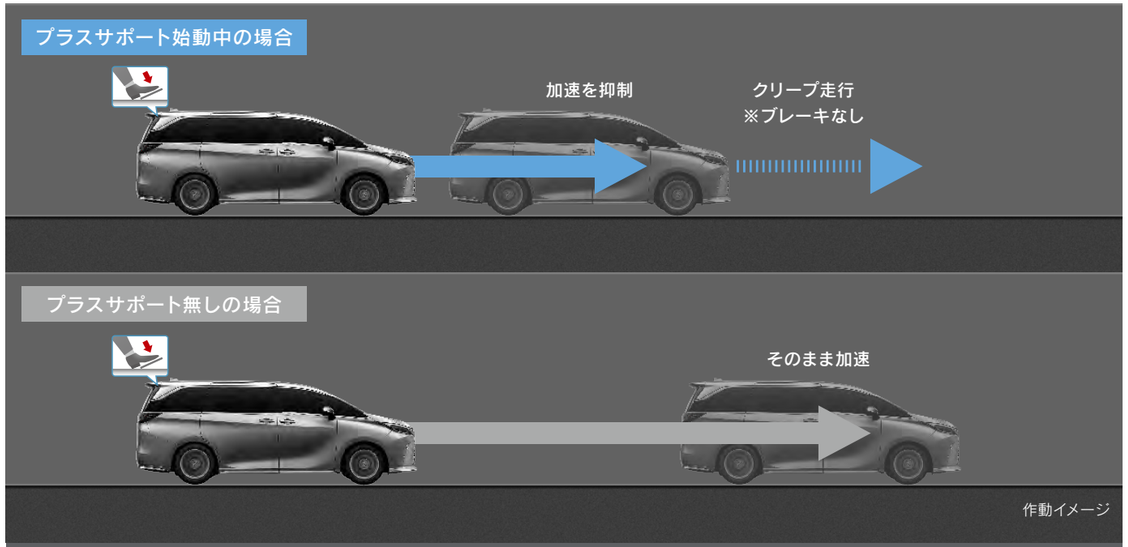
＜Lexus Safety System ＋の機能拡大＞

プラスサポートモードがONの場合、Lexus Safety System ＋各機能の挙動（警報タイミングや音声発話の有無）を、より安全な運転につながる方へ拡大します。

・プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動
・ロードサインアシスト[RSA]で音声発話による注意喚起を実施 など

ソフトウェアアップデート

DCM（Data Communication Module）による無線通信で、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能なOTA（無線通信）によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTAによるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System＋機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、パワースイッチON時のみ実施されます。

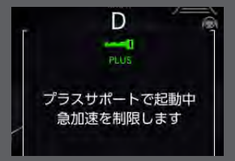


作動イメージ

プラスサポート用スマートキー
（電子キー）（カードキー）

標準キーと区別しやすい、
サテンゴールド加飾の専用キーです。





メーター表示

※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。 ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。※ブレーキを制御するシステムではありません。 ※自車車速約30km/h以下で作動します。 ※前進および後退時に作動します。※アクセルを速く強く踏み込むような運転をした場合に、意図せずシステムが作動することがあります。 ※プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作せず右左折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態（ブレーキホールドでの停車中含む）から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みなおせば加速が可能です。 ※プラスサポート用スマートキー（電子キー・カードキー）と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。メーター表示で始動中をご確認ください。

見えない“不安”を、見える“安心”に

ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

＊路車間通信システムに対応した路側装置は、2026年3月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまでも補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。

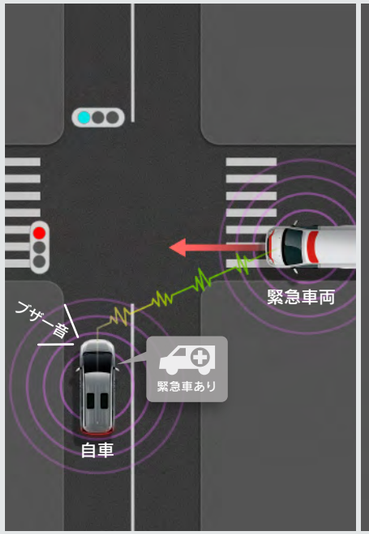
※緊急車両存在通知は本システムを搭載していない緊急車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。

※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置（感知器）の検出範囲外に存在している場合や、路側装置（感知器）が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。

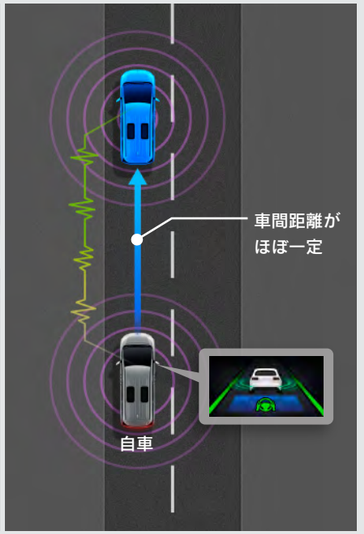
※右記の機能は一例です。

クルマとクルマがつながる 車車間通信システム



緊急車両存在通知

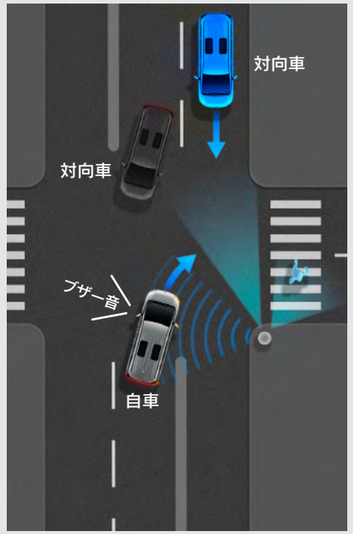
サイレンを鳴らしている緊急車両（救急車）が存在する場合に、ブザー音と音声案内で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。



通信利用型レーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報に素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路＊とクルマがつながる 路車間通信システム



右折時注意喚起

交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

ITS Connectについては、こちらのURLよりご確認ください（https://lexus.jp/technology/itsconnect/）

作動イメージ

表現したのはLuxury Moverにふさわしいカラーと質感



光の当たる角度や時間帯によって変わる、多彩な表情。艶やかでありながら強いコントラストを生む、
深みのある陰影。そんな厳選されたボディカラー4色を設定しました。
インテリアは、車格に相応しい、モダンプレミアムな世界観を表現しています。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

3Dシミュレーションはこちら >

BODY COLOR LINEUP



ソニッククォーツ〈085〉



ソニックチタニウム〈1J7〉



グラファイトブラックガラスフレーク〈223〉



ソニックアゲート〈3U3〉

Photo：LM500h EXECUTIVE。

3Dシミュレーションはこちら >

INTERIOR COLOR LINEUP

インテリアカラー



ソリスホワイト（内装加飾：サテンカッパー）

Photo：LM500h EXECUTIVE。フロアマットはディーラーオプション。



ブラック（内装加飾：サテンシルバー）

Photo：LM500h version L。フロアマットはディーラーオプション。

シートマテリアル一覧表

	LM500h EXECUTIVE（4人乗り）	LM500h version L（6人乗り）
フロントシート	セミアニリン本革	セミアニリン本革
リヤシート	L-ANILINE本革	—
セカンドシート	—	L-ANILINE本革
サードシート	—	セミアニリン本革

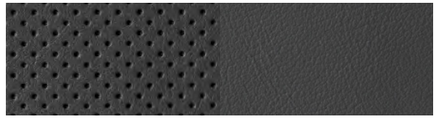
シートマテリアル



セミアニリン本革（ソリスホワイト）



L-ANILINE本革（ソリスホワイト）



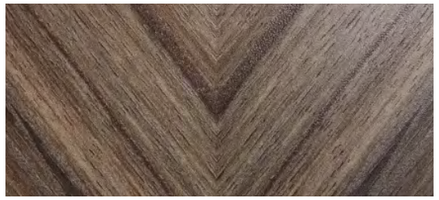
セミアニリン本革（ブラック）



L-ANILINE本革（ブラック）

オーナメントパネル

（インストルメントパネル部、
フロントセンターコンソール部、
リヤオーバーヘッドコンソール部）



矢羽根

EQUIPMENT

レクサス LM500h 主要装備一覧表

●：標準装備　○：設定あり（いずれかをお選びください）
△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　□：ディーラーオプション

			LM500h	
			EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
■パフォーマンス				
アクティブノイズコントロール			●	●
周波数感応バルブ付AVS			●	●
フロントφ328mmベンチレーテッドディスクブレーキ			●	●
リヤφ317mmベンチレーテッドディスクブレーキ			●	●
225/55R19 103Hタイヤ＆19×7J鍛造アルミホイール（スパッタリング塗装）		＊1	●	●
225/65R17 102Hタイヤ＆17×6½Jノイズリダクションアルミホイール（スパッタリング塗装）			△	△
リヤスポイラー（LEDハイマウントストップランプ付）			●	●
■セーフティ				
Lexus Teammate	Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）	＊2	●	●
	Lexus Teammate Advanced Park（リモート機能付）＋バーキングサポートブレーキ（周囲静止物）［PKSB］	＊3	●	●
Lexus Safety System ＋	プリクラッシュセーフティ（歩行者［昼夜］・自転車運転者［昼夜］・自動二輪車［昼］検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式）		●	●
	レーンディパーチャーアラート［LDA］/レーントレーシングアシスト［LTA］/レーンチェンジアシスト［LCA］		●	●
	レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）		●	●
	アダプティブハイビームシステム［AHS］		●	●
	ロードサインアシスト［RSA］		●	●
	発進遅れ告知機能［TMN］		●	●
	ドライバー異常時対応システム		●	●
	ドライバーモニター連携		●	●
	フロントクロストラフィックアラート［FCTA］		●	●
	プロアクティブドライビングアシスト［PDA］		●	●
ITS Connect			●	●
ブラインドスポットモニター［BSM］/後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート（録画機能・通報提案機能）/後方車両への接近警報			●	●
セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）			●	●
安心降車アシスト（ドアオープン制御付）［SEA］			●	●
バーキングサポートブレーキ（前後方静止物＋後方接近車両＋後方歩行者）［PKSB］		＊3	●	●
バックカメラ洗浄機能			●	●
パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）		＊3	●	●
ドライブレコーダー（前後方）			●	●
三眼フルLEDヘッドランプ（ロー・ハイビーム）/LEDフロントターンシグナルランプ/LEDクリアランスランプ（デイタイムランニングランプ機能付）/LEDコーナリングランプ/ヘッドランプクリーナー			●	●
フルLEDリヤコンビネーションランプ（テール・ストップ・バックアップ・サイドマーカー・ターンシグナル）			●	●
オート電動格納式ドアミラー（広角・自動防眩・鏡面リバース連動ラストメモリー付チルトダウン・メモリー・ヒーター付）			●	●
デジタルインナーミラー			●	●

			LM500h	
			EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
■機能装備				
インテリアイルミパッケージ	前席足元/フロントボックス/e-ラッチインサイドドアハンドル/フロントドアプルハンドル/ルーフ/パーティショングローブボックス/パーティション足元［陰影照明］/リヤコンソール足元/スライドドアトリム/スライドドアインサイドハンドル/クォーターボックス/カップホルダー		●	—
	前席足元/フロントボックス/e-ラッチインサイドドアハンドル/フロントドアプルハンドル/ルーフ/スライドドアトリム/スライドドアインサイドハンドル/セカンドシート足元		—	●
e-ラッチ（フロントアウトサイドドアハンドル［フロント足元・フロントドアハンドル照明付］・フロントインサイドドアハンドル）			●	●
パーティション（電動昇降ガラス/調光機能付）			●	—
ユニバーサルステップ（左右/スライドドア連動）			●	●
スライドドアウェルカムイルミネーション			●	—
スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー［測距システムあり］2個/バックドア連動）		＊4	○	○
スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー［測距システムなし］2個＋カードキー1個/バックドア連動）		＊4	○	○
デジタルキー		＊5	●	●
プラスサポート用スマートキー（電子キー）（カードキー）			□	□
パワーイージーアクセスシステム（運転席オートスライドアウェイ＆リターンメモリー機能）			—	●
全ドアイージークローザー			●	●
パワーバックドア（挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付）		＊6	●	●
ガラスルーフ（リヤ左右/UVカット/プライバシー）			●	●
電動サンシェード（ガラスルーフ、スライドドアガラス、リヤクォーターガラス）			●	●
おくだけ充電®	左右クォーターボックス内各1個（トレイ寸法：タテ約90mm、ヨコ約180mm）	＊7	●	—
	フロントボックス内1個（トレイ寸法：タテ約100mm、ヨコ約185mm）	＊7	—	●
■インテリア				
12.3インチTFT液晶式メーター（TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ）			●	●
カラーヘッドアップディスプレイ（連動ステアリングスイッチ付）			●	●
本杢＋本革ステアリング（パドルシフト付）			●	●
ステアリングヒーター			●	●
電動パワーステアリング［EPS］			●	●
本革シフトノブ			●	●
運転席・助手席セミアニリン本革シート			●	●
運転席8Way調整式パワーシート（4Way電動ランバーサポート付）			●	●
助手席4Way調整式パワーシート（2Way電動ランバーサポート付）			●	●
フロントヘッドレスト	上下調整式		●	●
	助手席可倒式		—	●
リヤシート	L-ANILINE本革/4Wayパワーシート（オットマン、ランバーサポート付）/固定式大型ヘッドレスト		●	—
セカンドシート	L-ANILINE本革/6Wayパワーシート（オットマン、ランバーサポート付）/マニュアルウォークイン機構/上下調整式大型ヘッドレスト		—	●
サードシート	セミアニリン本革/マニュアルスライド・リクライニング機能/マルチポジションスペースアップシート/センタートレイ/ヘッドレスト		—	●

EQUIPMENT

レクサス LM500h 主要装備一覧表

●：標準装備　○：設定あり（いずれかをお選びください）
△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　□：ディーラーオプション

			LM500h	
			EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
■インテリア				
レクサス クライメイト コンシェルジュ& リヤクライメイト コンシェルジュ	4席独立温度調整オートエアコン（部位別調整機能付）		●	—
	前後左右席独立温度調整オートエアコン		—	●
温熱感IRマトリクスセンサー			●	—
内外気自動切り替えシステム（排出ガス検知機能付）			●	●
運転席・助手席シートヒーター＆ベンチレーション機能			●	●
シート・アームレスト・オットマン ヒーター＆ベンチレーション機能	リヤシート		●	—
	セカンドシート		—	●
リラクゼーション機能	リヤシート		●	—
	セカンドシート		—	●
格納式テーブル	リヤシート	＊8	●	—
	セカンドシート	＊8	—	●
冷蔵庫（ホルダー付）			●	—
“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム			●	●
リヤシートエンターテインメント システム	48インチ大型ワイドディスプレイ		●	—
	電動開閉式14インチディスプレイ		—	●
14インチタッチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plus			●	●
■その他				
ETC2.0ユニット（VICS機能付）＋光ビーコンユニット付		＊9＊10	●	●
アクセサリーソケット（DC12V・120W）	センターコンソールボックス内1個	＊11	●	●
アクセサリーコンセント（AC100V・1500W/非常時給電システム付）& 外部給電アタッチメント	リヤコンソールボックス内1個	＊12	●	—
	センターコンソール後部1個	＊12	—	●
	右側デッキサイド1個	＊12	●	●
充電用USB端子 Type-C	フロントボックス内1個/センターコンソールボックス内1個		●	●
	リヤコンソールボックス内2個		●	—
	左右セカンドシート下部各1個/左右クォータートリム各1個		—	●
通信用USB端子 Type-C	フロントボックス内1個		●	●
HDMI端子 ＊13	センターコンソールボックス内1個		●	●
	リヤコンソールボックス内2個		●	—
	センターコンソール後部1個		—	●
ヘッドフォンジャック	左右クォーターボックス内各1個		●	—
先読みエコドライブ［先読みSOC制御（目的地予測）］		＊2	●	●
気象情報連動エアコン制御		＊2	●	●
寒冷地仕様（LEDリヤフォグランプ・ウインドシールドデアイサー等）		＊14	●	●

全車標準装備

■パフォーマンス
- 電動パーキングブレーキ
- スムーズストップ制御
- スペアタイヤ（応急用 T165/80D17）

■セーフティ
- ABS（電子制動力配分制御付）/ブレーキアシスト/VSC/TRC
- ヒルスタートアシストコントロール
- ドライブスタートコントロール
- SRSエアバッグシステム（運転席・助手席デュアルステージ/運転席・助手席サイドエアバッグ/前後席カーテンシールドエアバッグ ＊15）
- ELR3点式シートベルト（運転席・助手席：テンションリデューサー・プリテンショナー・フォースリミッター機構付、リヤシート/セカンドシート：テンションリデューサー・プリテンショナー・フォースリミッター機構付、サードシート ＊16）＊17
- 汎用ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー（トップテザーアンカー付/後左右席）＊18
- 雨滴感応間欠式フロントワイパー
- オートライトシステム
- 緊急ブレーキシグナル
- タイヤ空気圧警告表示（マルチインフォメーションディスプレイ表示）
- 車両接近通報装置
- ウインドシールドガラス（トップシェード付/IR・UVカット/遮音タイプ）
- フロントクォーターガラス（UVカット/遮音タイプ）
- フロントドアガラス（撥水機能付/スーパーUV & IRカット/遮音タイプ）

■セーフティ
- スライドドアガラス（スーパーUV & IRカット/プライバシー/遮音タイプ）
- リヤクォーターガラス（UVカット/プライバシー）
- バックドアガラス（UVカット/プライバシー）

■機能装備
- イルミネーテッドエントリーシステム
- ドライブモードセレクトスイッチ（Normal/Eco/Sport/Rear Comfort/Custom）
- 車速感応式オートパワードアロック（衝撃感知ドアロック解除システム付）
- 全ドアワンタッチ式パワーウインドウ
- ステップ照明（スライドドア）

■インテリア
- 電動チルト＆テレスコピックステアリング（オートアウェイ＆オートリターン機構付）
- ナノイーX
- クリーンエアフィルター（花粉除去・脱臭機能付）
- 地上デジタルTVチューナー＆アンテナ
- 読書灯 ＊19

■その他
- イモビライザー＆侵入センサー付オートアラーム＆傾斜センサー（国土交通省認可品）
- G-Link（初度登録日から3年間無料）＊2 ヘルプネット®（エアバッグ連動タイプ）/レクサスオーナーズデスク/レクサス緊急サポート24/G-Security/コネクティッドナビ（車載ナビ有）/エージェント
- フューエルリッドオープナー

等

＊1. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊2. ご利用にはG-Link契約が必要です。G-Link基本利用料は初度登録日から3年間無料。無料期間終了後（有料）につきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
＊3. 字光式ナンバープレートは装着できません。
＊4. スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー［測距システムあり］2個/バックドア連動）、スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー［測距システムなし］2個＋カードキー1個/バックドア連動）のどちらかをお選びください。
＊5. ご利用にはG-Linkとデジタルキー（オプションサービス）のご契約が必要です。デジタルキーは、初度登録日から3年間無料で、その後は550円/月（税込）の有料オプションサービスとなります。ご利用には別途デジタルキーアプリのインストールが必要です。デジタルキーについて、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。デジタルキーの動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。
＊6. 挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。
＊7. トレイ寸法を超えるQi対応機器（アクセサリー類を含む）は、トレイに置くことができないため、充電はできません。
＊8. EXECUTIVE（4人乗り）は回転・開閉式テーブル、version L（6人乗り）は固定式テーブルです。
＊9. ETC2.0ユニットは、今後新たに追加されるサービスおよびシステム変更には対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。ETC2.0ユニットは新しいセキュリティ規格に対応しています。また、セットアップ費用が別途必要となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊10. 一般道の信号待ち発進準備案内に対応しています。対象路線の対象交差点にてサービスを受けられます。詳しくはVICSセンターにおたずねください。
＊11. 合計120Wの電気製品をご使用ください。ただし、120W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。
＊12. 合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。ただし、電気製品によっては消費電力の合計が1500W以下の場合でも正常に作動しない場合があります。工場出荷時の電源周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合はレクサス販売店にご相談ください（LMの場合、50Hzに設定されています）。一部自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例に触れる可能性がありますのでご注意ください。
＊13. 機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。
＊14. 寒冷地仕様では寒冷地での使用を考慮した装備の充実を図っています。
＊15. EXECUTIVE（4人乗り）は前後席に設定、version L（6人乗り）はフロント/セカンド/サードシートに設定しています。
＊16. サードシートはversion L（6人乗り）のみとなります。
＊17. プリテンショナー機構は衝突の条件によっては作動しない場合があります。
＊18. チャイルドシートは汎用ISOFIX対応チャイルドシート（新保安基準適合）のみ使用できます。それ以外のチャイルドシートは、シートベルトでの固定となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊19. EXECUTIVE（4人乗り）はリヤシート、version L（6人乗り）はセカンドシートに設定しています。
※「メーカーオプション」はご注文時に申し受けます。メーカーの工場で装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。

SPECIFICATIONS

レクサス LM500h 主要諸元表

			LM500h	
			EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
			AWD	
■車両型式			5AA-TAWH15W-LNTXT	5AA-TAWH15W-LPTVT
■寸法				
全長		mm	5,125	
全幅		mm	1,890	
全高		mm	1,955＊1	
ホイールベース		mm	3,000	
トレッド 前 / 後		mm	1,615 / 1,620	
最低地上高＊2		mm	140＊3	
最小回転半径		m	5.9	
室内長＊2		mm	2,735	2,965
室内幅＊2		mm	1,590	1,655
室内高＊2		mm	1,365	
■重量				
車両重量		kg	2,460	2,440
車両総重量		kg	2,680	2,770
■定員				
乗車定員		名	4	6
■性能				
燃料消費率（国土交通省審査値）	WLTCモード	km/ℓ	13.3	13.8
	市街地モード	km/ℓ	10.6	10.5
	郊外モード	km/ℓ	14.0	15.7
	高速道路モード	km/ℓ	14.4	14.7
主要燃費改善対策			アイドリングストップ装置、ハイブリッドシステム、筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、充電制御	
■エンジン				
型式			T24A-FTS	
種類			直列4気筒インタークーラー付ターボ	
使用燃料			無鉛プレミアムガソリン	
総排気量		ℓ	2.393	
内径×行程		mm	87.5×99.5	
最高出力[NET]		kW（PS）/r.p.m.	202（275）/6,000	
最大トルク[NET]		N·m（kgf·m）/r.p.m.	460（46.9）/2,000～3,000	
燃料供給装置			筒内直接＋ポート燃料噴射装置（D-4ST）	
燃料タンク容量		ℓ	60	
■フロントモーター				
型式			1ZM	
種類			交流同期電動機	
最高出力		kW（PS）	64（87）	
最大トルク		N·m（kgf·m）	292（29.8）	

		LM500h	
		EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
		AWD	
■リヤモーター			
型式		1YM	
種類		交流同期電動機	
最高出力	kW（PS）	76（103）	
最大トルク	N·m（kgf·m）	169（17.2）	
■駆動用主電池			
種類		ニッケル水素電池	
電圧	V	28.8	
容量	Ah	5	
個数		240	
総電圧	V	288	
■駆動装置			
駆動方式		4輪駆動	
トランスミッション		Direct Shift-6AT（電子制御6速オートマチック）	
第1速		4.474	
第2速		2.517	
第3速		1.560	
第4速		1.143	
第5速		0.850	
第6速		0.671	
後退		3.196	
減速比		（前）3.329/（後）10.755	
■その他装置			
サスペンション 前 / 後		マクファーソンストラット（スタビライザー付）/ダブルウイッシュボーン（スタビライザー付）	
ブレーキ 前 / 後		ベンチレーテッドディスク / ベンチレーテッドディスク	

＊1. 225/65R17 102Hタイヤ＆17×6½Jノイズリダクションアルミホイール（スパッタリング塗装）を選択した場合、1,945mmとなります。
＊2. 社内測定値。
＊3. 225/65R17 102Hタイヤ＆17×6½Jノイズリダクションアルミホイール（スパッタリング塗装）を選択した場合、130mmになります。

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値（自工会調べ）となっています。

車両によっては自動車重量税などの軽減措置を受けることができます。詳しくはエコカー減税紹介ページ（https://lexus.jp/request/zeisei）をご確認、またはレクサス販売店におたずねください。

■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値 ■製造事業者：トヨタ自動車株式会社

見積シミュレーションはこちら >

PRICE LIST

レクサス LM500h 価格表
（ ）内は消費税抜き価格

■ 車両価格表

	LM500h	
	EXECUTIVE（4人乗り）	version L（6人乗り）
	AWD	
メーカー希望小売価格（消費税抜き）＊	20,300,000円（18,454,545円）	15,200,000円（13,818,182円）

■ メーカーオプション価格表

▌パフォーマンス

225/65R17 102Hタイヤ＆ 17×6½Jノイズリダクションアルミホイール（スパッタリング塗装）	−319,000円（−290,000円）

＊価格にはオプション価格は含まれません。
※価格はメーカー希望小売価格＜'26年3月現在のもの＞で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※価格はスペアタイヤ、タイヤ交換用工具付きの価格です。
※保険料、税金（除く消費税）、登録料などの諸費用は別途申し受けます。

■ リサイクル料金表　自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
全車	17,070円	2,800円	—	130円	290円	20,290円

※リサイクル料金は'26年3月時点の金額。
※リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者（譲渡人）は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者（譲受人）からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



P02
Photo: LM500h EXECUTIVE。
ボディカラーはソニックチタニウム〈1J7〉。



P34
Photo: 海外仕様車。



P48
Photo: LM500h version L。
インテリアカラーはソリスホワイト
（内装加飾：サテンカッパー）。
フロアマットはディーラーオプション。



P106
Photo: 海外仕様車。

※写真の一部は合成です。
※室内写真には機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルが含まれています。
※室内写真の計器盤は機能説明のために各ランプを点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。
※ナビゲーション画面および一部のディスプレイは合成です。
※装備および機能紹介の写真の一部はイメージです。
※一部の画像は海外仕様など、実際の仕様と異なる場合があります。
※写真にはオプション装着車が含まれています。装備の設定につきましては、Webサイトまたはレクサス販売店にてご確認ください。
※Apple CarPlay / Android Auto™をご利用の際は通信料が発生します。契約携帯電話会社の料金プランなどをご確認の上ご利用ください。
※G-Linkセンターとは、車両へのコネクティッドサービス専用に構築したデータセンターのことです。
※G-Linkは、新車・CPO（レクサス認定中古車）をご購入いただいたお客さまに限り、ご提供いたします。ご利用にはG-Linkのご契約が必要です。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。G-Linkは、LTE（Long Term Evolution）通信を利用しており、電波の届かない場所ではご利用になれません。G-Linkはトヨタコネクティッド（株）およびトヨタ自動車（株）が提供するサービスです。
※ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、ナビデータを車載機に保持しているためG-Linkを契約されない場合でもナビゲーション機能をご利用いただけます（一部機能に制限がかかります）。
※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。
※本革シートの一部に合成皮革を使用しています。
※シートマテリアルにより、シート各部の素材や色が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、タイヤ空気圧警告表示、スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）の電波およびおくだけ充電®の充電動作が医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。タイヤ空気圧警告表示については、車両左側、前後のホイールハウス内に搭載された発信アンテナから約45cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）については、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。おくだけ充電のご使用にあたっては、医師とよくご相談ください。電波発信を停止することもできます。詳しくはレクサス販売店にご相談ください。
※Advanced Parkのリモート機能とデジタルキーについて、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。デジタルキーの動作確認済スマートフォンの一覧は、こちらのURLよりご確認ください（https://toyota.jp/digital_key/notes.html）。
※HEVとHVは表記が異なりますが、同じ意味です。
※生産状況によっては受注できない可能性がございます。詳しくはレクサス販売店にお問い合わせください。

LMは「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。
セーフティ・サポートカーS<ワイド>（サポカーS<ワイド>）は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキ［対歩行者・対車両］、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトなどの安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。
■ Lexus Safety System＋ / パーキングサポートブレーキ［PKSB］

ABBREVIATION

- ABS: Anti-lock Brake System
- AHS: Adaptive High-beam System
- AI: Artificial Intelligence
- AVS: Adaptive Variable Suspension system
- AWD: All Wheel Drive
- BSM: Blind Spot Monitor
- ELR: Emergency Locking Retractor
- EPS: Electric Power Steering
- FCTA: Front Cross Traffic Alert
- LCA: Lane Change Assist
- LDA: Lane Departure Alert
- LTA: Lane Tracing Assist
- OTA: Over The Air
- PDA: Proactive Driving Assist
- PKSB: Parking Support Brake
- RSA: Road Sign Assist
- SEA: Safe Exit Assist
- SOC: State Of Charge
- SRS: Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）
- TFT: Thin Film Transistor
- TMN: Traffic Movement Notification
- TRC: Traction Control
- VSC: Vehicle Stability Control

TRADEMARK

■ G-Linkは東京ガス株式会社の登録商標で、使用許諾を受けて使用しています。
■ “ヘルプネット®”は（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。
■ Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
■ AppleおよびAppleロゴ、Apple CarPlayは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
■ Android、Android Auto™は、Google LLCの商標です。
■ Bluetooth®はBluetooth SIG,Inc.の商標です。
■ タッチトレーサーは株式会社東海理化電機製作所の登録商標です。
■ ウルトラスエード®は東レ株式会社の登録商標です。
■ マークレビンソン、Quantum Logic™およびClari-Fi™（クラリファイ）はハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です。
■ ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。
■「おくだけ充電」、「おくだけ充電」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。
■ nanoe、ナノイーおよびnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
■ HDMIおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator,Inc.の登録商標です。
■ “LEXUS” “VSC” “TRC”はトヨタ自動車（株）の商標です。
■「ITS Connect」は、ITS Connect推進協議会の商標です。
■「VICS」は一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
■ Viscotecs®はセーレン（株）の登録商標です。